

津市総合計画後期基本計画策定のための
住民意識調査

平成24年3月

津市

目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象及び調査方法	1
	(3) 配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
	(1) 数値の基本的な取り扱いについて	1
	(2) 標本誤差について	2
3	回答者の属性	3
	(1) 性別	3
	(2) 年齢	3
	(3) 職業	4
	(4) 居住地区	5
	(5) 居住歴	5
	(6) 就学地・勤務地	7
	(7) 世帯構成	7
II	調査結果	9
1	まちへの愛着度と定住意向などについて	9
	(1) 市への愛着度	9
	(2) 今後の定住意向	10
	(3) 定住意向の主な理由	11
	(4) 転居する場合の転居先候補	14
2	まちの現状と今後の取り組みについて	15
	(1) 美しい環境と共生するまちづくり	15
	(2) 安全で安心して暮らせるまちづくり	22
	(3) 豊かな文化と心を育むまちづくり	28
	(4) 活力あるまちづくり	32
	(5) 参加と協働のまちづくり	38
	(6) 居住地別のまちづくりの目標に関する満足度評価	42
	(7) 居住地別のまちづくりの目標に関する重要度評価	61
	(8) 住みやすさの総合評価	78
3	行政サービスについて	80
	(1) 市からの情報を十分に受け取っているか	80
	(2) 市からの情報の入手方法	81
	(3) 要望や意見の伝達手段	82
	(4) 要望等が市に伝わっていると感じるか	83
	(5) 市役所窓口の利用	84

(6) 主に利用している窓口.....	86
(7) 主な窓口を利用する理由.....	87
(8) 総合支所を利用した目的.....	89
(9) 行政サービスのあり方について.....	91
4 地域活動への参加状況.....	92
(1) 地域活動への参加状況.....	92
(2) 日常生活や地域活動等への参加状況.....	96

Ⅲ 自由意見 105

資料：調査票	116
--------------	-----

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、津市総合計画後期基本計画（平成 25～29 年度）の策定に当たって、まちへの愛着度や定住意向をはじめ、まちの現状評価や今後重視する取り組みなど、市民の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	津市に居住する 15 歳以上の市民
配布数	7,000
抽出法	15 歳以上の市民の無作為抽出（平成 23 年 12 月末）
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	平成 24 年 2 月
調査地区	市内全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	7,000
有効回収数	2,954
有効回収率	42.2%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下 2 位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100%を上下する場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n = ○○○”として掲載し、各比率は n を 100%として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1 人の回答者が 2 つ以上の回答を出してもよい問であり、従って各回答の合計比率は 100%を超える場合があります。

(2) 標本誤差について

住民アンケート調査が調査対象者の意識として十分信頼のおけるものであるかどうか調査精度として標本誤差をみますが、信頼度を95%においた場合、標本誤差は次の式で計算することができます。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}} \quad P : \text{回答率} (\%) \quad n : \text{回収数} (\text{人})$$

【標本誤差とは】

母集団から一部の標本を抽出して調査を行い、その結果から全体の値を推定するのが標本調査です。この際に「標本調査の結果」と「全数調査の結果」の差が生じますが、それが標本誤差と呼ばれるものです。標本誤差の幅は、回答率（P）と回答者数（n）によって決まります。

次の早見表は前述の式にPとnの値を代入して標本誤差を求めた一覧です。

本調査では、回収数が2,954人であり、回収数が3,000人の場合の状況とほとんど変わりません。回収数が3,000人で、ある設問の選択肢の回答率が50%であった場合、その回答率の誤差の範囲は最高で±1.8%であり、母集団（15歳以上の市民）の実際の回答率は48.2～51.8%の範囲にあるとみることができます。

図表 1-2-1 標本誤差の早見表

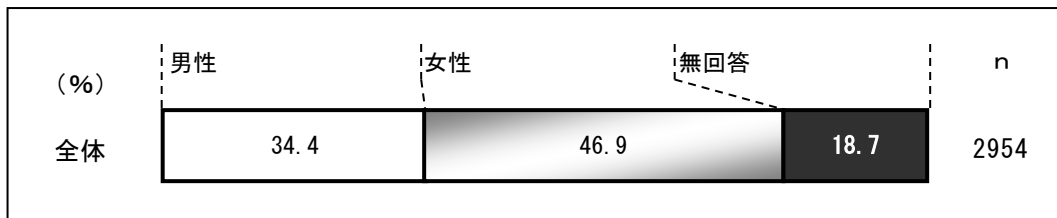
回収数 (n) (人)	回答率 (P) (%)									
	5 又 は 95	10 又 は 90	15 又 は 85	20 又 は 80	25 又 は 75	30 又 は 70	35 又 は 65	40 又 は 60	45 又 は 55	50
3,000	0.8	1.1	1.3	1.5	1.6	1.7	1.7	1.8	1.8	1.8

3 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別構成は、「女性」(46.9%)、「男性」(34.4%) となっています。

図表 1-3-1 性別 (全体)

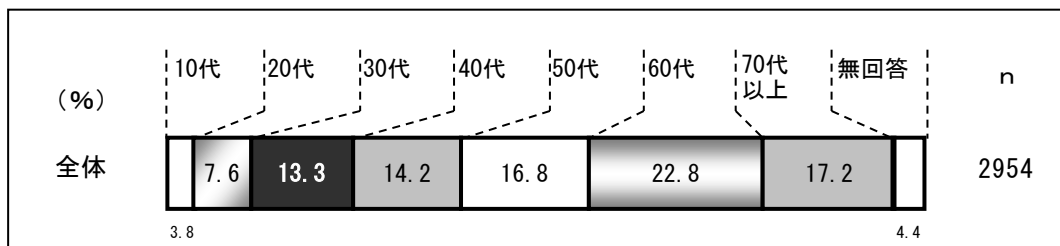


(2) 年齢

①全体

回答者の年齢構成は、「60代」(22.8%)が最も多く、次いで「70代以上」(17.2%)が多く、60歳以上で40%を占めています。その他では「50代」(16.8%)、「40代」(14.2%)、「30代」(13.3%)、「10・20代」(11.4%)と年齢の高い順となっています。

図表 1-3-2 年齢 (全体)

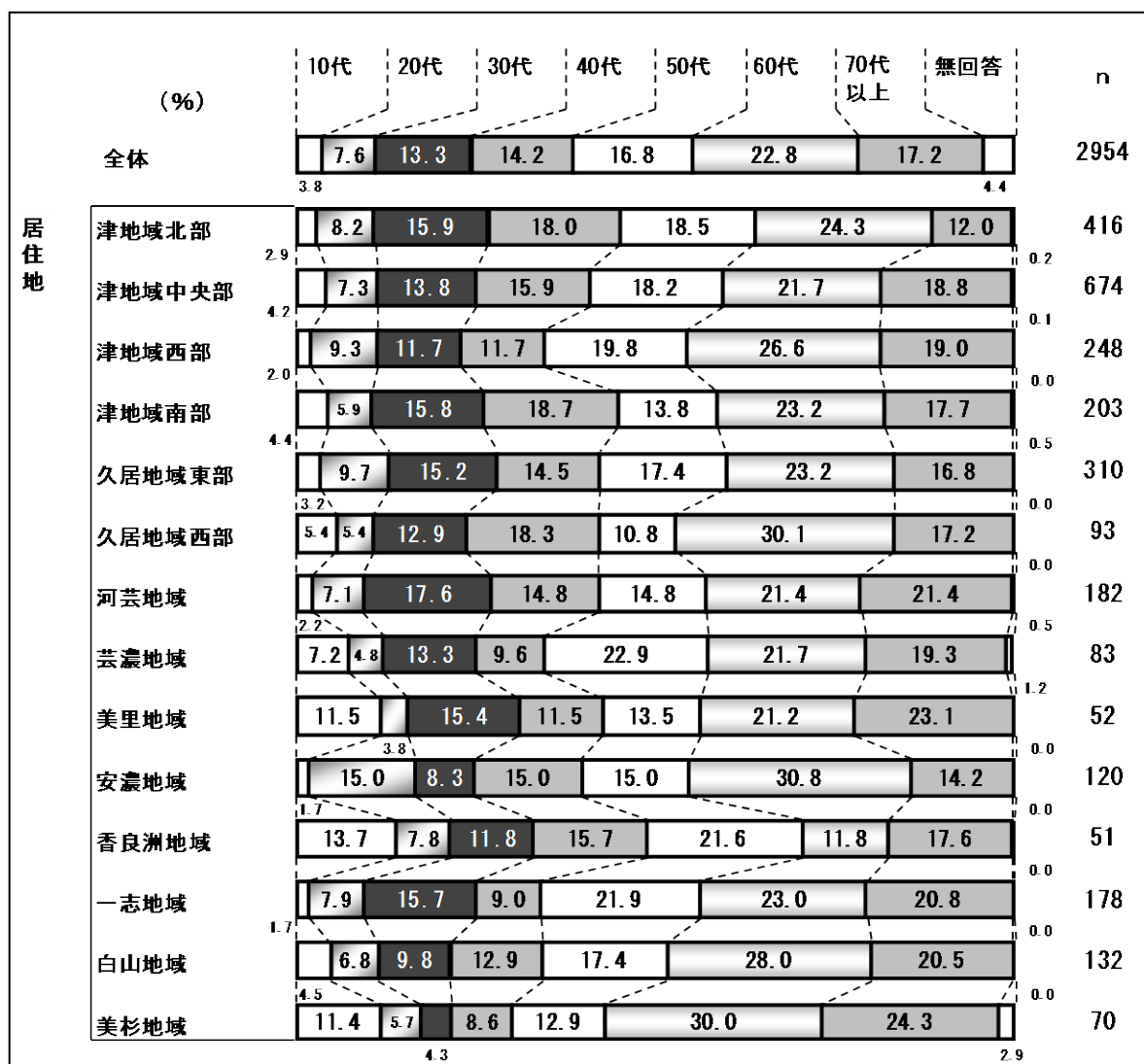


②居住地別

居住地別にみると、大半の地域で「60代以上」が4割前後を占めています。

居住地のなかでは、香良洲地域が「60代以上」が29.4%と最も低く、美杉地域では54.3%と最も高くなっています。

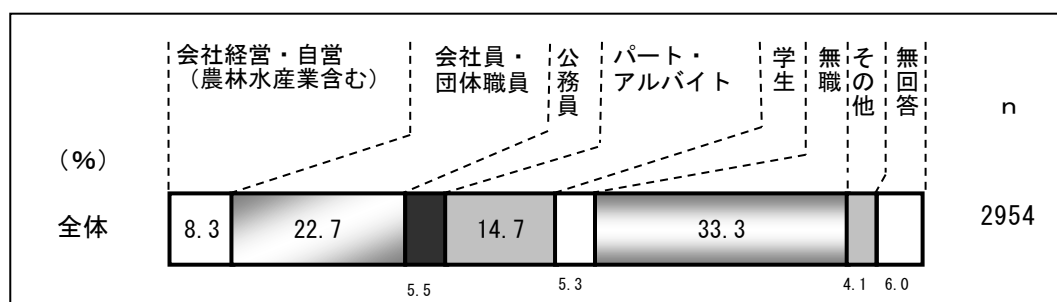
図表 1-3-3 年齢（全体・居住地）



(3) 職業

回答者の職業については、「無職」(33.3%)が最も多くなっています。次いで「会社員・団体職員」(22.7%)、「パート・アルバイト」(14.7%)、「会社経営・自営」(8.3%)、「公務員」(5.5%)、「学生」(5.3%)の順となっています。

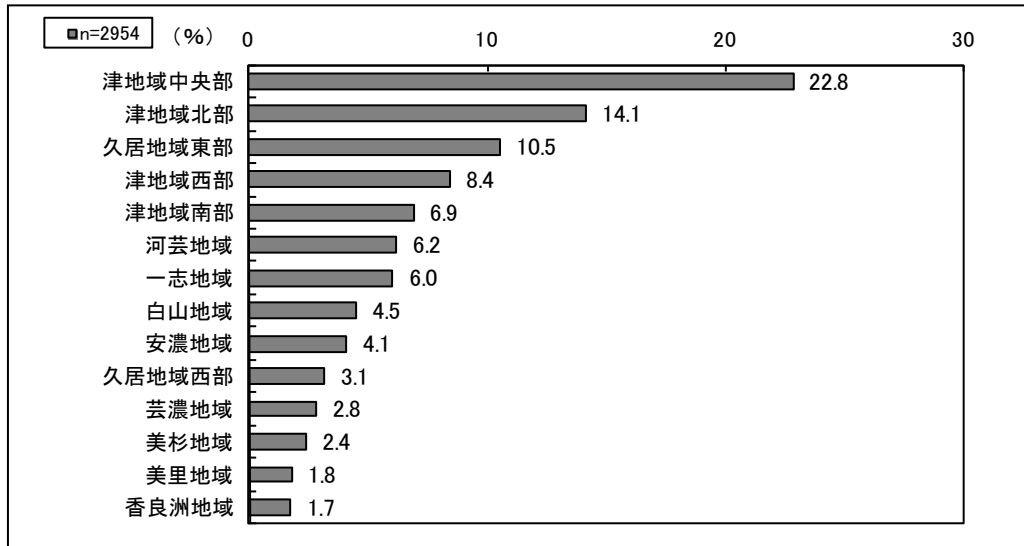
図表 1-3-4 職業（全体）



(4) 居住地区

居住地区では、「津地域中央部」(22.8%)が最も多く、「津地域北部」(14.1%)、「久居地域東部」(10.5%)、「津地域西部」(8.4%)、「津地域南部」(6.9%)と津地域が5割以上となっています。

図表 1-3-5 居住地区 (全体)

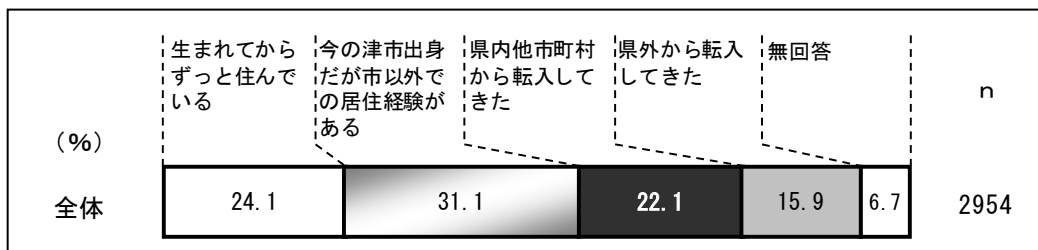


(5) 居住歴

①全体

居住経歴では、「今の津市出身だが市以外で居住の経験がある」(31.1%)が最も多く、次いで「生れてからずっと住んでいる」(24.1%)が多く、津市がふるさとの人が55.2%となっています。

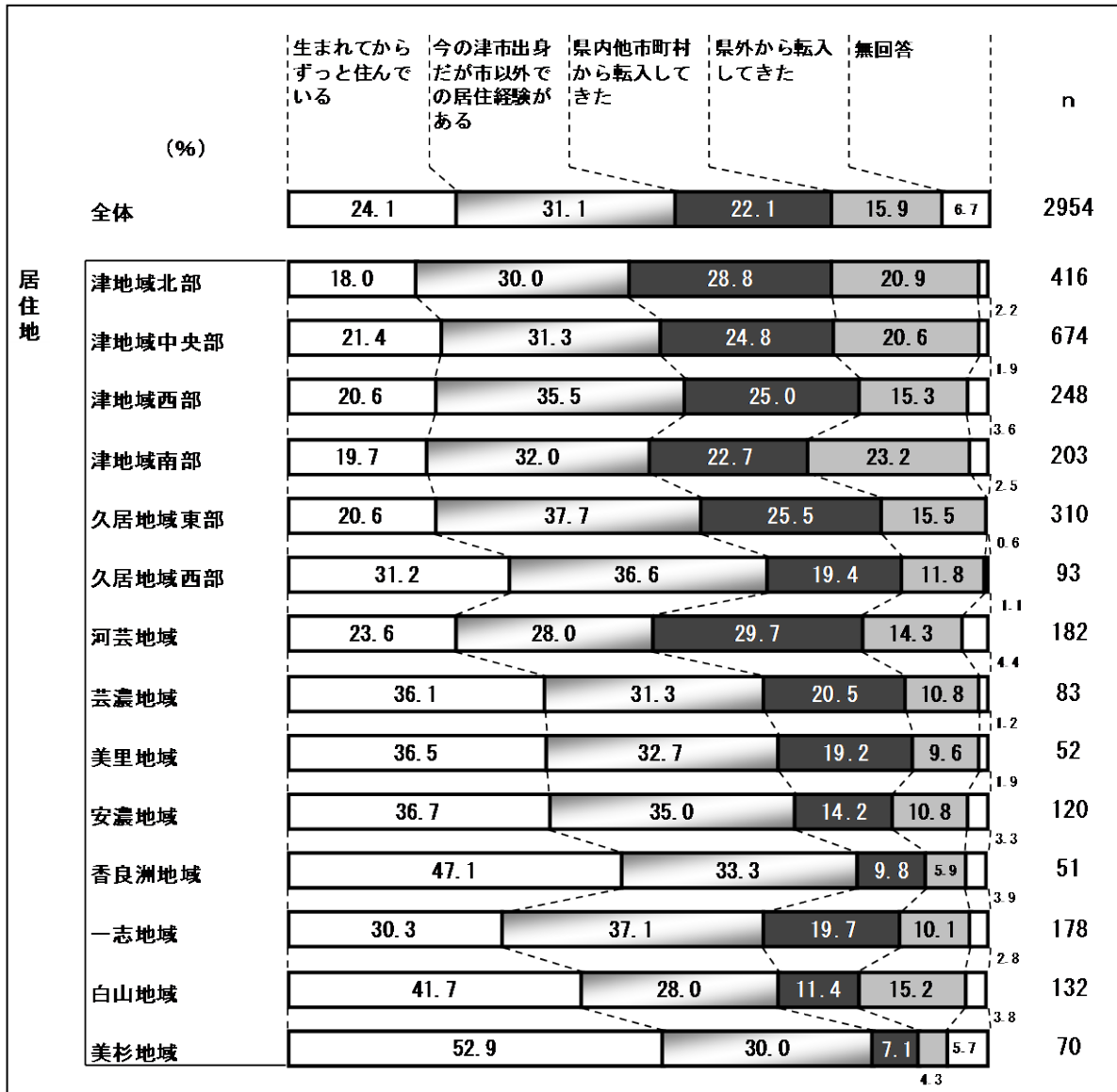
図表 1-3-6 居住歴 (全体)



②居住地別

「今の津市出身だが市以外で居住の経験がある」と「生れてからずっと住んでいる」を合わせた割合は、最も高い美杉地区(82.9%)と最も低い津地域北部(48.0%)では約35ポイントの差がみられます。

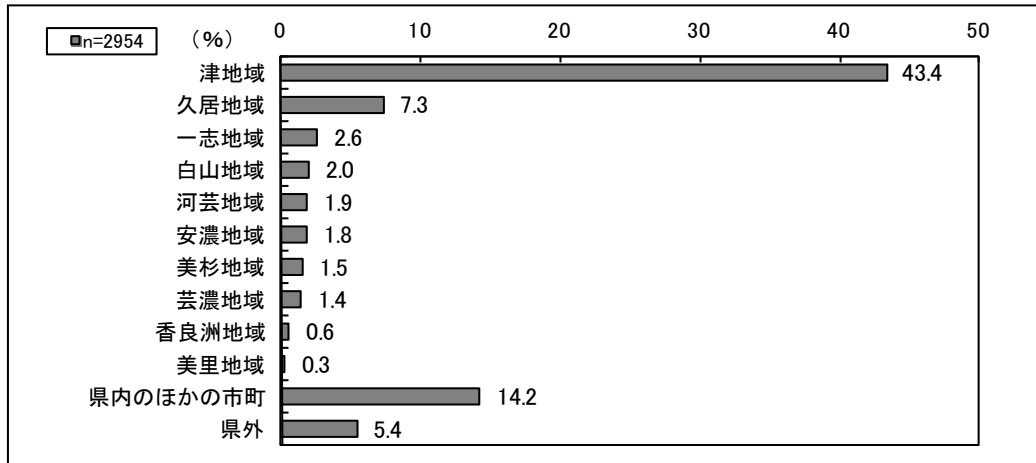
図表 1-3-7 居住歴（全体・居住地別）



(6) 就学地・勤務地

就学地・勤務地では「津地域」が43.4%を占めており、津地域に住んで津地域で就学・勤務している人が多くなっています。それ以外では、「県内のほかの市町」が14.2%、「県外」が5.4%と、約2割が市外への就学・通勤者となっています。

図表 1-3-8 就学地・勤務地（全体）

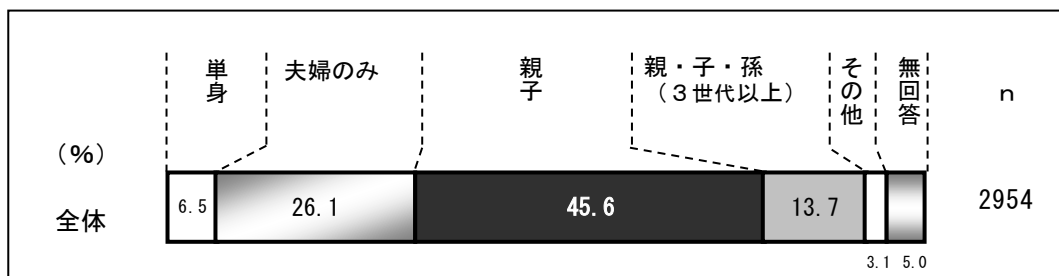


(7) 世帯構成

①全体

世帯構成では、「親子」が45.6%と2世代の家族が最も多くなっています。「親・子・孫(3世代以上)」(13.7%)も含めると、複数の世代の家族が約6割を占めています。一方、「単身」の世帯は6.5%にとどまっています。

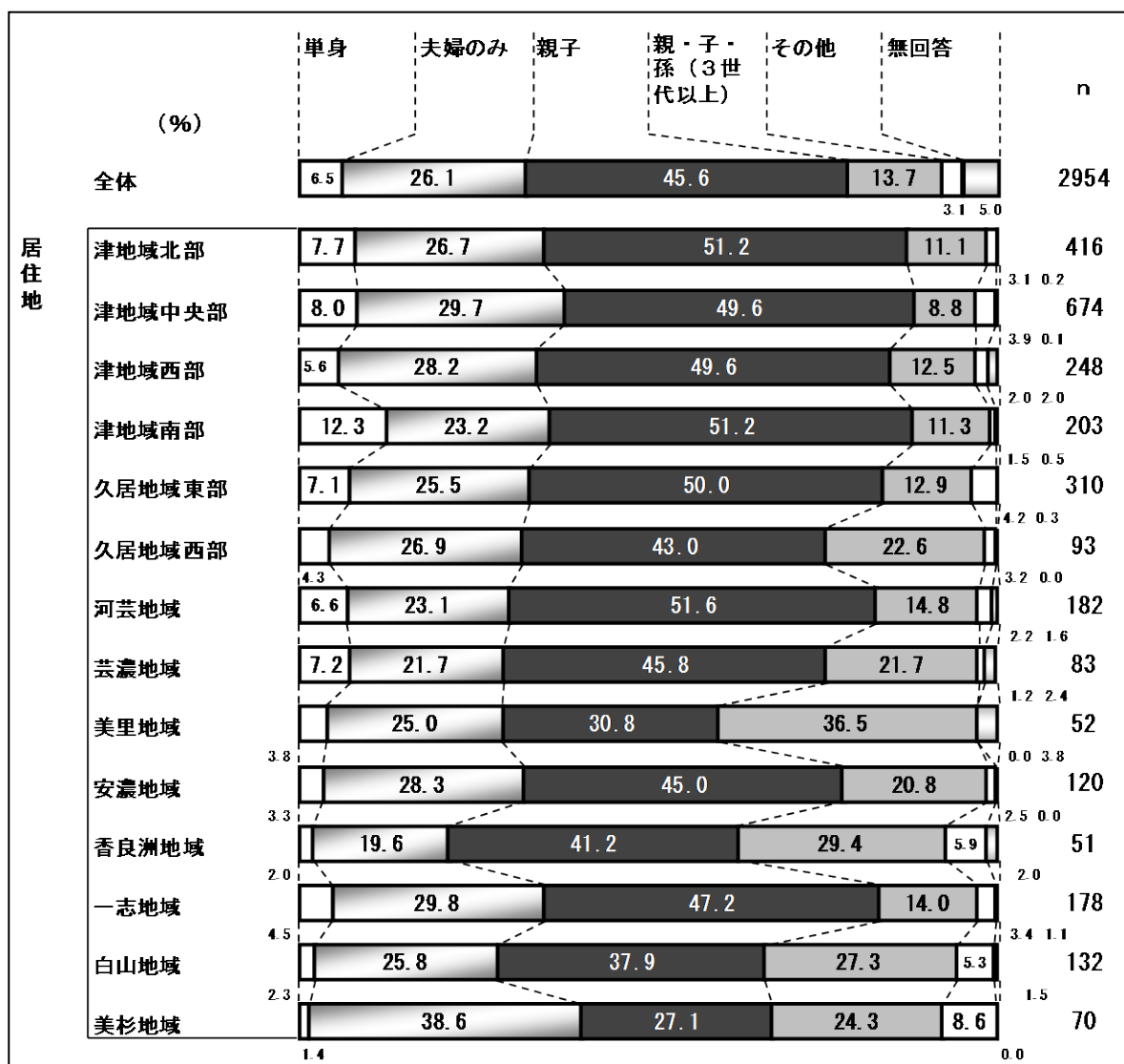
図表 1-3-9 世帯構成（全体）



②居住地別

「親・子・孫(3世代以上)」と回答した割合に違いがみられ、津地域(全地域)と久居地域東部は1割前後と低いのにに対し、久居地域西部、芸濃、美里、安濃、香良洲、白山、美杉地域では2割以上を占めています。

図表 1-3-10 世帯構成 (全体・居住地)



Ⅱ 調査結果

1 まちへの愛着度と定住意向などについて

(1) 市への愛着度

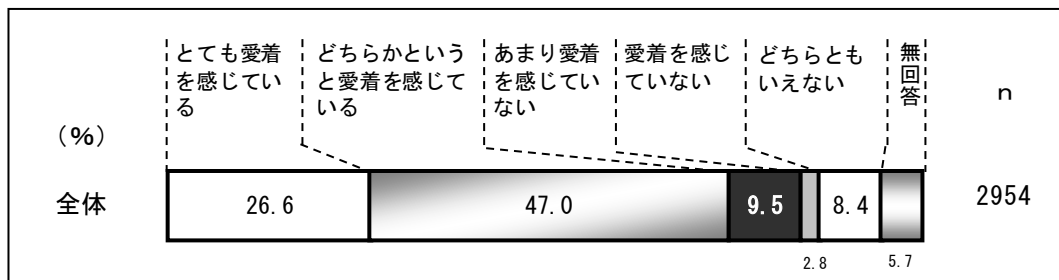
問1 あなたは、津市について、「自分のまち」として愛着を感じていますか。

①全体

市への愛着度では、「どちらかというとな愛着を感じている」が47.0%と最も多く、次いで「とても愛着を感じている」が26.6%と多くなっており、73.6%の人が市に愛着を感じており、市への愛着度は高いといえます。

一方、「あまり愛着を感じていない」が9.5%あり、「愛着を感じていない」(2.8%)も含めて、津市に愛着を感じていない人は1割強みられます。

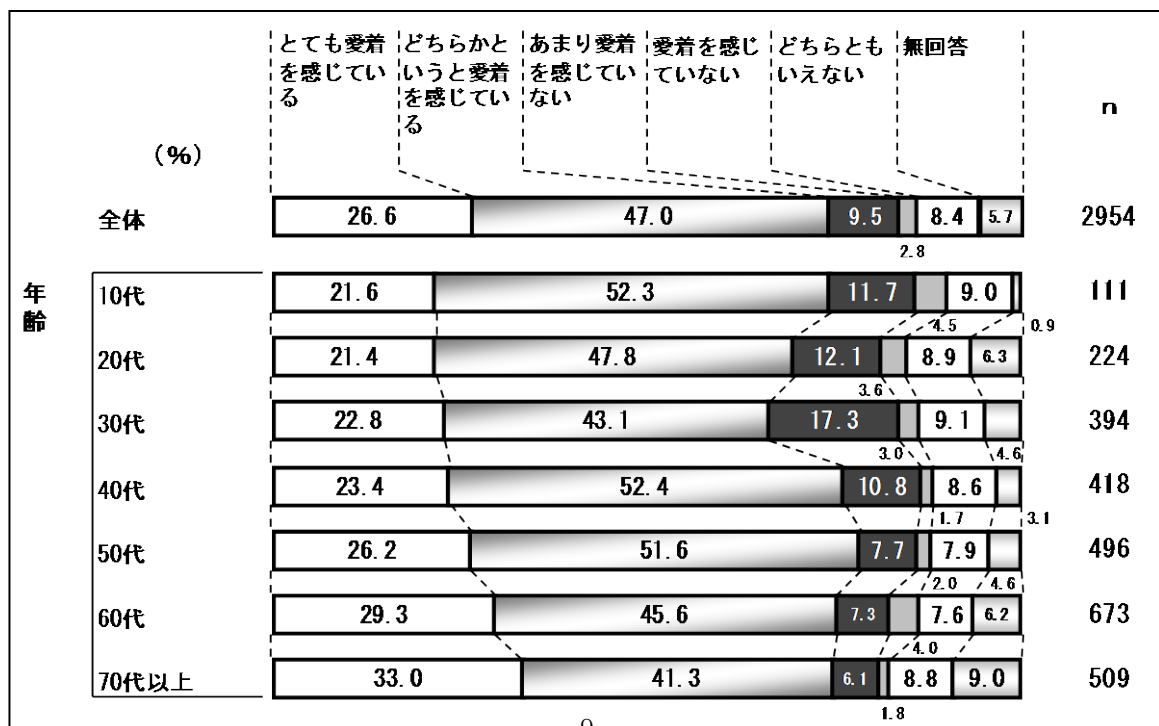
図表 2-1-1 市への愛着度（全体）



②年齢別

「とても愛着を感じている」と回答した割合は、おおむね年齢とともに高くなっているとうかがえます。

図表 2-1-2 市への愛着度（全体・年齢）



(2) 今後の定住意向

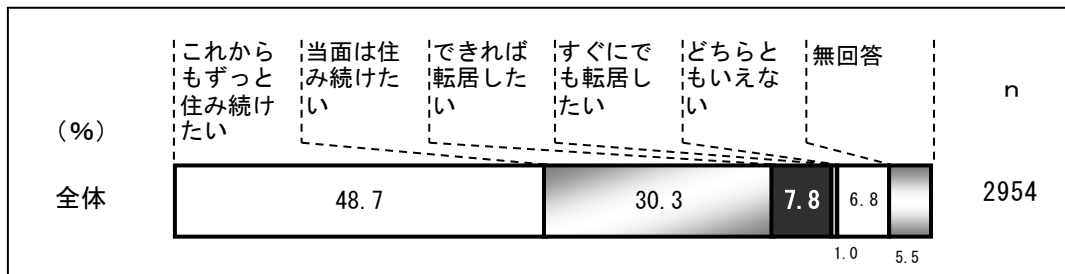
問2 あなたは、現在の居住地に、これからも住み続けたいと思いますか。

①全体

今後の定住意向では、「これからもずっと住み続けたい」が48.7%と最も多く、半数近くが今後も住み続ける意向を持っています。次いで「当面は住み続けたい」も30.3%と高く、合わせると約8割が住み続ける意向を持っており、非常に定住志向が高いといえます。

一方、「できれば転居したい」(7.8%)、「すぐにでも転居したい」(1.0%)と市外への転居を希望する人は1割以下にとどまっています。

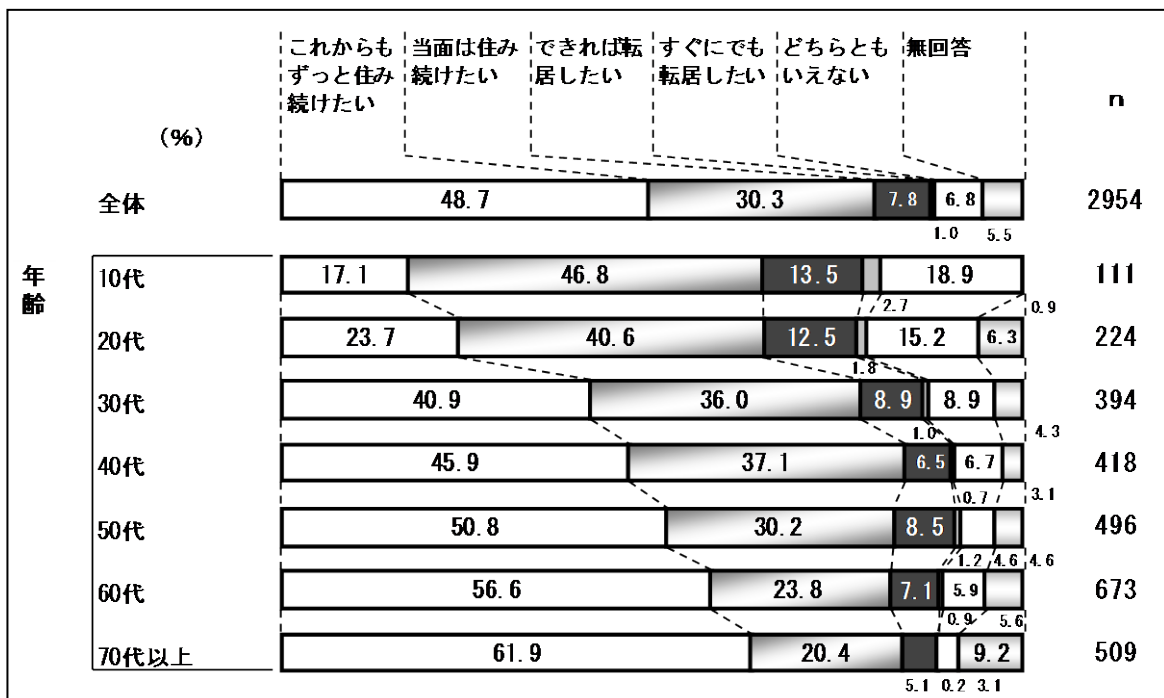
図表 2-1-3 今後の定住意向（全体）



②年齢別

年齢別にみると、前ページの市への愛着度の回答よりも明確に、「これからもずっと住み続けたい」と回答した割合が年齢とともに高くなる傾向がみられます。

図表 2-1-4 今後の定住意向（全体・年齢）



(3) 定住意向の主な理由

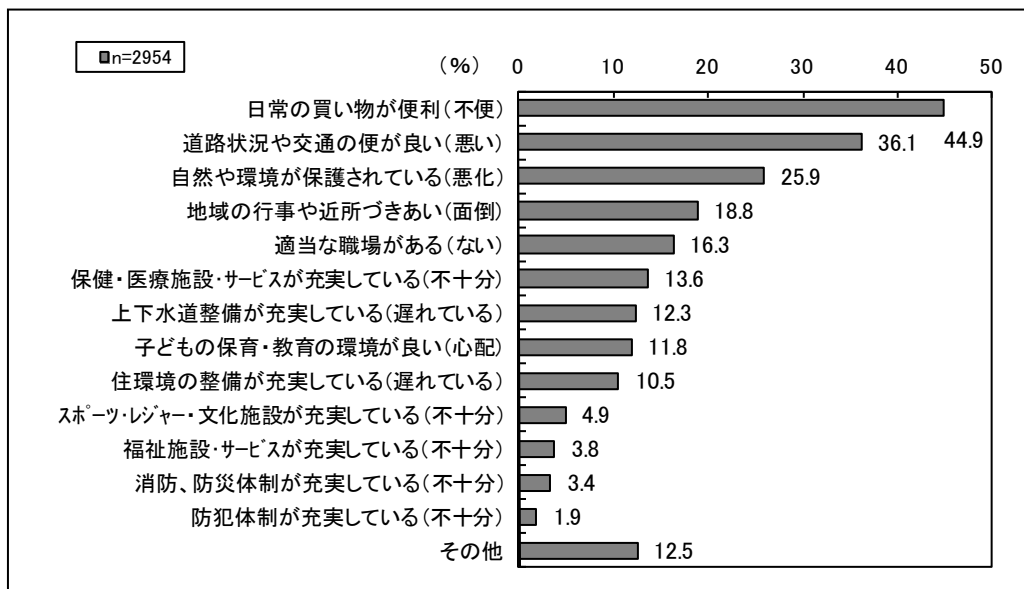
問3 上記設問（問2）の答えを選んだ主な理由は何ですか。【複数回答】

①全体

定住意向を選んだ主な理由としては、「日常の買い物が便利（不便）」が44.9%と最も多く、次いで「道路状況や交通の便が良い（悪い）」が36.1%となっています。買い物や交通の利便性が定住の大きな要因となっています。

次いで「自然や環境が保護されている（悪化）」が25.9%、「地域の行事や近所づきあいがある（面倒）」（18.8%）、「適当な職場がある（ない）」（16.3%）と続いており、自然環境、近隣関係、職場も重要な要素となっています。

図表 2-1-5 定住意向の主な理由（全体／複数回答）



②年齢別（定住意向あり）

「これからもずっと住み続けたい」、「当面は住み続けたい」を選択したグループを年齢別にみると、すべての年齢層で「日常の買い物が便利」の割合が最も高くなっております。次いで高い項目は、回答では、10代を除く年代で「道路状況や交通の便が良い」であり、10代では「自然や環境が保護されている」が挙げられています。

図表 2-1-6 定住意向がある主な理由（全体・年齢／複数回答）

「これからもずっと住み続けたい」、「当面は住み続けたい」を選択したグループ

（単位：％、上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		日常の買い物が便利 49.2	道路状況や交通の便が良い 37.8	自然や環境が保護されている 31.0
年齢	10代	日常の買い物が便利 43.7	自然や環境が保護されている 36.6	道路状況や交通の便が良い 32.4
	20代	日常の買い物が便利 50.0	道路状況や交通の便が良い 36.8	適当な職場がある 31.9
	30代	日常の買い物が便利 53.1	道路状況や交通の便が良い 36.3	適当な職場がある 32.7
	40代	日常の買い物が便利 42.7	道路状況や交通の便が良い 34.0	自然や環境が保護されている 29.1
	50代	日常の買い物が便利 50.2	道路状況や交通の便が良い 38.8	自然や環境が保護されている 36.6
	60代	日常の買い物が便利 51.9	道路状況や交通の便が良い 39.2	自然や環境が保護されている 34.9
	70代以上	日常の買い物が便利 51.1	道路状況や交通の便が良い 43.0	自然や環境が保護されている 31.3

②年齢別（定住意向なし）

「できれば転居したい」、「すぐにでも転居したい」を選択したグループを年齢別にみると、すべての年齢層において全体でみた場合と同様に、「日常の買い物が不便」と道路状況や交通の便が悪い」の順で高くなっています。

図表 2-1-7 定住意向がない主な理由（全体・年齢／複数回答）

「できれば転居したい」、「すぐにでも転居したい」を選択したグループ

（単位：％、上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		日常の買い物が不便 39.1	道路状況や交通の便が悪い 38.4	保健・医療施設・サービスが不十分 16.7
年齢	10代	日常の買い物が不便／道路状況や交通の便が悪い 66.7		地域の行事や近所づきあいが面倒／子どもの保育・教育の環境が心配／適当な職場がない／保健・医療施設・サービスが不十分／スポーツ・レジャー・文化施設が不十分 11.1
	20代	道路状況や交通の便が悪い 53.1	日常の買い物が不便 40.6	スポーツ・レジャー・文化施設が不十分 25.0
	30代	日常の買い物が不便／道路状況や交通の便が悪い 41.0		保健・医療施設・サービスが不十分 28.2
	40代	日常の買い物が不便／道路状況や交通の便が悪い 40.0		適当な職場がない／保健・医療施設・サービスが不十分 23.3
	50代	道路状況や交通の便が悪い 37.5	日常の買い物が不便 31.3	上下水道整備が遅れている 20.8
	60代	日常の買い物が不便 33.3	道路状況や交通の便が悪い 27.8	地域の行事や近所づきあいが面倒 22.2
	70代以上	日常の買い物が不便 48.1	道路状況や交通の便が悪い 33.3	保健・医療施設・サービスが不十分 25.9

(4) 転居する場合の転居先候補

問 4 問 2で、「3. できれば転居したい」または「4. すぐにでも転居したい」を選んだ場合のみお答えください。
もし転居されるとすれば、どちらをお考えですか。

転居する場合の転居先としては、「津市以外の市町村」が 53.1%と市外が多いものの、「津市の市域のなか」も 43.8%あり、市外に転居を希望する人が 1 割程度多くみられます。

図表 2-1-8 転居する場合の転居先候補（全体）



2 まちの現状と今後の取り組みについて

(1) 美しい環境と共生するまちづくり

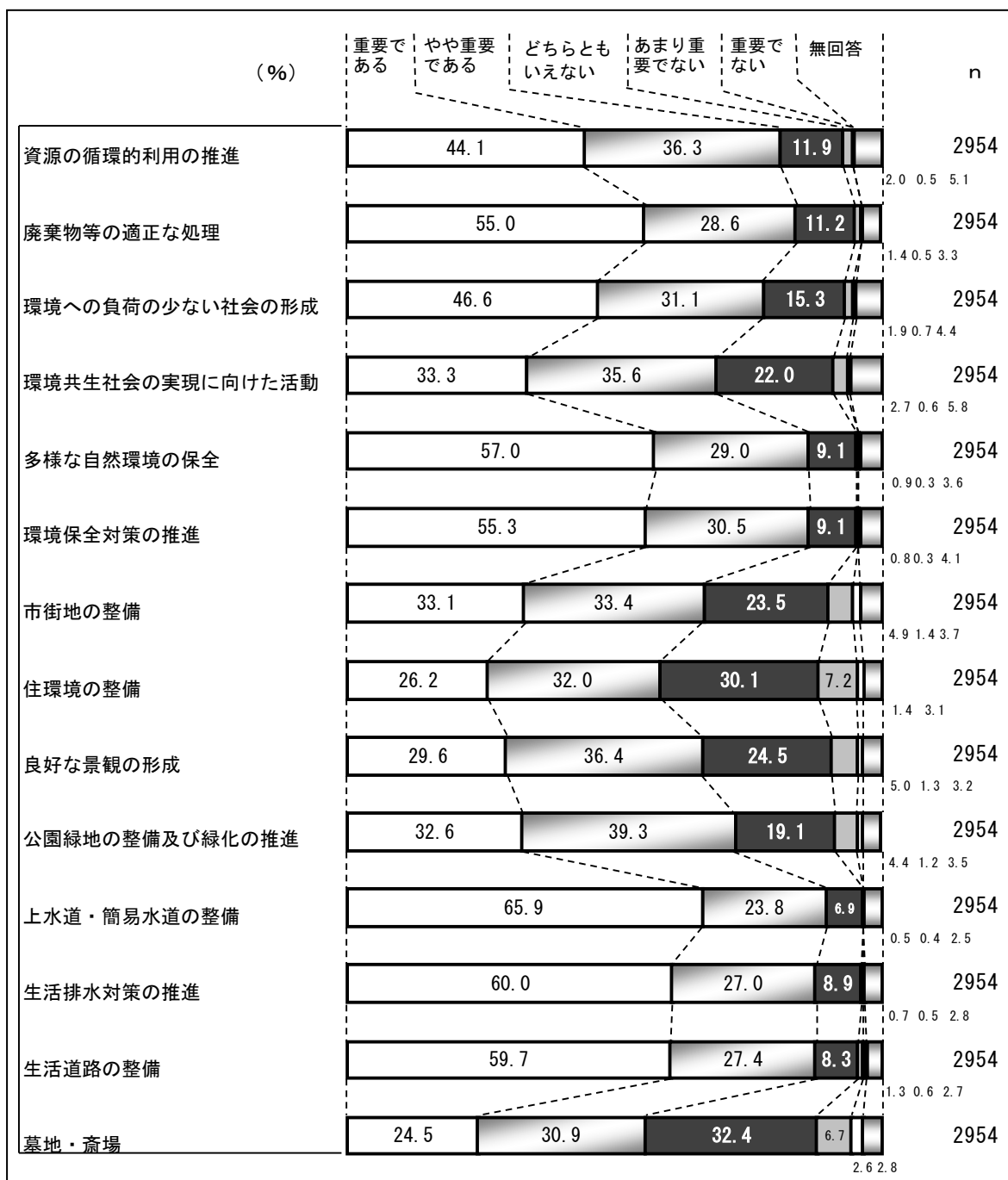
問5 あなたは津市での暮らしについて、どのように感じていますか。各項目について「Ⅰ. 重要度」「Ⅱ. 満足度」のそれぞれに、1つずつ○印をつけてください。

①重要度

「まちづくりの目標1 美しい環境と共生するまちづくり」に関連する施策の重要度では、「重要である」の割合が高いのは「上水道・簡易水道の整備」(65.9%)、「生活排水対策の推進」(60.0%)、「生活道路の整備」(59.7%)と生活の基本となる水の供給・処理対策と生活道路の重要度が高くなっています。

「重要である」と「やや重要である」を合わせた重要と回答した割合では、上記の3項目は約9割と非常に高い割合となっています。それ以外では、「多様な自然環境の保全」(86.0%)、「環境保全対策の推進」(85.8%)、「廃棄物等の適正な処理」(83.6%)、「資源の循環的利用の推進」(80.4%)の順に割合が高くなっており、自然や環境の保全、廃棄物の処理や循環利用も重要度が高くなっています。

図表 2-2-1 環境、生活基盤分野の重要度 (全体)



②満足度

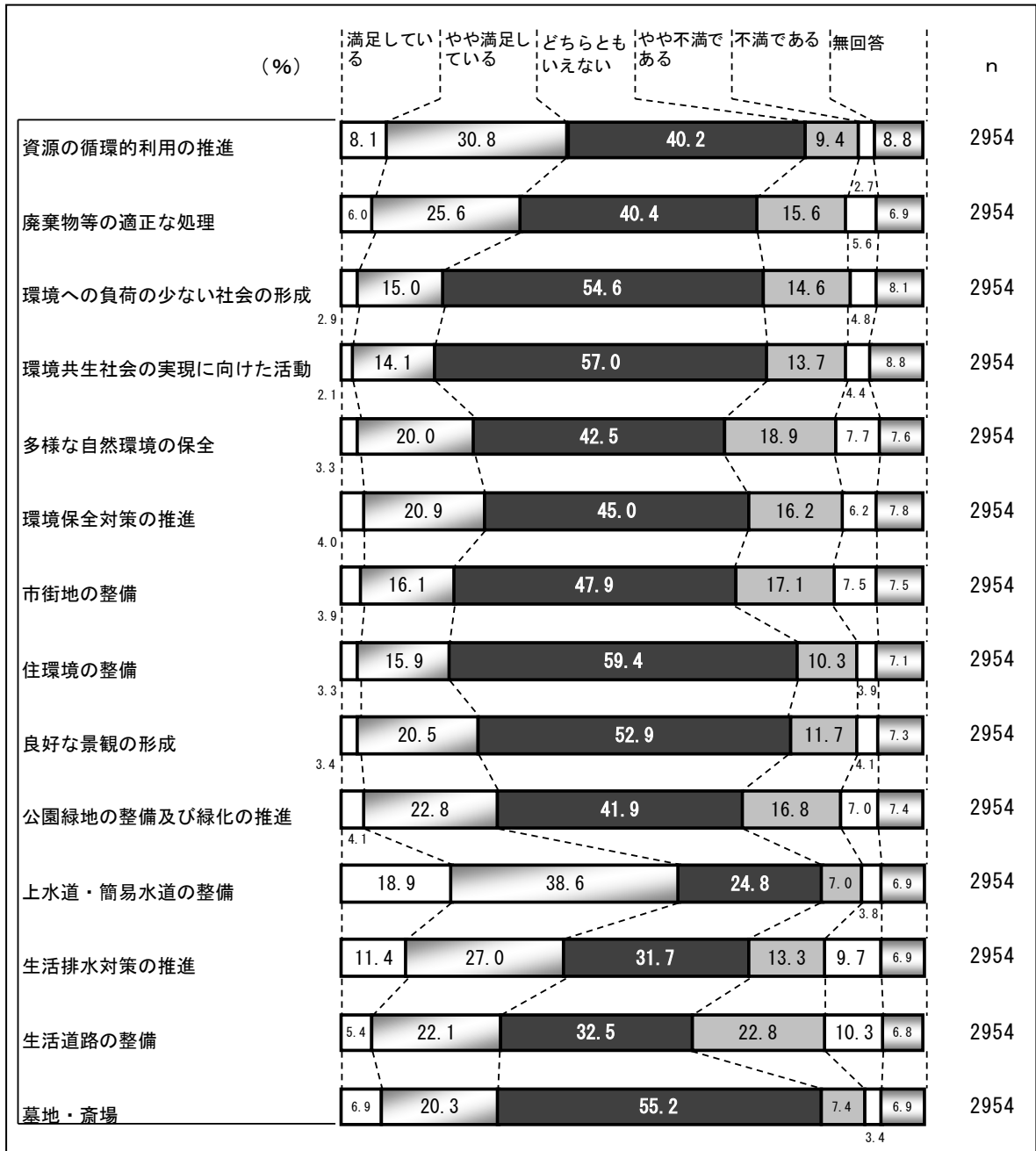
「まちづくりの目標1 美しい環境と共生するまちづくり」に関連する施策の満足度では、「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足と回答した割合をみると、「上水道・簡易水道の整備」が57.5%と最も多く、「生活排水対策の推進」が38.4%となっています。これらの項目は重要度も高いが満足度も比較的高くなっています。

また、「資源の循環的利用の推進」(38.9%)、「廃棄物等の適正な処理」(31.6%)の廃棄物の処理や循環利用についても、比較的満足度が高くなっています。

同様の重要度が高い「環境保全対策の推進」(24.9%)と「多様な自然環境の保全」(23.3%)は、やや満足度が低くなっています。

一方、最も満足度の割合が低い項目は、「環境共生社会の実現に向けた活動」(16.2%)、「住環境の整備」(19.2%)、「市街地の整備」(20.0%)となっています。

図表 2-2-2 環境、生活基盤分野の満足度（全体）



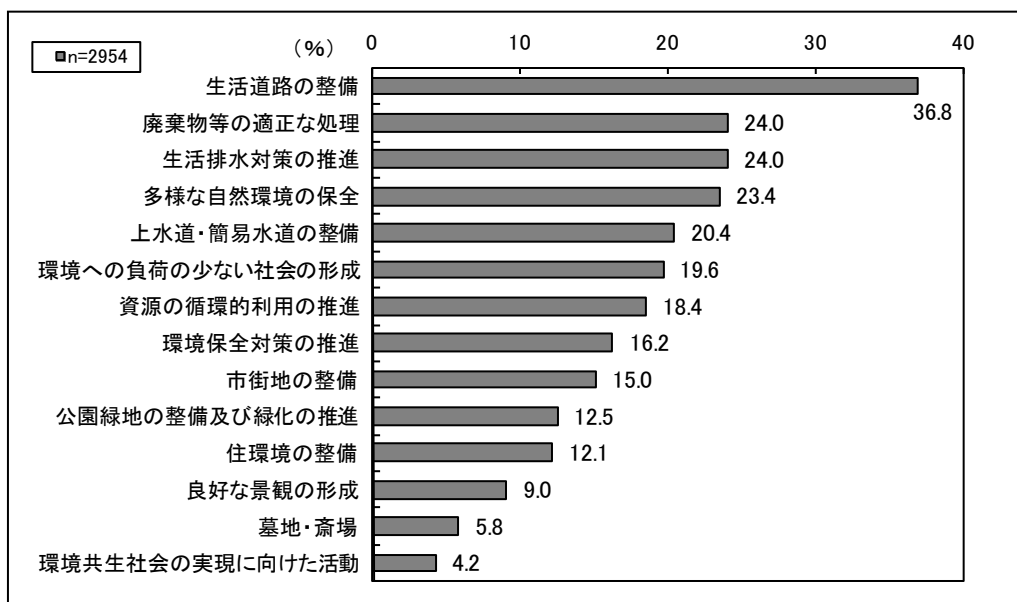
③今後の最重点項目

a. 上記までの環境や生活基盤などの項目のうちで、今後最も力を入れるべきとお考えのものがありましたら、1～14のうちから番号を3つまでご記入ください。【複数回答】

今後最も力を入れる項目としては、「生活道路の整備」が36.8%と最も多くなっています。次いで「廃棄物等の適正な処理」(24.0%)、「生活排水対策の推進」(24.0%)、「多様な自然環境の保全」(23.4%)、「上水道・簡易水道」(20.4%)と続いています。

やはり重要度が高い項目の割合が高くなっていますが、「生活道路の整備」が最も多くなっているのは、重要度が高い一方で、他の項目に比べて満足度がそれほど高くないことが要因と考えられます。

図表 2-2-3 環境、生活基盤分野の今後の最重点項目（全体）



④重要度と満足度との関係

今後の優先度が高い項目と見ることができる重要度が高く満足度が低い項目は、「生活道路の整備」と「多様な自然環境の保全」、「環境への負荷の少ない社会の形成」、「環境共生社会の実現に向けた活動」であり、身近な生活道路と、広範な地域の環境を含めたものとなっています。

「市街地の整備」や「公園緑地の整備及び緑化の推進」もやや優先度が高いと言えますが、都市基盤・生活基盤施設については全体的に満足度が高くなっています。

【重要度と満足度の計算方法】

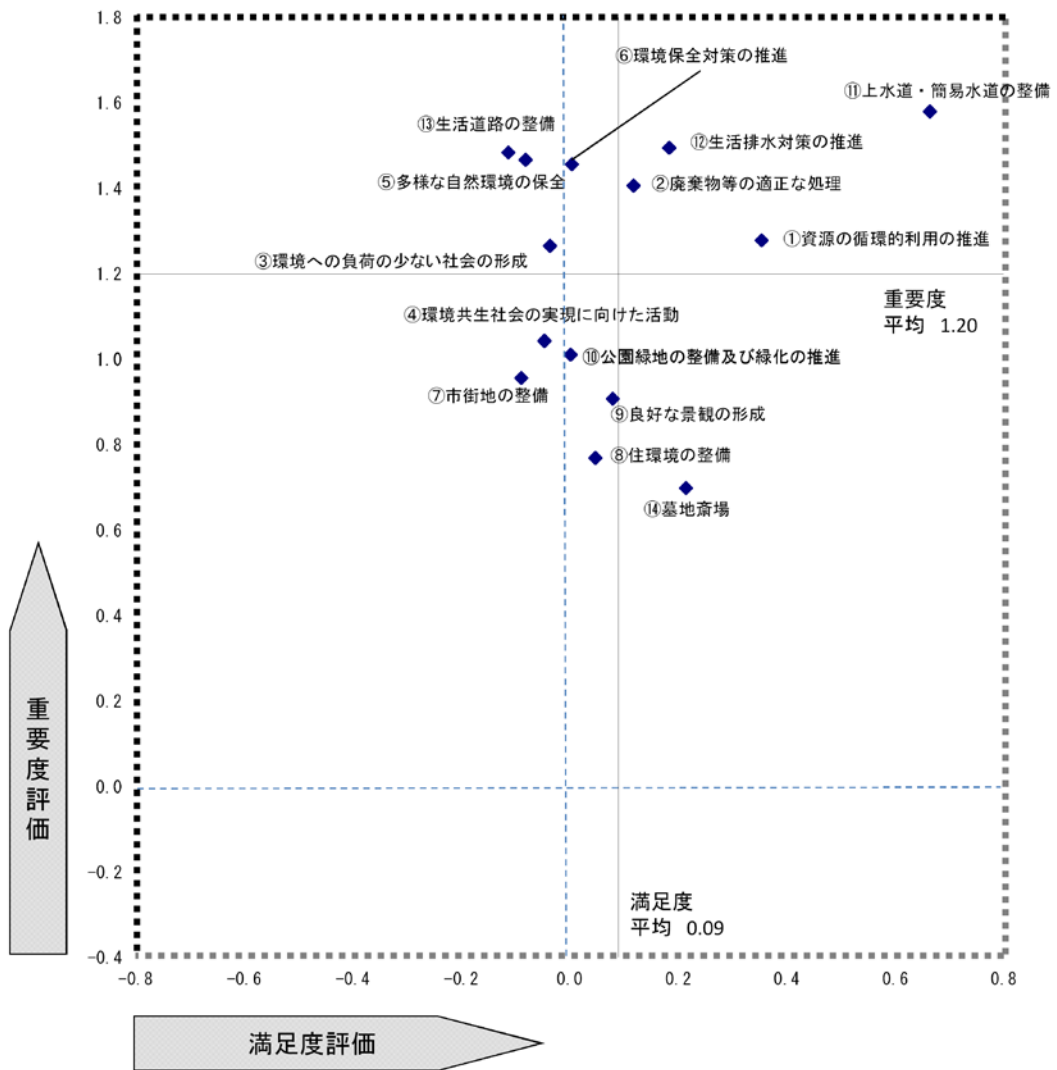
重要度	満足度	得点
重要である	満足である	+2
やや重要である	やや満足である	+1
どらともいえない	どちらともいえない	±0
あまり重要でない	やや不満である	-1
重要でない	不満である	-2
無回答	無回答	±0

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要」} \times 2 + \text{「やや重要」} \times 1 + \text{「あまり重要でない」} \times (-1) + \text{「重要でない」} \times (-2)}{\text{「無回答」を除いた回答数}}$$

満足度についても同様の計算方法

※優先すべき施策を検討する目安となるのが、相対的に重要度が高く、満足度が低い項目になります。

図表 2-2-4 環境、生活基盤分野の重要と満足度（全体）



(注) 図中の重要度・満足度平均値は環境、生活基盤分野の項目の平均値

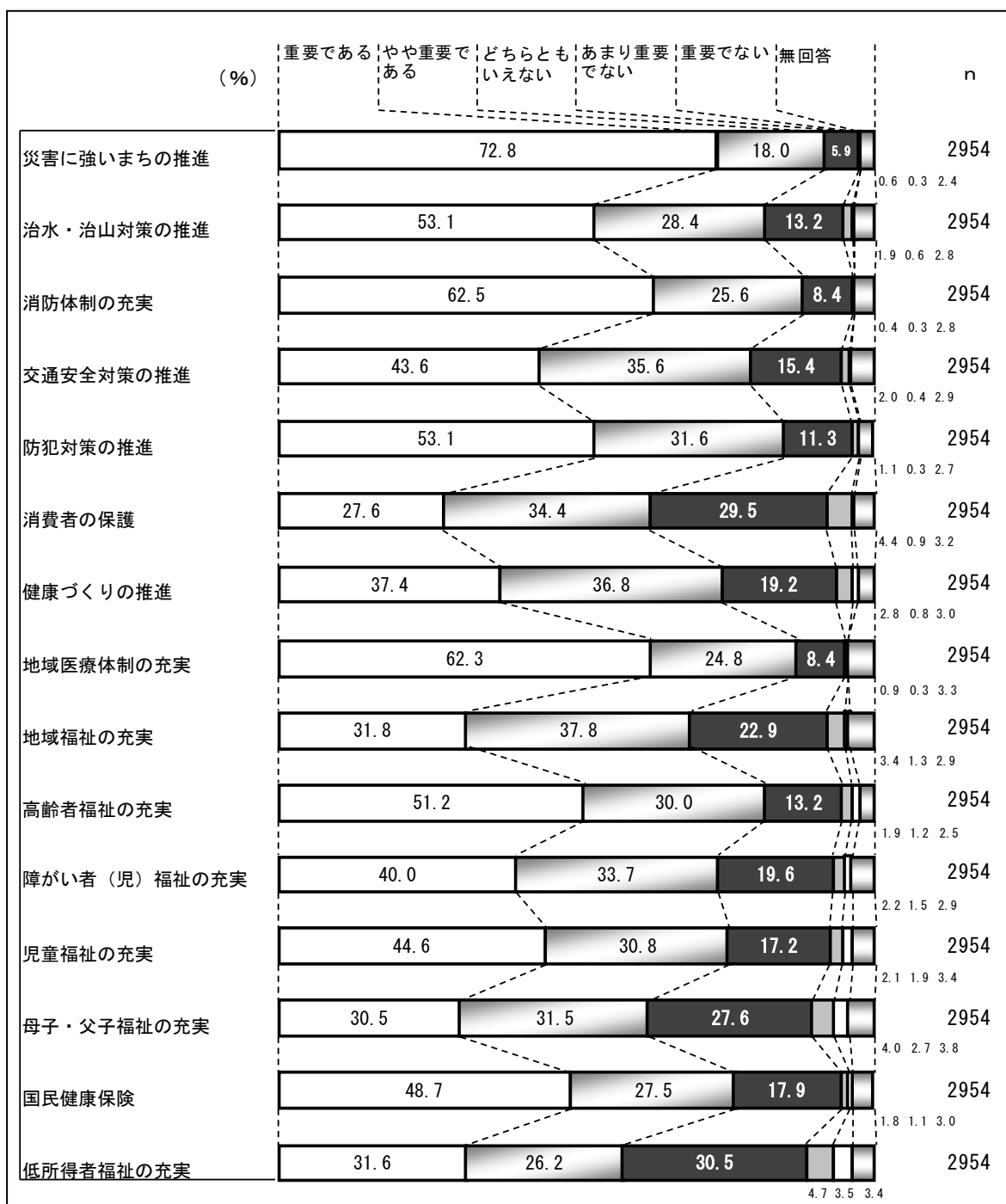
(2) 安全で安心して暮らせるまちづくり

①重要度

「まちづくりの目標2 安全で安心して暮らせるまちづくり」に関連する施策の重要度では、「重要である」の割合が高いのは「災害に強いまちの推進」(72.8%)、「消防体制の充実」(62.5%)、「地域医療体制の充実」(62.3%)と災害と消防、地域医療の重要度が高くなっています。

「重要である」と「やや重要である」を合わせた重要と回答した割合では、上記3項目は約9割と非常に高い割合となっています。次いで、「防犯対策の推進」(84.7%)と「治山対策の推進」(81.5%)、「高齢や福祉の充実」(81.2%)、「交通安全対策の推進」(79.2%)が高くなっており、災害対策のみならず、防犯、交通安全、福祉など幅広い分野で重要度が高くなっています。

図表 2-2-5 防災、健康、福祉分野の重要度（全体）



②満足度

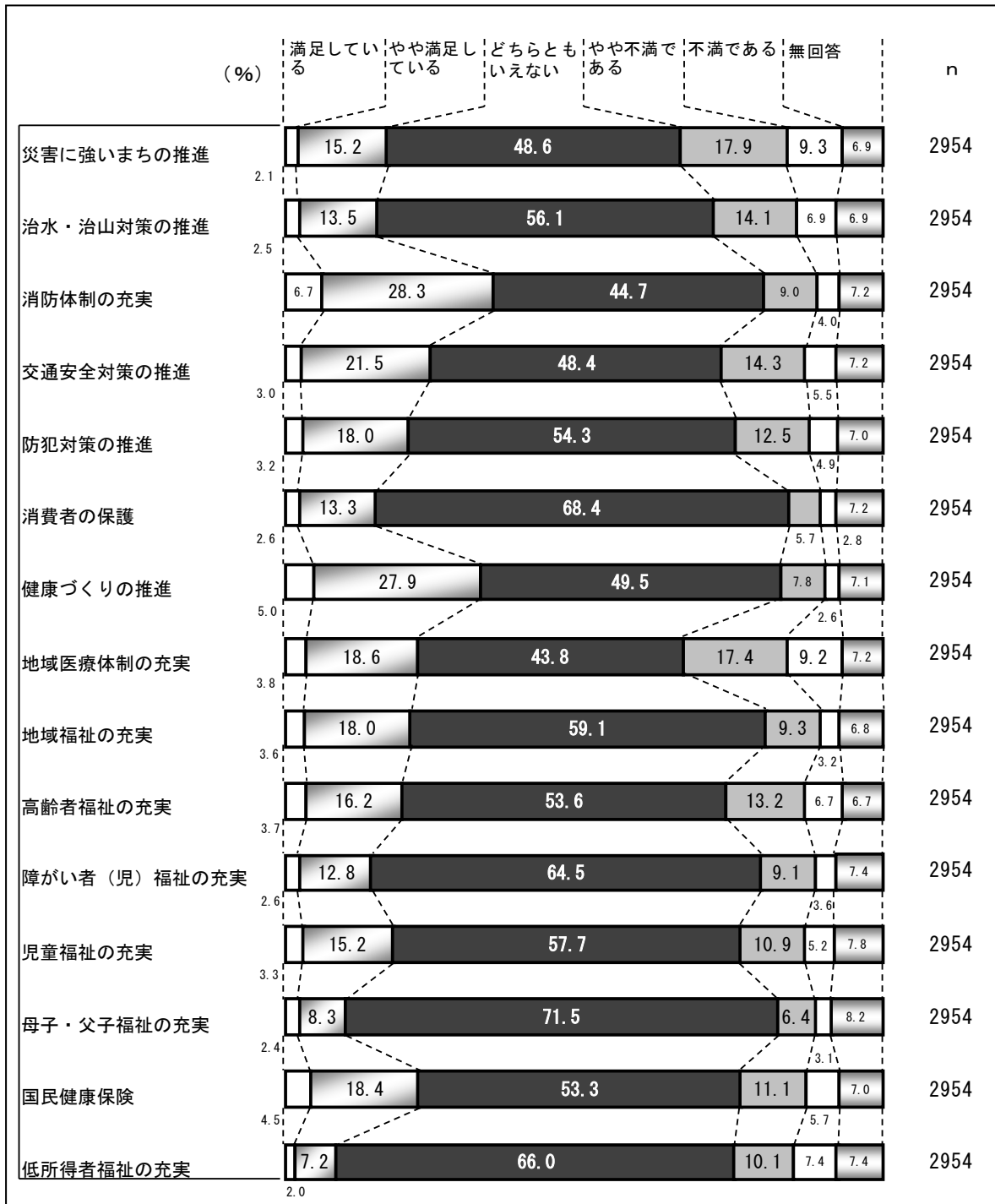
「まちづくりの目標2 安全で安心して暮らせるまちづくり」に関連する施策の満足度では、「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足という回答した割合をみると、「消防体制の充実」が35.0%と最も多く、次いで「健康づくりの推進」が32.9%となっています。「消防体制の充実」は重要度と満足度がともに高くなっており、「健康づくりの推進」は重要度が低く満足度は高くなっています。

また「交通安全対策の充実」(24.5%)、「国民健康保険」(22.9%)、「地域医療体制の充実」(22.4%)という交通安全や医療などについても、比較的満足度が高くなっています。

重要度が高い「災害に強いまちの推進」(17.3%)と「治水・治山対策の推進」(16.0%)は、やや満足度が低くなっています。

一方、最も満足度の割合が低い項目は、「低所得者福祉の充実」(9.2%)、「母子・父子福祉の充実」(10.7%)となっており、これらの項目は「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

図表 2-2-6 防災、健康、福祉分野の満足度（全体）



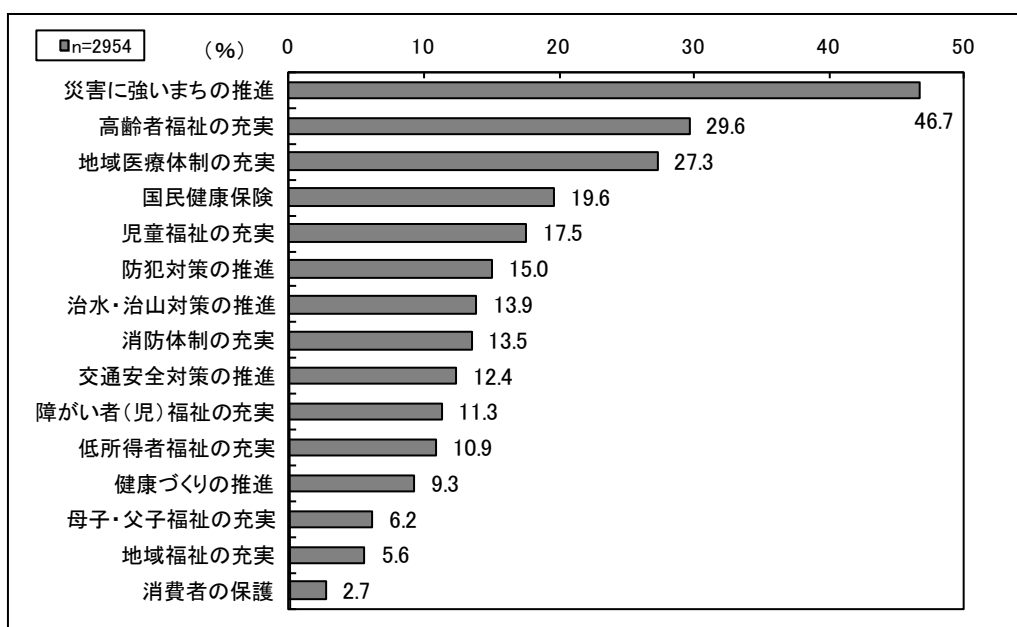
③今後の最重点項目

a. 上記までの防災や健康、福祉など項目のうちで、今後最も力を入れるべきとお考えのものがありましたら、1～15のうちから番号を3つまでご記入ください。【複数回答】

今後最も力を入れる項目としては、「災害に強いまちの推進」が46.7%と圧倒的に多くなっています。次いで「高齢者福祉の充実」(29.6%)、「地域医療体制の充実」(27.3%)が多くなっており、そのほかの項目は20%未満です。

やはり重要度が高い項目の割合が高くなっていますが、「災害に強いまちの推進」が最も多くなっているのは、重要度が高く満足度が低いことが要因と考えられます。

図表 2-2-7 防災、健康、福祉分野の重要度（全体）



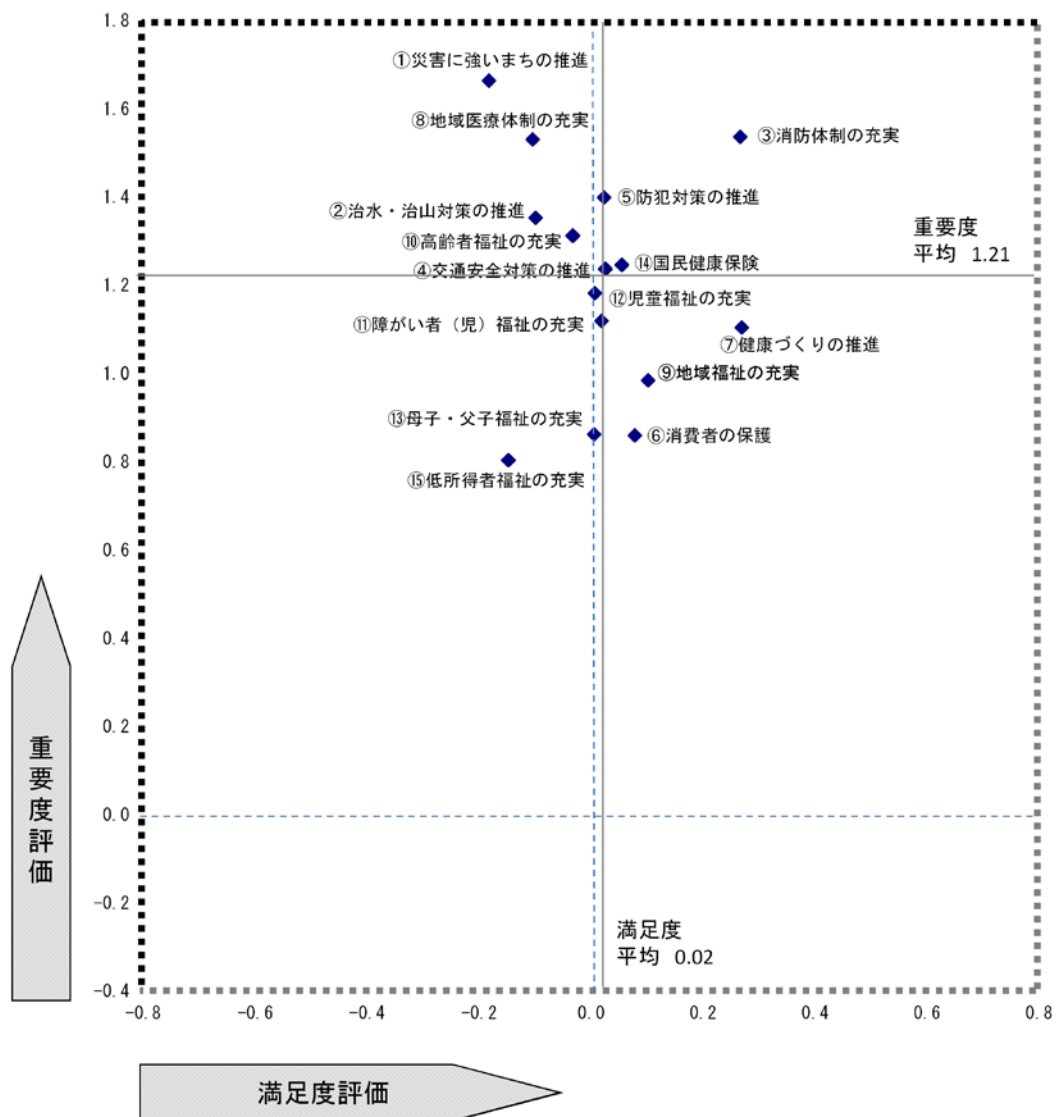
④重要度と満足度との関係

重要度が高く満足度が低い項目は、「災害に強いまちの推進」と「地域医療体制」です。この2項目に次いで、「治水・治山対策の推進」や「高齢者福祉の充実」も相対的に重要度が高く、満足度が低くなっています。

「消防体制の充実」が重要度、満足度ともに高くなっていますが、「災害に強いまちの推進」など、防災関係の項目の重要度が高くなっています。

対象者別の福祉の充実については、満足度が平均的な評価の項目が目立っています。

図表 2-2-8 防災、健康、福祉分野の重要度と満足度（全体）



(注) 図中の重要度・満足度平均値は防災、健康、福祉分野の項目の平均値

(3) 豊かな文化と心を育むまちづくり

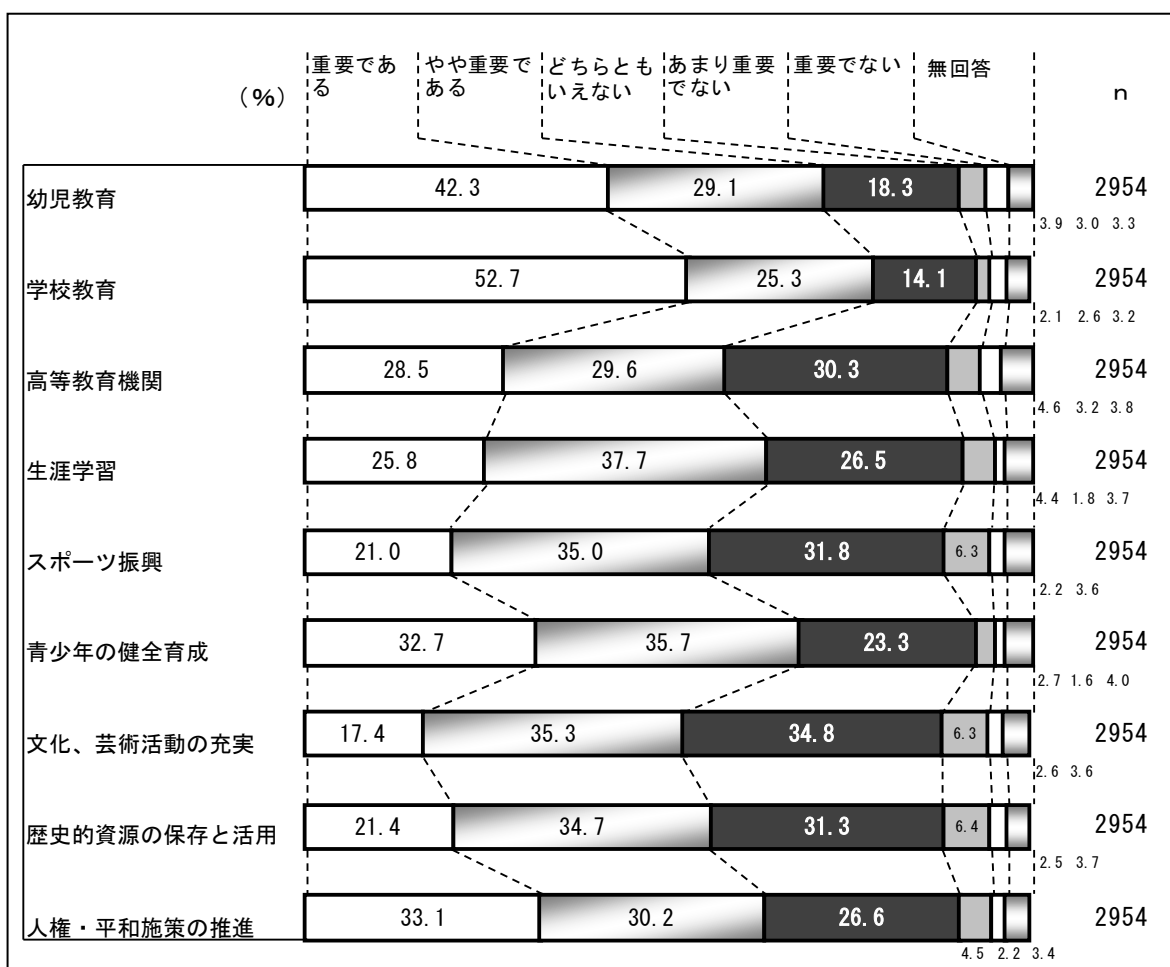
①重要度

「まちづくりの目標3 豊かな文化と心を育むまちづくり」に関連する施策の重要度では、「重要である」の割合が高いのは「学校教育」(52.7%)、「幼児教育」(42.3%)であり、幼児と児童生徒の教育に関心が高くなっていると考えられます。

「重要である」と「やや重要である」を合わせた重要と回答した割合では、上記の「学校教育」は78.0%、「幼児教育」は71.4%と非常に高い割合となっています。

次いで、「青少年の健全育成」(68.4%)、「生涯学習」(63.5%)、「人権・平和施策の推進」(63.3%)で、生涯学習や人権についても重要度が高くなっています。

図表 2-2-9 教育、文化分野の重要度 (全体)

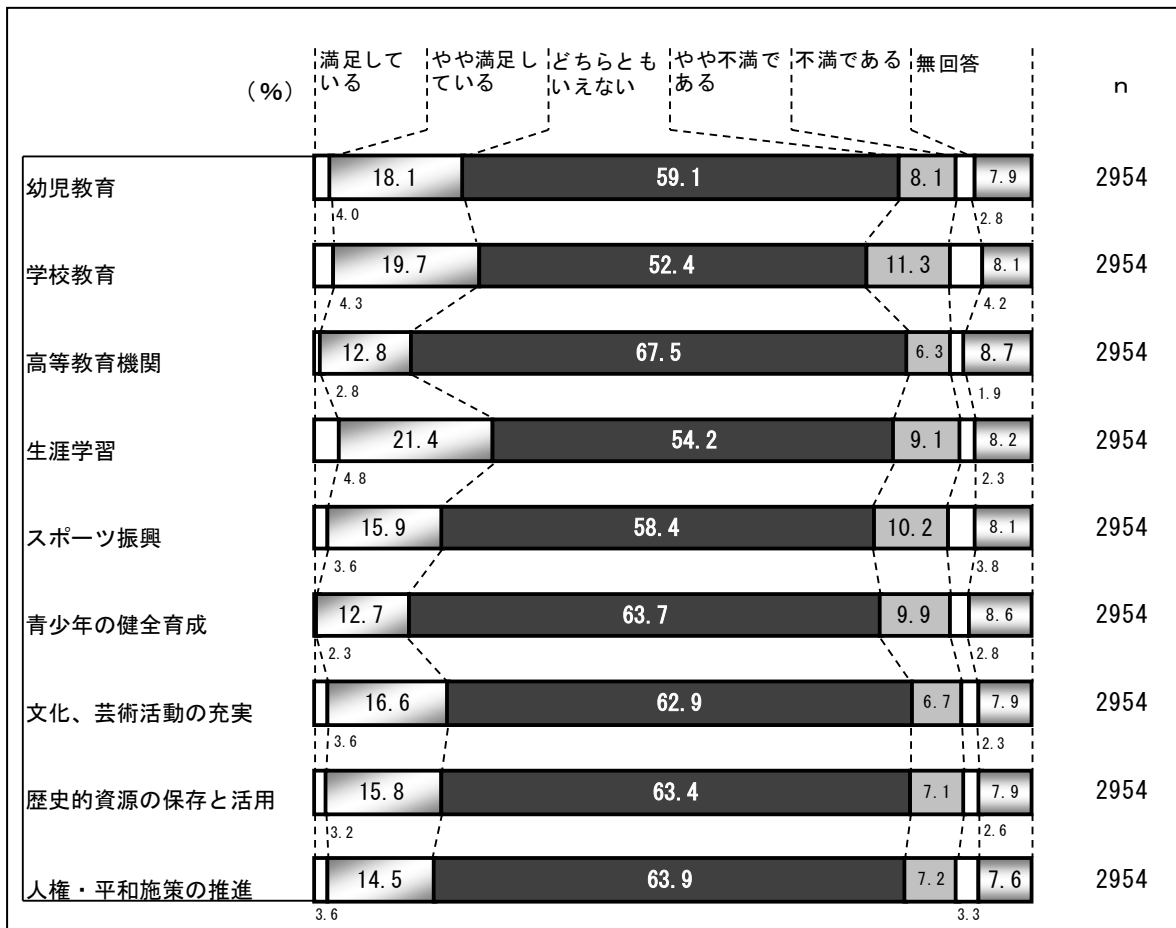


②満足度

「まちづくりの目標3 豊かな文化と心を育むまちづくり」に関連する施策の満足度では、「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足という回答した割合をみると、重要度が高い「生涯学習」(26.2%)や「学校教育」(24.0%)と「幼児教育」(22.1%)が満足度も高くなっています。

一方、最も満足度の割合が低い項目は、「青少年の健全育成」(15.0%)で、重要度が高く満足度が低くなっています。また、「高等教育機関」(15.6%)は重要度も満足度も低くなっています。

図表 2-2-10 教育、文化分野の満足度（全体）



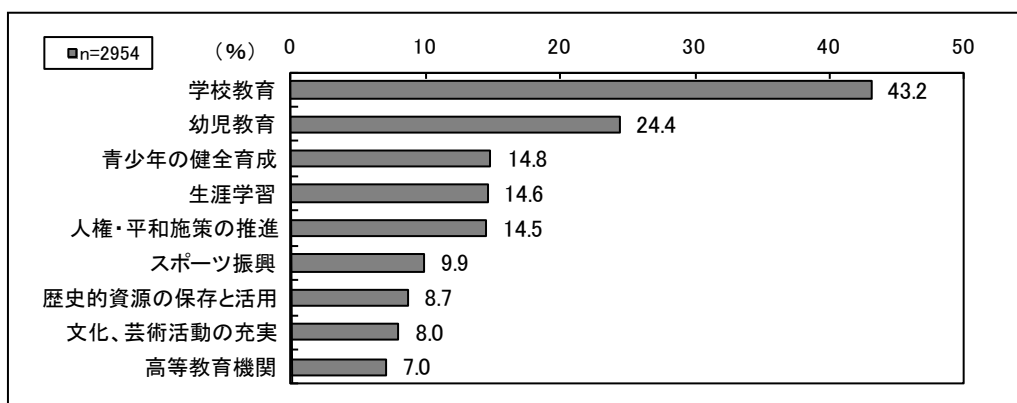
③今後の最重点項目

- a. 上記までの教育・生涯学習、文化などの項目のうちで、今後最も力を入れるべきとお考えのものがありましたら、1～9のうちから番号を2つまでご記入ください。【複数回答】

今後最も力を入れる項目としては、「学校教育」が43.2%と圧倒的に多く、次いで「幼児教育」(24.4%)、となっていますが、そのほかの項目は15%未満にとどまっています。やはり、重要度が最も高い幼児と児童・生徒の教育に回答が集まっています。

「生涯学習」は14.6%ですが、広い意味での生涯学習である「スポーツの振興」、「文化、芸術活動の充実」は10%未満で、重要度、満足度とともに低い「高等教育」が最も低くなっています。

図表 2-2-11 教育、文化分野の重要度（全体）

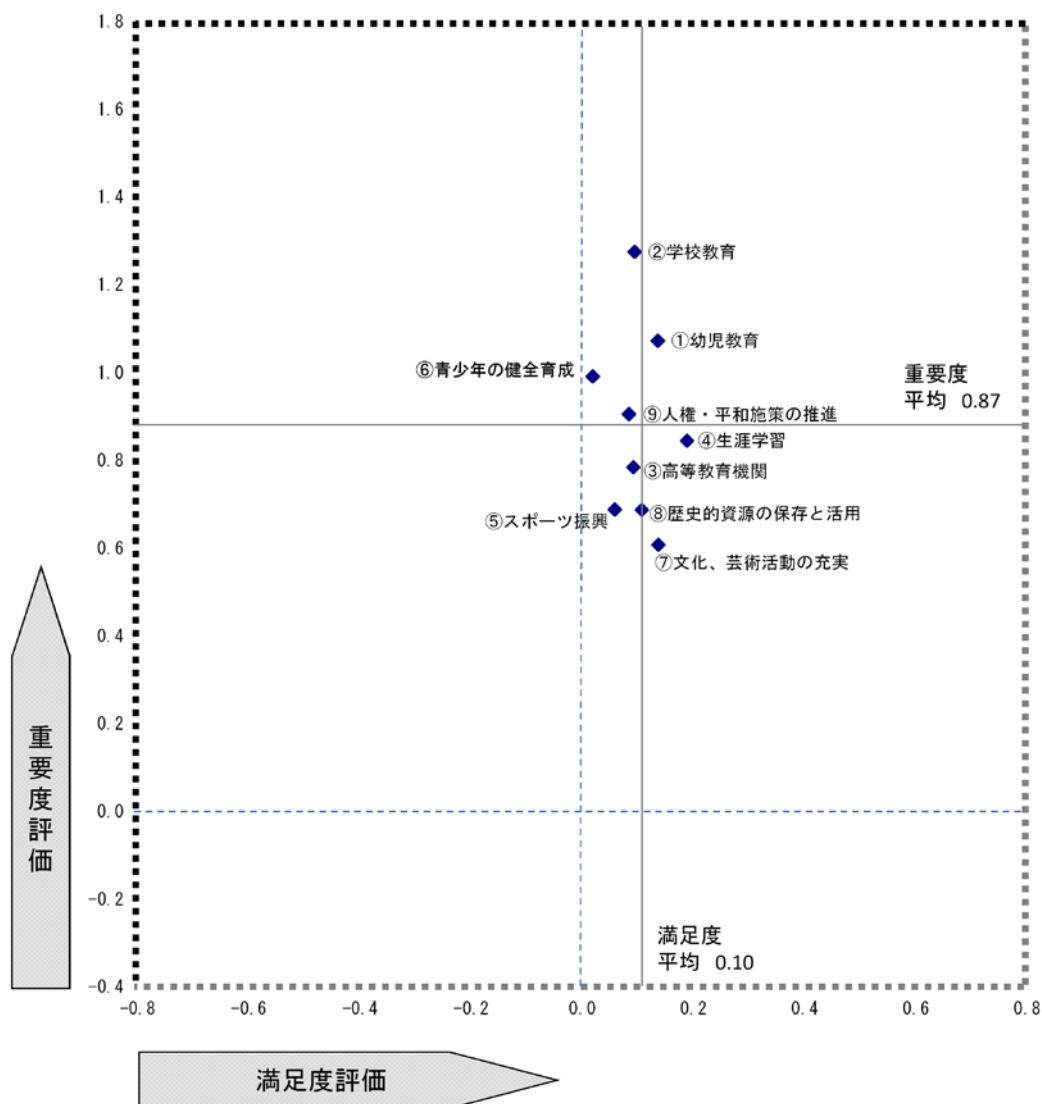


④重要度と満足度との関係

教育、文化分野では、満足度が平均よりも若干高い評価の項目が大半となっており、満足度が高く、重要度が低いと言える項目はありません。

項目の中では、「学校教育」と「幼児教育」の重要度が高く、「青少年の健全育成」がこの分野の中では、重要度が比較的高く、満足度が低くなっています。

図表 2-2-12 教育、文化分野の重要度と満足度（全体）



(注) 図中の重要度・満足度平均値は教育、文化分野の項目の平均値

(4) 活力あるまちづくり

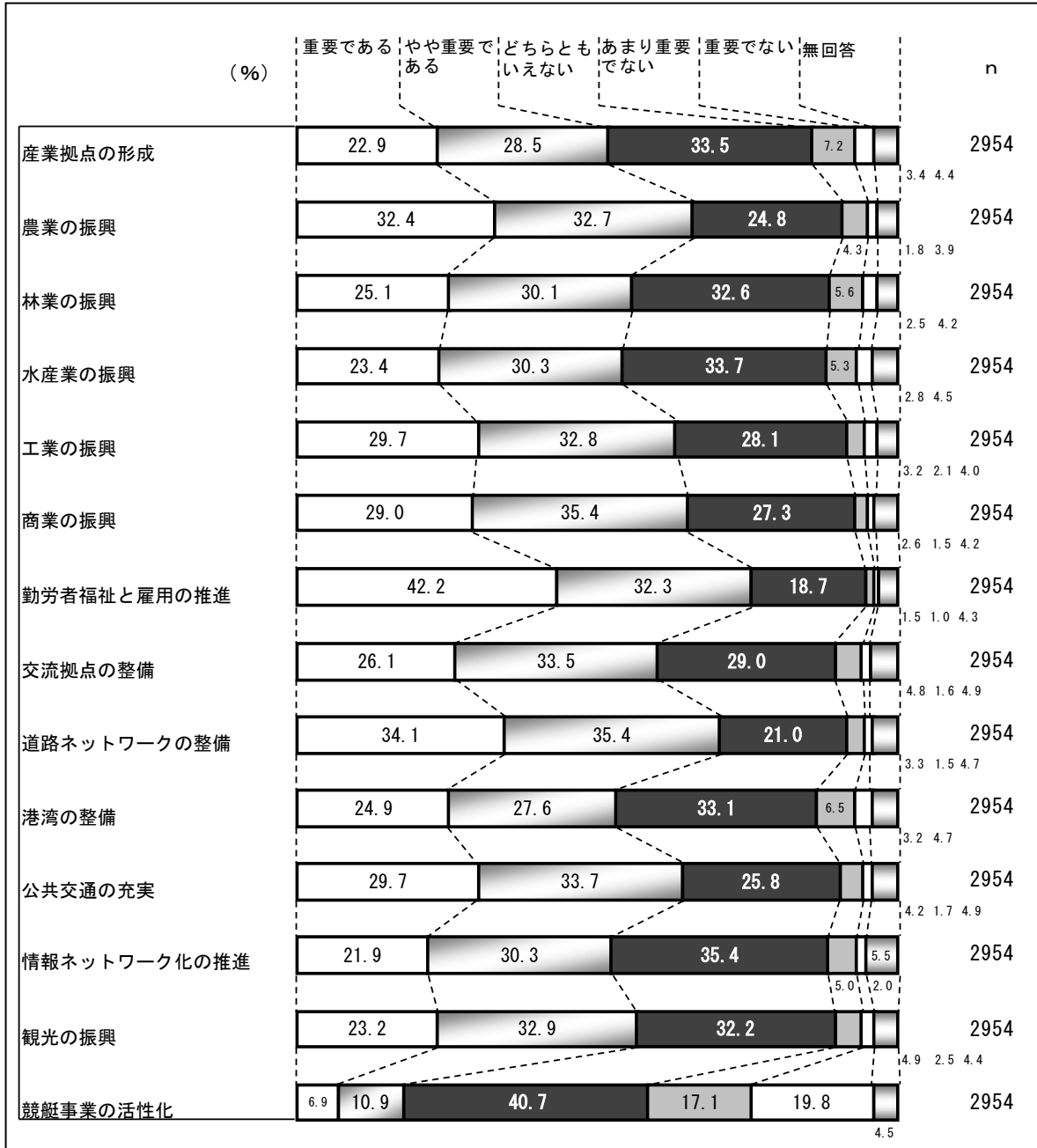
①重要度

「まちづくりの目標4 活力あるまちづくり」に関連する施策の重要度では、割合が高いのは「勤労者福祉と雇用の推進」(42.2%)と「道路ネットワークの整備」(34.1%)、「農業の振興」(32.4%)であり、厳しい経済情勢を反映して雇用が最も高くなったと考えられます。

「重要である」と「やや重要である」を合わせた重要と回答した割合では、上記の「勤労者福祉と雇用の推進」は74.5%、「道路ネットワークの整備」は69.5%と非常に高い割合となっています。

次いで、「農業の振興」や「工業の振興」、「商業の振興」、「公共交通の充実」が60%を超えており、雇用とともに産業振興への関心が寄せられています。

図表 2-2-13 産業、交流、観光分野の重要度（全体）

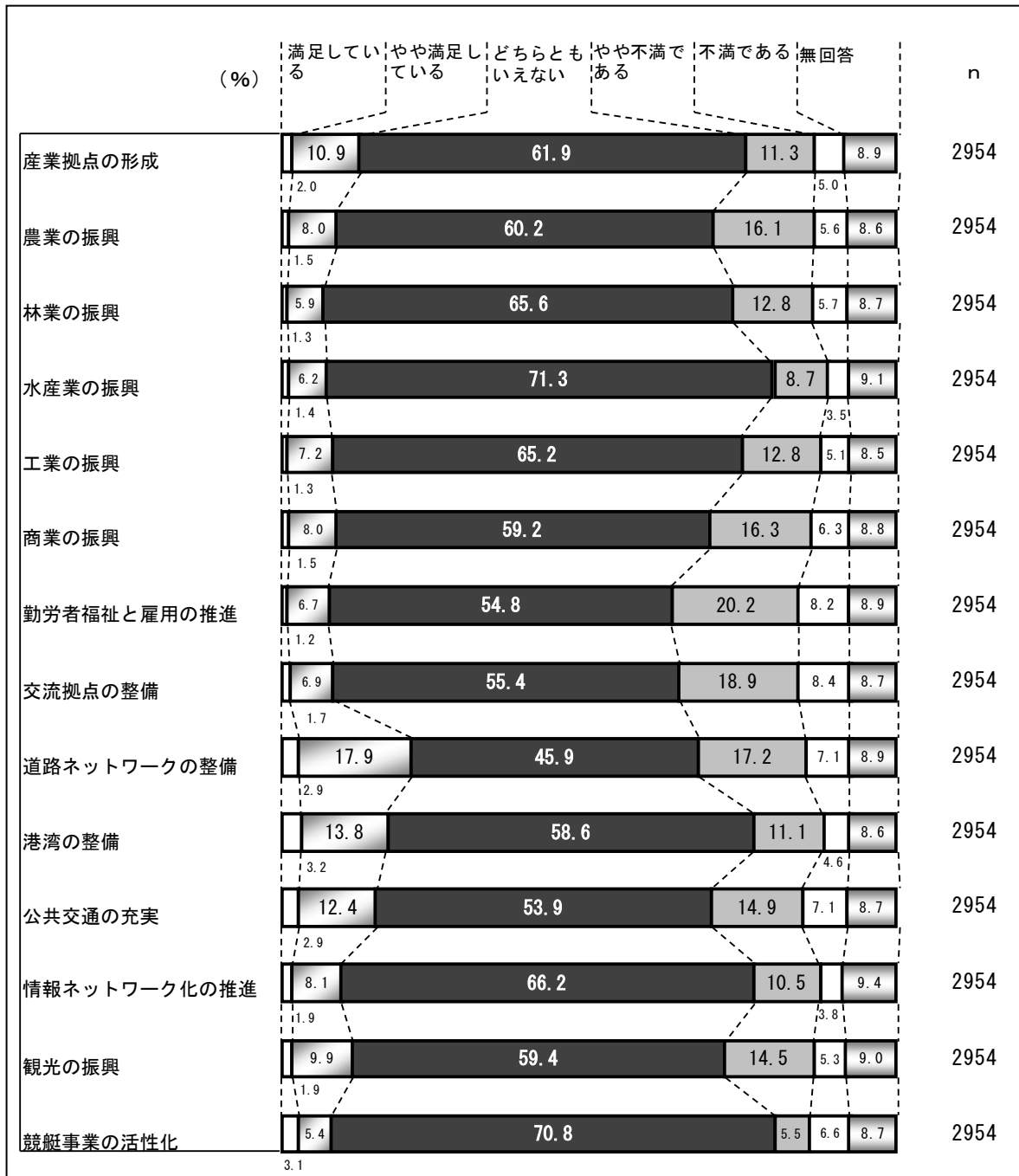


②満足度

「まちづくりの目標4 活力あるまちづくり」に関連する施策の満足度では、「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足という回答した割合をみると、「道路ネットワークの整備」(20.8%)や「港湾の整備」(17.0%)と「公共交通の充実」(15.3%)の満足度が高くなっており、交通関係の項目については満足度が高いと言えます。

一方、産業関連の項目は選択肢が多く回答が分かれたかかもしれませんが、大半の項目の満足度が低くなっており、「農業の振興」、「林業の振興」、「水産業の振興」、「工業の振興」、「勤労者福祉と雇用の推進」は満足度が1割を切っています。

図表 2-2-14 産業、交流、観光分野の満足度（全体）



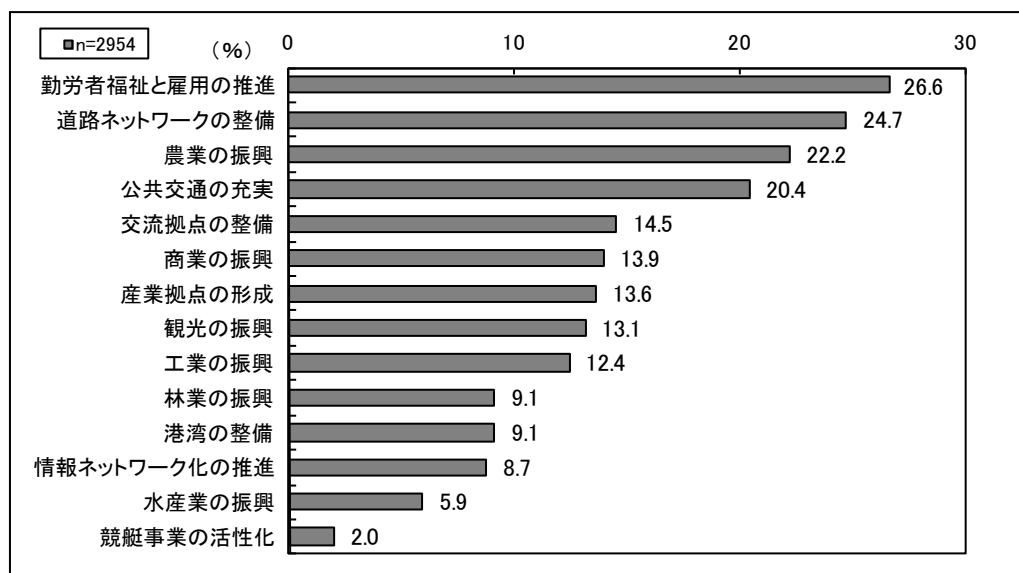
③今後の最重点項目

a. 上記までの産業、交流機能などの項目のうちで、今後最も力を入れるべきとお考えのものがありましたら、1～14のうちから番号を3つまでご記入ください。【複数回答】

今後最も力を入れる項目としては、「勤労者福祉と雇用の推進」(26.6%)と「道路ネットワークの整備」(24.7%)、「農業の振興」(22.2%)、「公共交通の充実」(20.4%)と、重要度が高い項目の回答が多くなっています。

このほかの項目は15%未満であり、産業関連の項目と「情報ネットワークの整備」、「競艇事業の活性化」が最も少なくなっています。

図表 2-2-15 産業、交流、観光分野の重要度（全体）

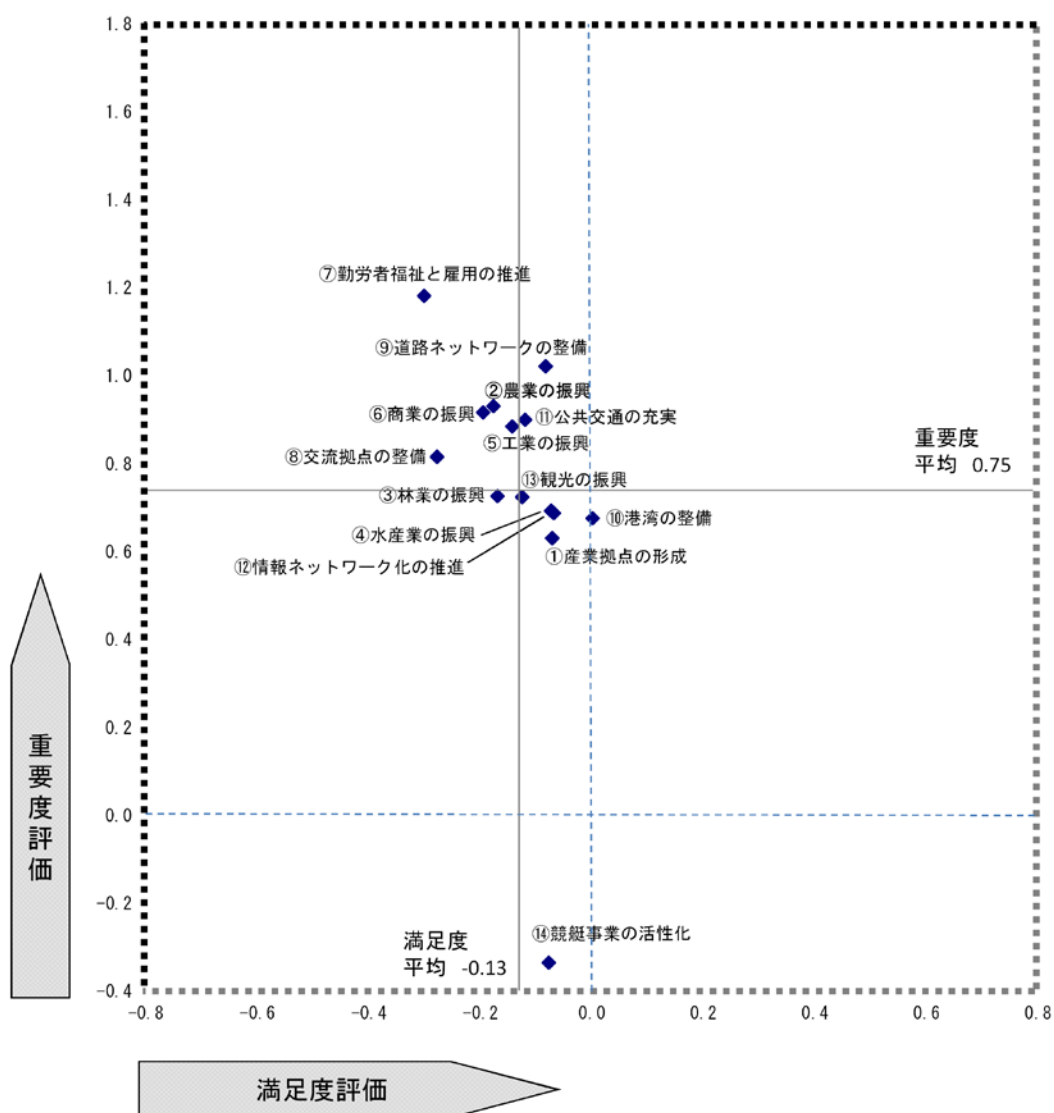


④重要度と満足度との関係

重要度が高く満足度が低い項目は「勤労者福祉と雇用の推進」で、満足度が若干低いものの重要度が高いのは「道路ネットワークの整備」です。

このほかの産業、交流、観光分野の大半の項目は、全体の平均よりも重要度、満足度ともに低くなっていますが、分野別の産業振興については市民にとって評価が難しい面もあります。

図表 2-2-16 産業、交流、観光分野の重要度と満足度（全体）



(注) 図中の重要度・満足度平均値は産業、交流、観光分野の項目の平均値

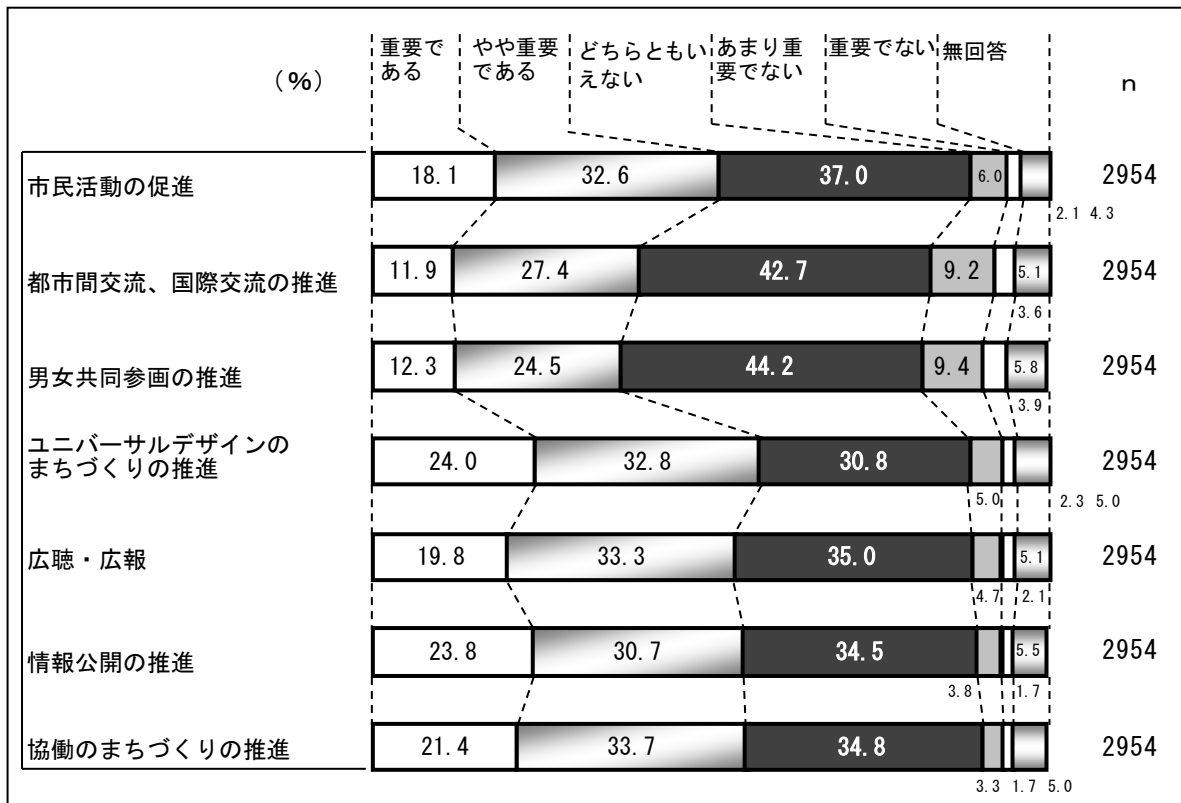
(5) 参加と協働のまちづくり

①重要度

「まちづくりの目標5 参加と協働のまちづくり」に関連する施策の重要度では、割合が高いのは「ユニバーサルデザインのまちづくりの推進」(24.0%)と「情報公開の推進」(23.8%)が比較的高くなっています。

「重要である」と「やや重要である」を合わせた重要と回答した割合では、上記2項目のほか、「協働のまちづくりの推進」と「広報・広聴」が55%前後で並んでおり、市民と市の情報の共有などが求められています。

図表 2-2-17 市民活動、協働分野の重要度（全体）

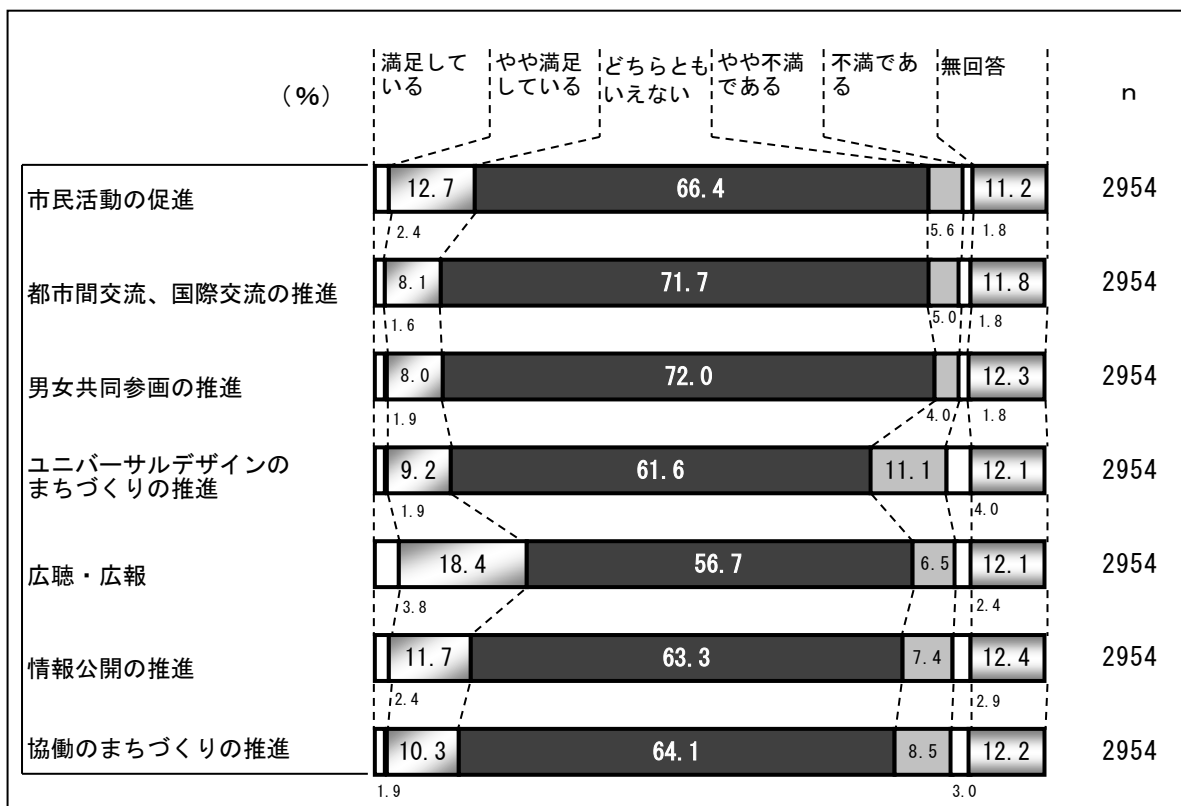


②満足度

「まちづくりの目標5 参加と協働のまちづくり」に関連する施策の満足度では、「満足している」と「やや満足している」を合わせた満足という回答した割合をみると、重要度が高い「広報広聴」(22.2%)の満足度が高くなっています。

このほかでは大半の項目が、満足度は15%を切っており、「ユニバーサルデザインのまちづくりの推進」と「情報公開の推進」、「協働のまちづくりの推進」は重要度が高く、満足度が低くなっています。

図表 2-2-18 市民活動、協働分野の満足度（全体）



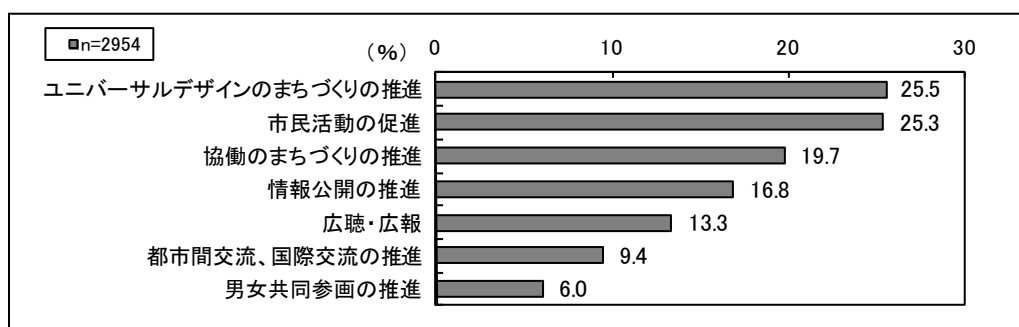
③今後の最重点項目

a. 上記までの市民活動促進、協働の推進などの項目のうちで、今後最も力を入れるべきとお考えのものがありましたら、1～7のうちから番号を2つまでご記入ください。【複数回答】

今後最も力を入れる項目としては、「ユニバーサルデザインのまちづくりの推進」(25.5%)と「市民活動の促進」(25.3%)が多くなっており、次いで、「協働のまちづくりの推進」(19.7%)というように、市民に身近な活動やまちづくりが重視されています。

「男女共同参画の推進」(6.0%)が最も少なく、次いで「都市間交流、国際交流の推進」(9.4%)が少なくなっています。

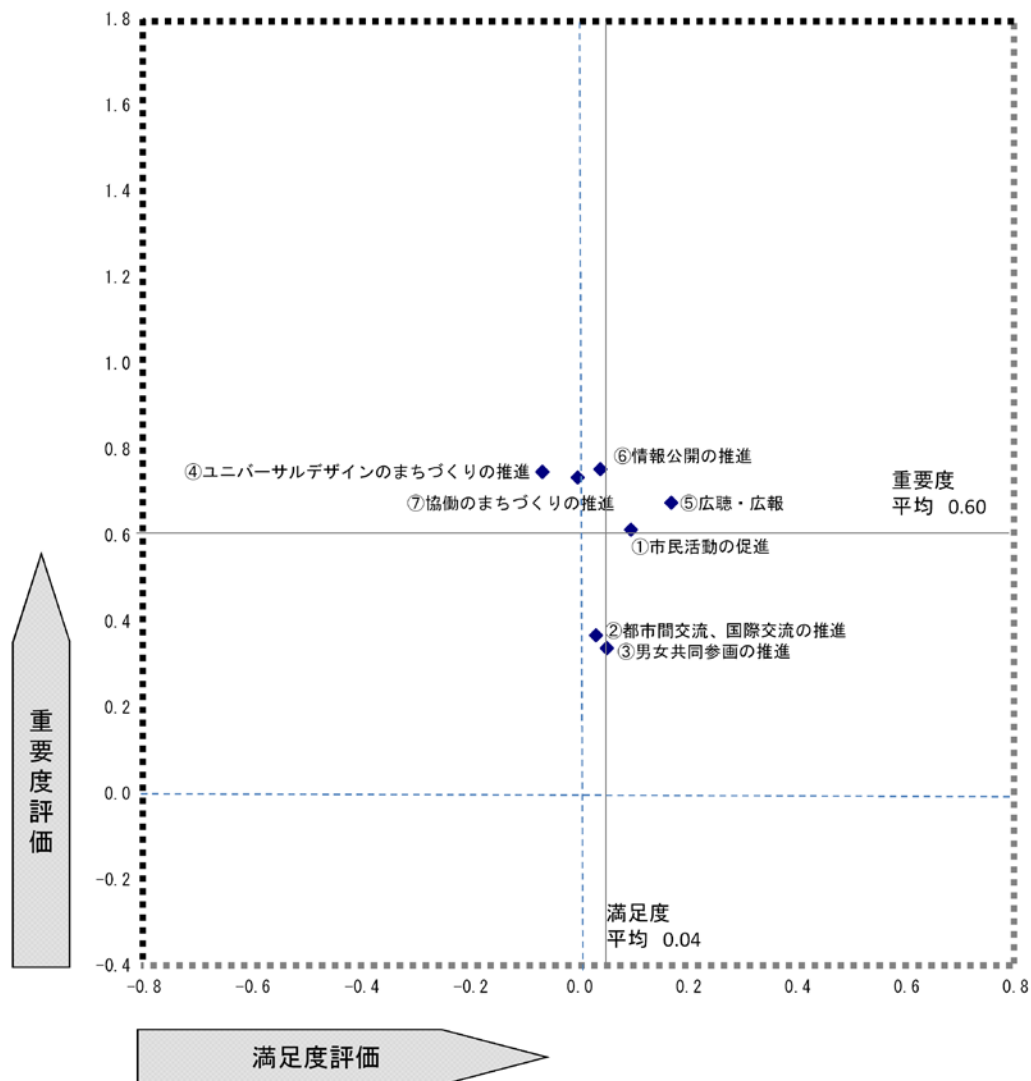
図表 2-2-19 市民活動、協働分野の重要度（全体）



④重要度と満足度との関係

重要度が高く満足度が低い項目は「ユニバーサルデザインのまちづくりの推進」で、この項目に近い評価の項目は「情報公開の推進」と「協働のまちづくりの推進」です。このほかの市民活動、協働分野の項目は全体的に重要度が低くなっています。

図表 2-2-20 市民活動、協働分野の重要度と満足度（全体）



(注) 図中の重要度・満足度平均値は市民活動、協働分野の項目の平均値

(6) 居住地別のまちづくりの目標に関する満足度評価

満足度を聞いた 59 項目を居住地別に比較しやすいように、評点を大きくして加重平均を算出した結果を分析します。(前回調査同様の 21 ページの満足度と重要度の散布図における算出よりも、選択された項目の得点を大きくして、最高点 10 点、最低点-10 点の範囲になるように算出)

※加重平均値の算出方法

5 段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点 (満足度) を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」、「やや満足し} \\ \text{ている」、「どちらともいえない」、} \\ \text{「やや不満である」、「不満} \\ \text{である」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は 10 点～-10 点の間に分布し、中間点の 0 点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

①全体

全体での満足度評価は、「上水道・簡易水道の整備」(3.32 点)が最も高く、次いで「資源の循環的利用の推進」(1.77 点)、「健康づくりの推進」(1.35 点)と続き、以下、「消防体制の充実」(1.33 点)、「生涯学習」(0.94 点)などの順となっています。

一方、満足度評価の低い方からみると、「勤労者福祉と雇用の促進」(-1.50 点)が最も低く、次いで「交流拠点の整備」(-1.39 点)、「商業の振興」(-0.98 点)、「災害に強いまちの推進」(-0.91 点)、「農業の振興」(-0.88 点)が続いています。総合すると、満足度がプラス評価の項目が 34 項目、マイナス評価の項目が 25 項目となっています。

②居住地区別

津地域北部

満足度の上位 3 項目は第 1 位が「上水道・簡易水道の整備」(3.58 点)、第 2 位が「資源の循環的利用の推進」(1.78 点)、第 3 位が「消防体制の充実」(1.56 点)の順となっています。

一方、下位 3 項目は第 1 位が「交流拠点の整備」(-1.52 点)、第 2 位が「勤労者福祉と雇用の推進」(-1.49 点)、第 3 位が「農業の振興」(-1.06 点)の順となっています。

設定した 59 項目のうちプラス評価の項目は 32 項目、マイナス評価の項目は 27 項目でした。

津地域中央部

満足度の上位 3 項目は第 1 位が「上水道・簡易水道の整備」(3.29 点)、第 2 位が「資

源の循環的利用の推進」(1.62点)、第3位が「健康づくりの推進」(1.19点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「交流拠点の整備」(-2.24点)、第2位が「勤労者福祉と雇用の推進」(-1.84点)、第3位が「災害に強いまちの推進」(-1.70点)の順となっています。

設定した59項目のうちプラス評価の項目は27項目、マイナス評価の項目は32項目でした。

津地域西部

満足度の上位3項目は第1位が「上水道・簡易水道の整備」(3.70点)、第2位が「資源の循環的利用の推進」(1.89点)、第3位が「健康づくりの推進」(1.20点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「勤労者福祉と雇用の推進」(-1.71点)、第2位が「交流拠点の整備」(-1.37点)、第3位が「商業の振興」(-1.10点)の順となっています。

設定した59項目のうちプラス評価の項目は27項目、中間点は2項目、マイナス評価の項目は30項目でした。

津地域南部

満足度の上位3項目は第1位が「上水道・簡易水道の整備」(3.83点)、第2位が「生活排水対策の推進」(1.83点)、第3位が「資源の循環的利用の推進」(1.76点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「災害に強いまちの推進」(-0.71点)、第2位が「交流拠点の整備」(-0.70点)、第3位が「勤労者福祉と雇用の推進」(-0.65点)の順となっています。

設定した59項目のうちプラス評価の項目は40項目、中間点は1項目、マイナス評価の項目は18項目でした。

久居地域東部

満足度の上位3項目は第1位が「上水道・簡易水道の整備」(3.71点)、第2位が「生活排水対策の推進」(2.12点)、第3位が「資源の循環的利用の推進」(1.85点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「勤労者福祉と雇用の推進」(-1.26点)、第2位が「交流拠点の整備」(-1.19点)、第3位が「商業の振興」(-0.94点)の順となっています。

設定した59項目のうちプラス評価の項目は35項目、マイナス評価の項目は24項目でした。

久居地域西部

満足度の上位3項目は第1位が「上水道・簡易水道の整備」(2.24点)、第2位が「資源の循環的利用の推進」(1.81点)、第3位が「健康づくりの推進」(1.61点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「生活排水対策の推進」(-1.78点)、第2位が「生活

道路の整備」(-1.57点)、第3位が「勤労者福祉と雇用の推進」(-1.24点)の順となっています。

設定した59項目のうちプラス評価の項目は31項目、中間点は2項目、マイナス評価の項目は26項目でした。

河芸地域

満足度の上位3項目は第1位が「上水道・簡易水道の整備」(2.28点)、第2位が「資源の循環的利用の推進」(1.96点)、第3位が「健康づくりの推進」(1.52点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「勤労者福祉と雇用の推進」(-1.04点)、第2位が「災害に強いまちづくり」(-0.99点)、第3位が「農業の振興」(-0.69点)の順となっています。

設定した59項目のうちプラス評価の項目は37項目、中間点は1項目、マイナス評価の項目は21項目でした。

芸濃地域

満足度の上位3項目は第1位が「上水道・簡易水道の整備」(3.67点)、第2位が「生活排水対策の推進」(2.21点)、第3位が「消防体制の充実」(1.49点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「勤労者福祉と雇用の推進」(-1.67点)、第2位が「林業の振興」(-1.38点)、第3位が「農業の振興」及び「交流拠点の整備」(同-1.23点)の順となっています。

設定した59項目のうちプラス評価の項目は21項目、中間点は4項目、マイナス評価の項目は34項目でした。

美里地域

満足度の上位3項目は第1位が「上水道・簡易水道の整備」(4.32点)、第2位が「生活排水対策の推進」(3.78点)、第3位が「資源の循環的利用の推進」(2.22点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「公共交通の充実」(-1.51点)、第2位が「農業の振興」及び「交流拠点の整備」(同-1.31点)の順となっています。

設定した59項目のうちプラス評価の項目は36項目、中間点は3項目、マイナス評価の項目は20項目でした。

安濃地域

満足度の上位3項目は第1位が「上水道・簡易水道の整備」(2.39点)、第2位が「健康づくりの推進」(1.89点)、第3位が「資源の循環的利用の推進」(1.85点)の順となっています。

一方、下位3項目は第1位が「勤労者福祉と雇用の推進」(-1.68点)、第2位が「交流拠点の整備」(-1.04点)、第3位が「地域医療体制の充実」(-0.89点)の順となっています。

設定した 59 項目のうちプラス評価の項目は 35 項目、中間点は 2 項目、マイナス評価の項目は 22 項目でした。

香良洲地域

満足度の上位 3 項目は第 1 位が「上水道・簡易水道の整備」(3.30 点)、第 2 位が「産業拠点の形成」(2.84 点)、第 3 位が「生活排水対策の推進」(2.23 点)の順となっています。

一方、下位 3 項目は第 1 位が「災害に強いまちづくり」(-3.64 点)、第 2 位が「生活道路の整備」(-2.61 点)、第 3 位が「治水・治山対策の推進」及び「地域医療体制の充実」(同-2.27 点)の順となっています。

設定した 59 項目のうちプラス評価の項目は 24 項目、中間点は 4 項目、マイナス評価の項目は 31 項目でした。

一志地域

満足度の上位 3 項目は第 1 位が「上水道・簡易水道の整備」(3.78 点)、第 2 位が「資源の循環的利用の推進」(1.92 点)、第 3 位が「墓地・斎場」(1.70 点)の順となっています。

一方、下位 3 項目は第 1 位が「勤労者福祉と雇用の推進」(-1.58 点)、第 2 位が「林業の振興」(-1.42 点)、第 3 位が「公共交通の充実」(-1.21 点)の順となっています。

設定した 59 項目のうちプラス評価の項目は 28 項目、中間点は 1 項目、マイナス評価の項目は 30 項目でした。

白山地域

満足度の上位 3 項目は第 1 位が「上水道・簡易水道の整備」(2.60 点)、第 2 位が「消防体制の充実」(1.97 点)、第 3 位が「健康づくりの推進」(1.89 点)の順となっています。

一方、下位 3 項目は第 1 位が「勤労者福祉と雇用の推進」(-1.53 点)、第 2 位が「農業の振興」(-1.24 点)、第 3 位が「低所得者福祉の充実」(-0.99 点)の順となっています。

設定した 59 項目のうちプラス評価の項目は 36 項目、中間点は 4 項目、マイナス評価の項目は 19 項目でした。

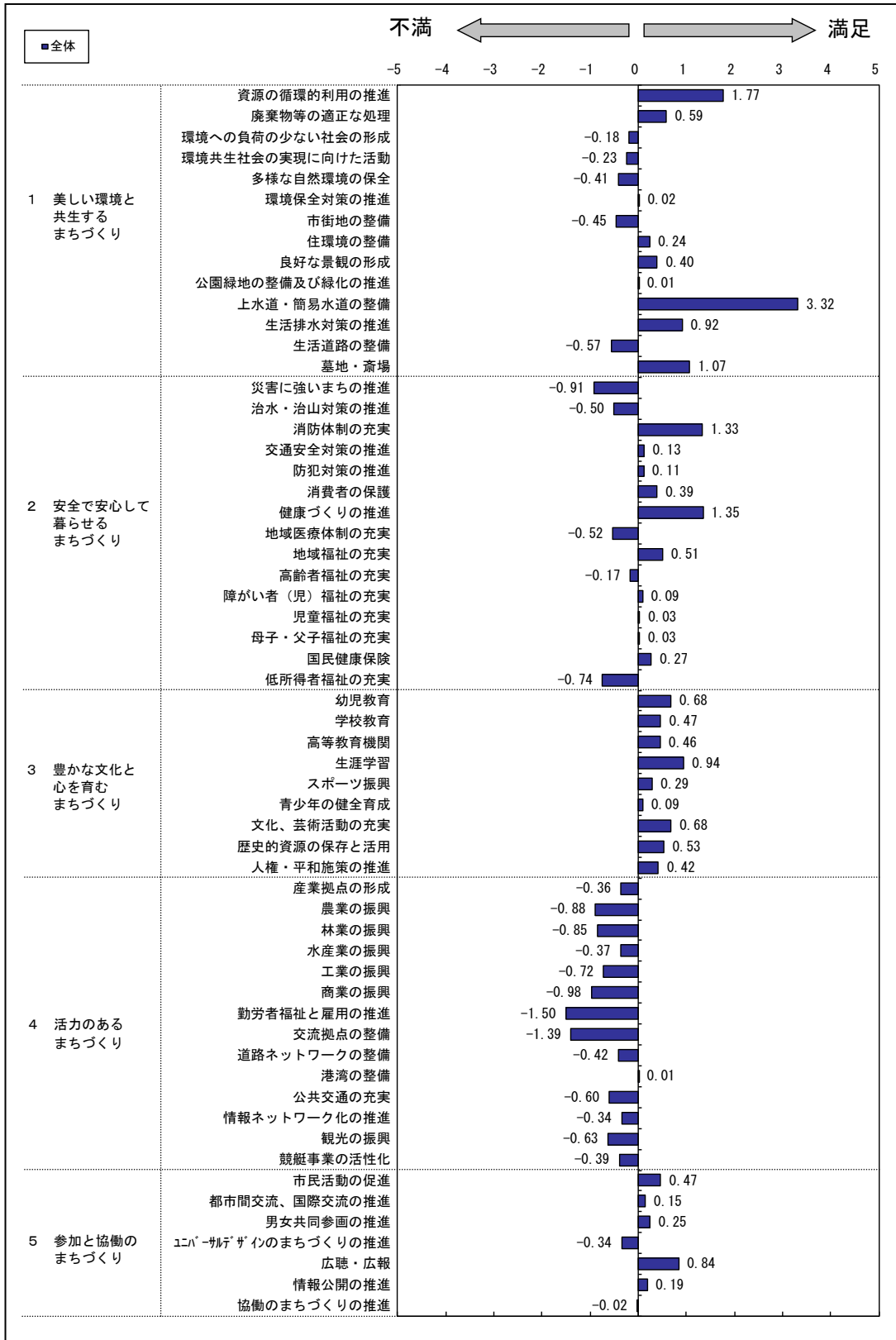
美杉地域

満足度の上位 3 項目は第 1 位が「資源の循環的利用の推進」(2.19 点)、第 2 位が「上水道・簡易水道の整備」(1.95 点)、第 3 位が「地域福祉の充実」(1.08 点)の順となっています。

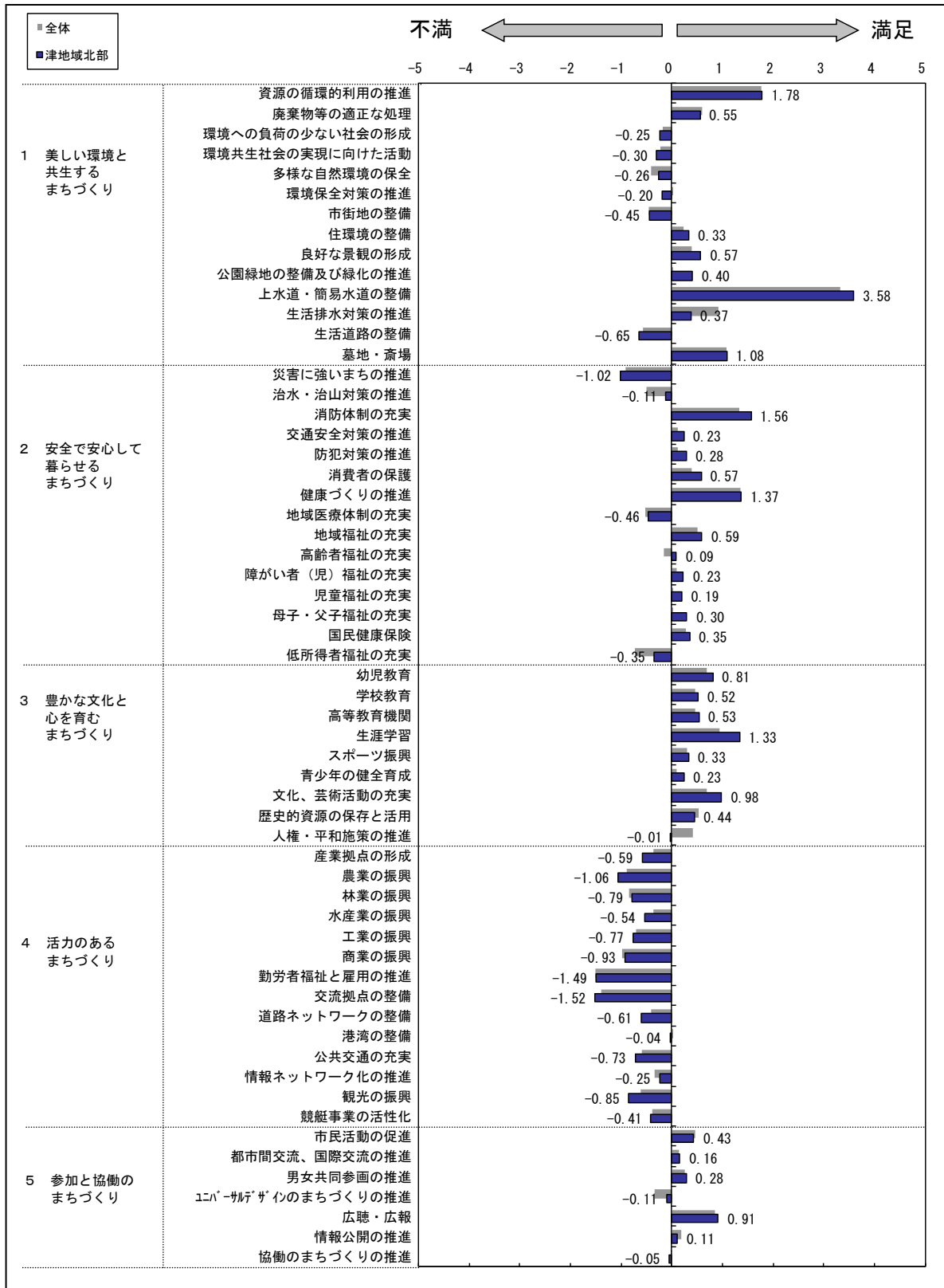
一方、下位 3 項目は第 1 位が「林業の振興」(-3.37 点)、第 2 位が「公共交通の充実」(-3.30 点)、第 3 位が「治水・治山対策の推進」(-2.95 点)の順となっています。

設定した 59 項目のうちプラス評価の項目は 16 項目、マイナス評価の項目は 43 項目でした。

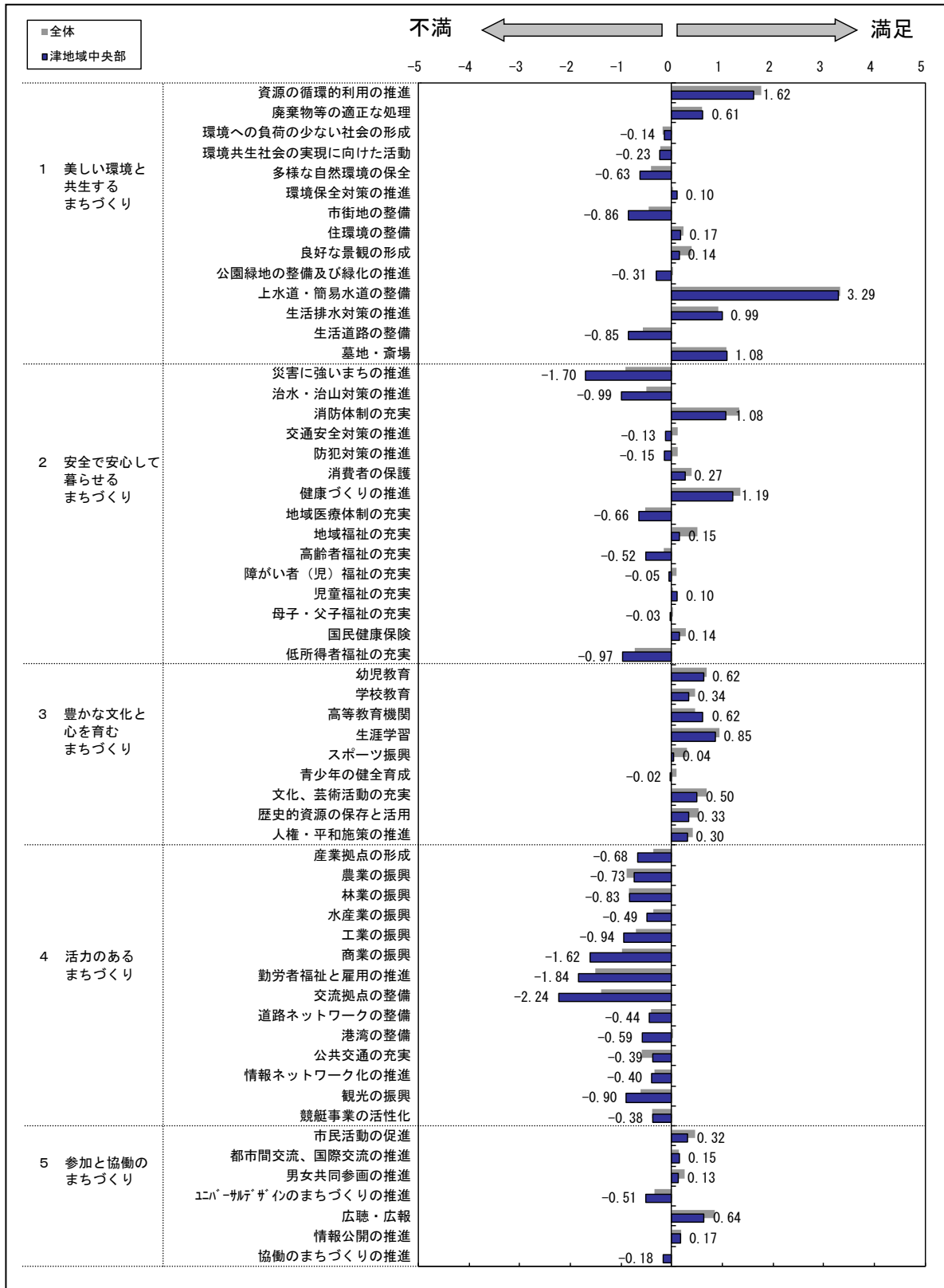
図表 2-2-21 まちづくりの目標に関する満足度（全体）



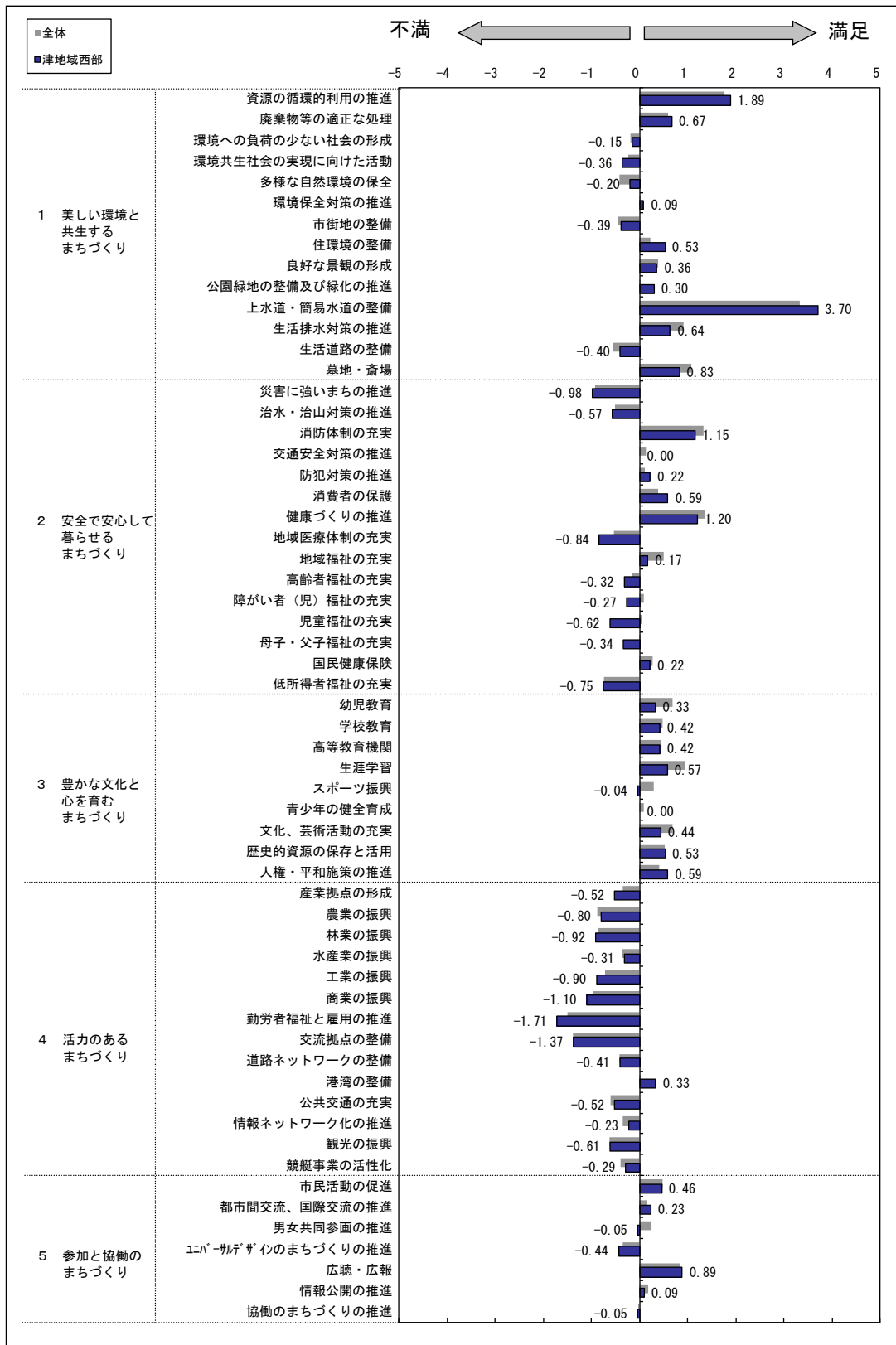
図表 2-2-22 まちづくりの目標に関する満足度 (①津地域北部)



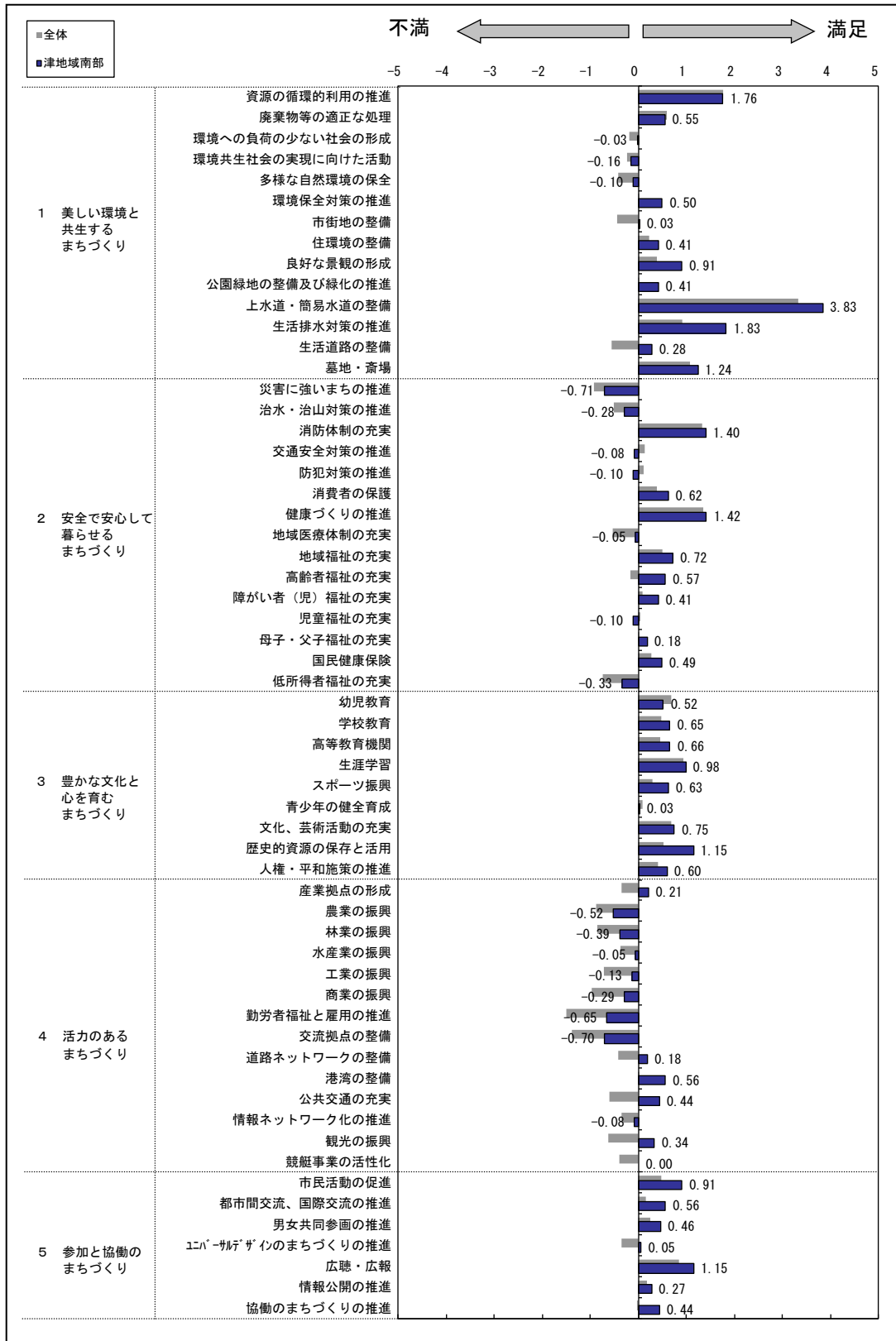
図表 2-2-23 まちづくりの目標に関する満足度 (②津地域中央部)



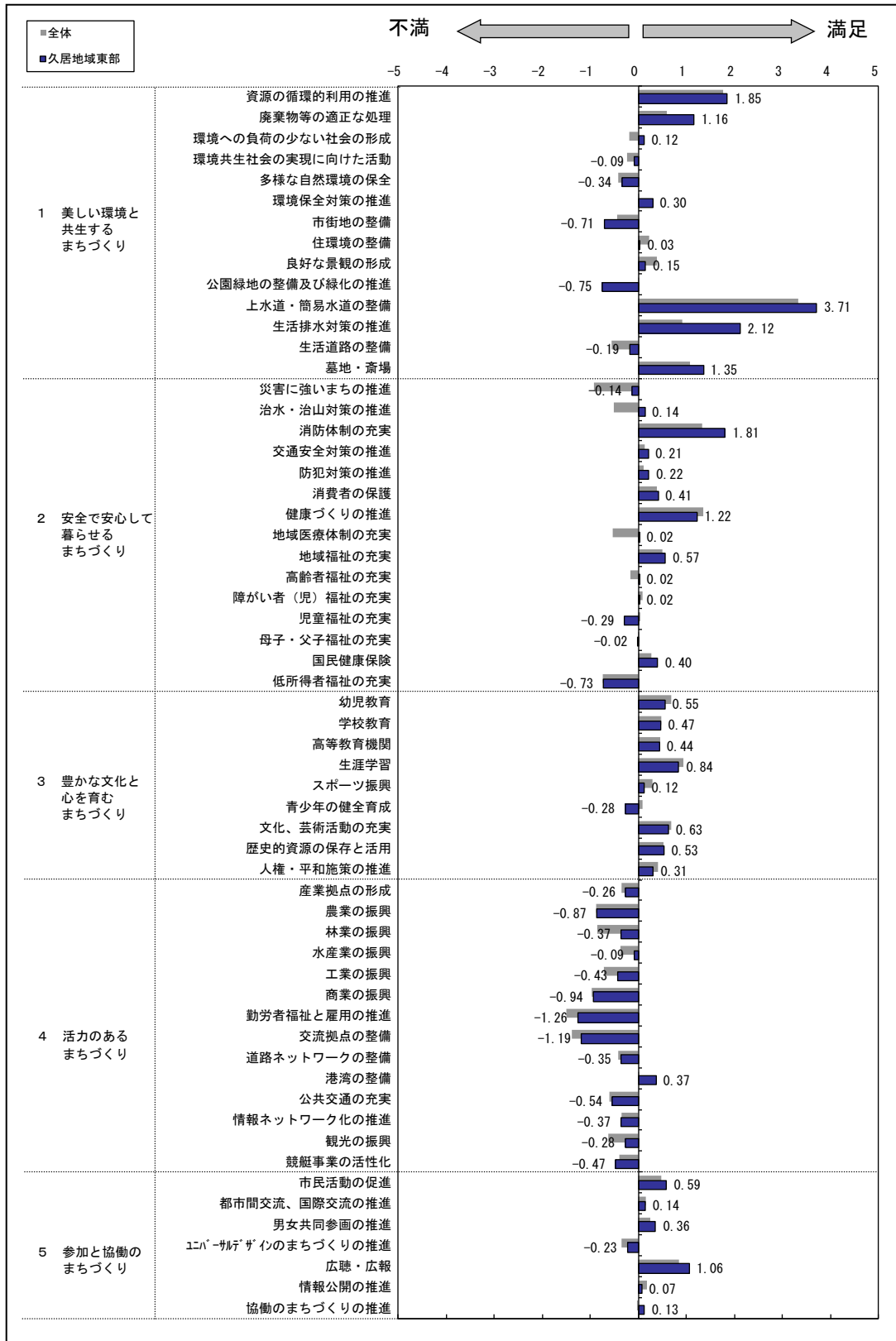
図表 2-2-24 まちづくりの目標に関する満足度 (③津地域西部)



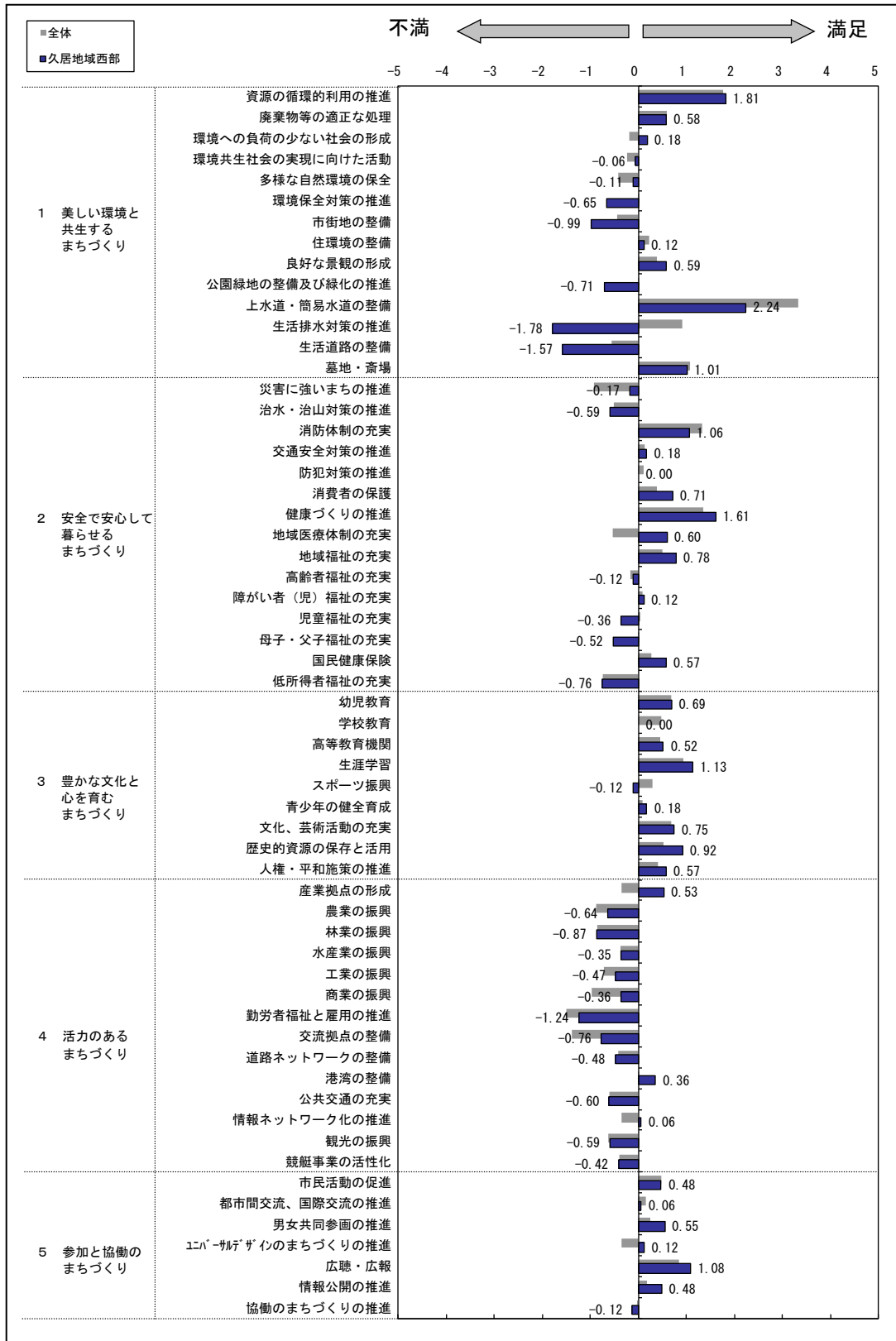
図表 2-2-25 まちづくりの目標に関する満足度 (④津地域南部)



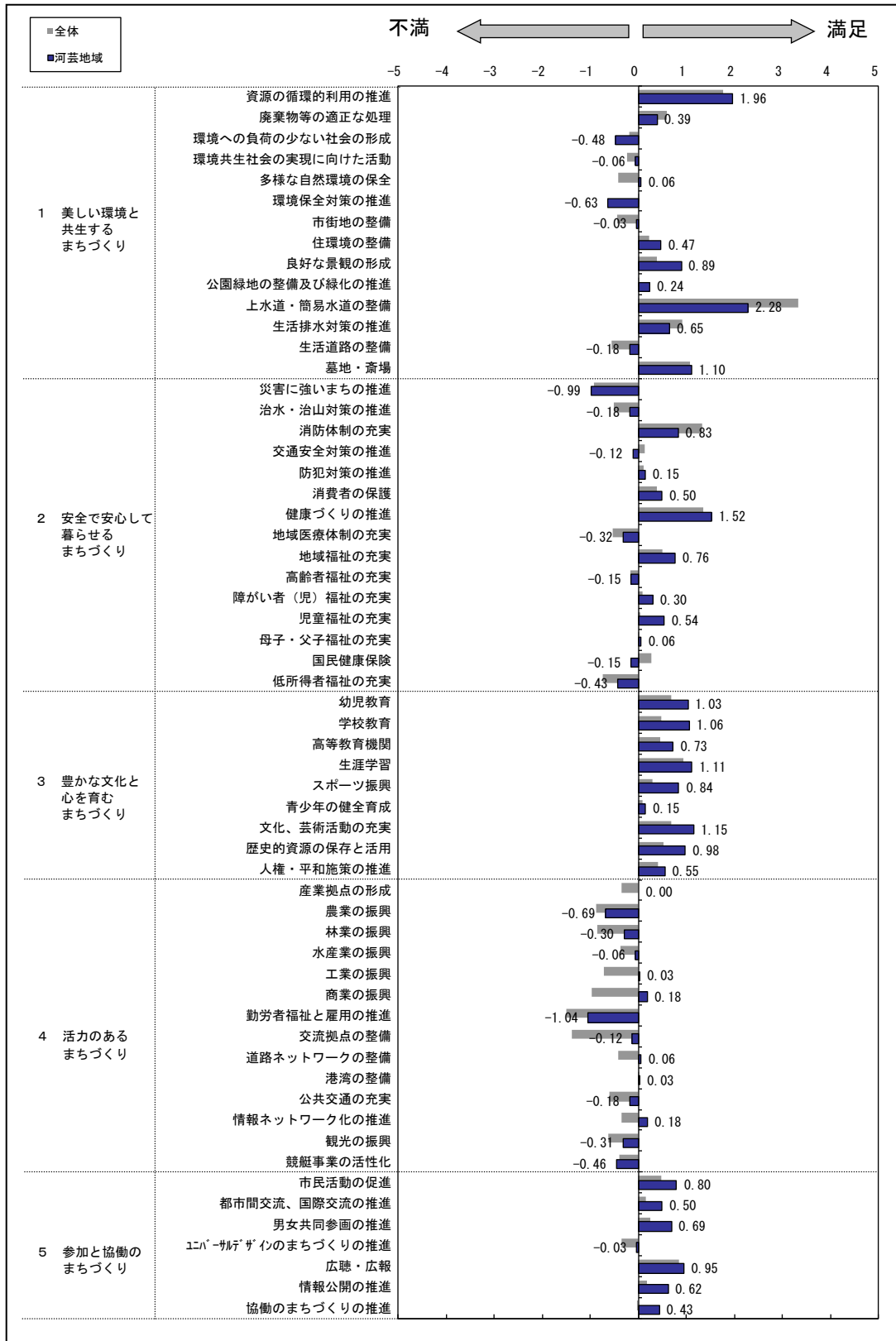
図表 2-2-26 まちづくりの目標に関する満足度 (⑤久居地域東部)



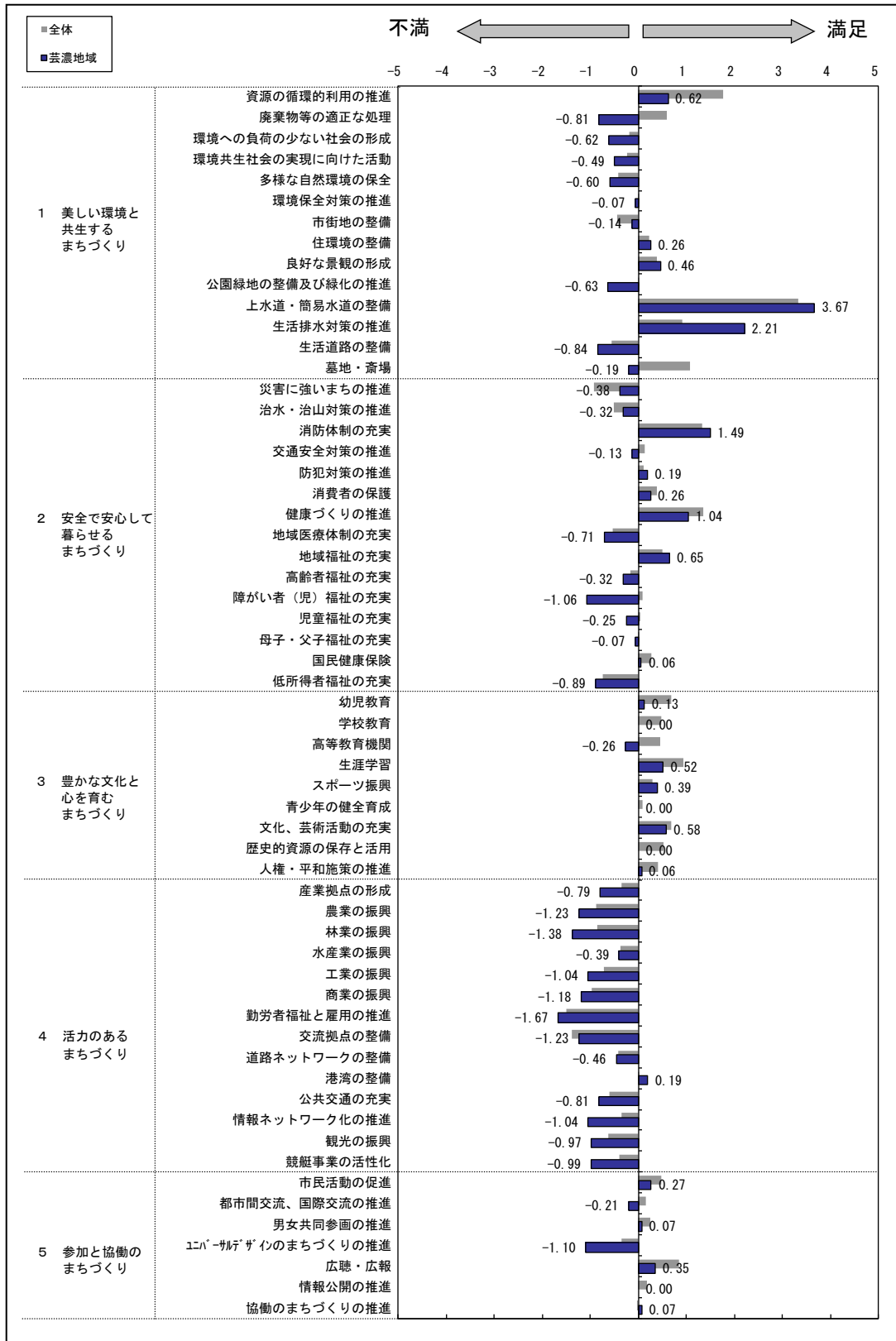
図表 2-2-27 まちづくりの目標に関する満足度 (⑥久居地域西部)



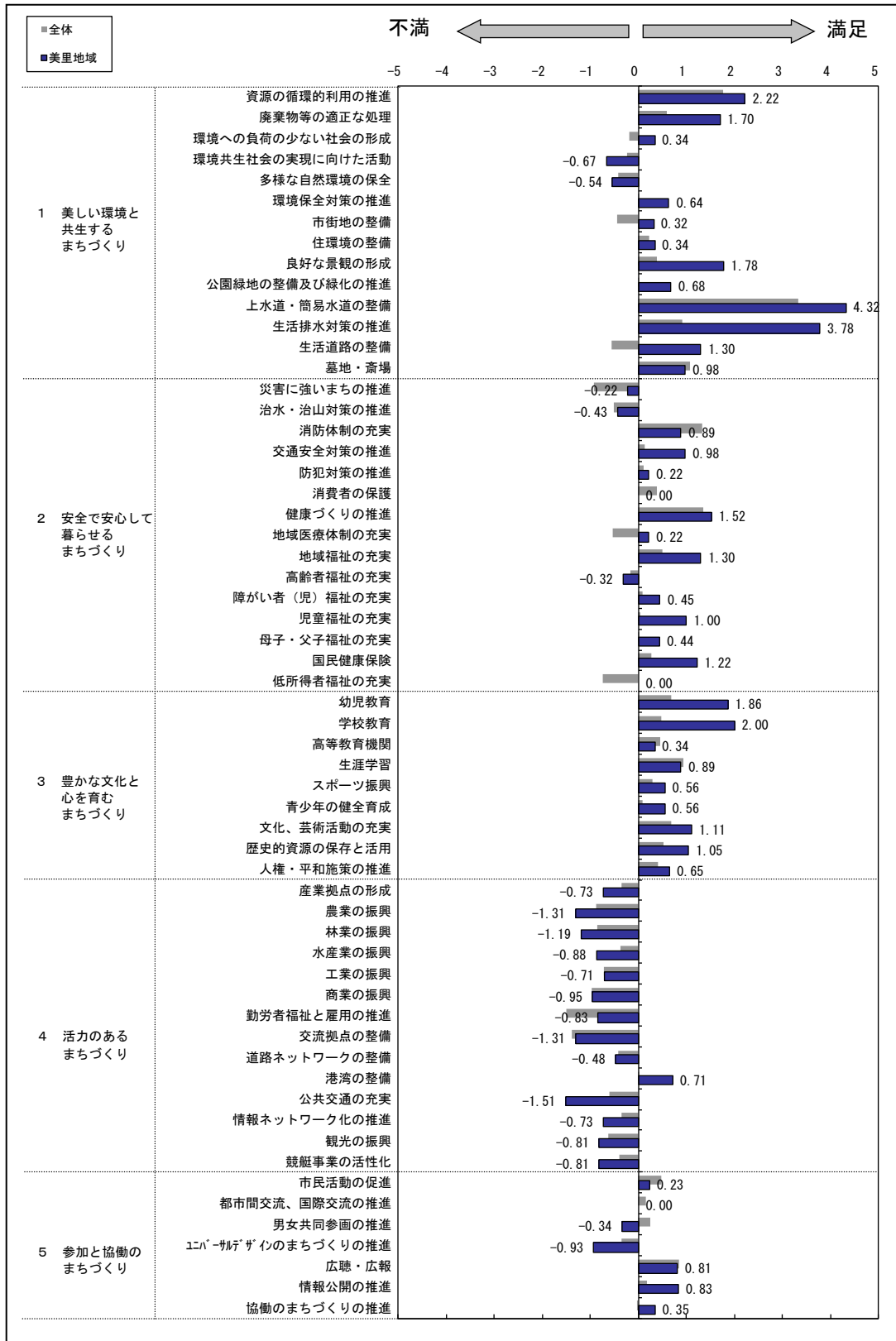
図表 2-2-28 まちづくりの目標に関する満足度 (⑦河芸地域)



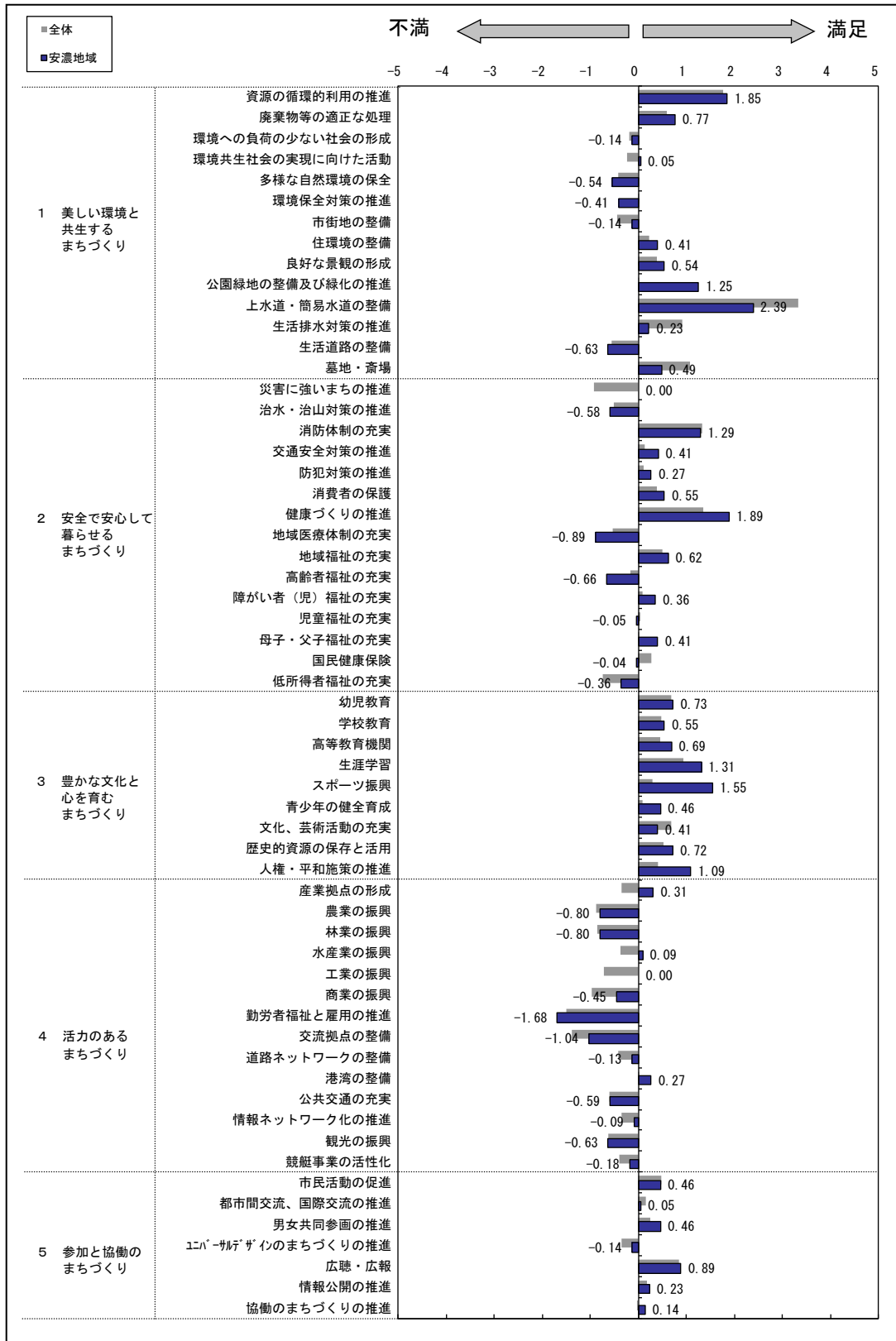
図表 2-2-29 まちづくりの目標に関する満足度 (⑧芸濃地域)



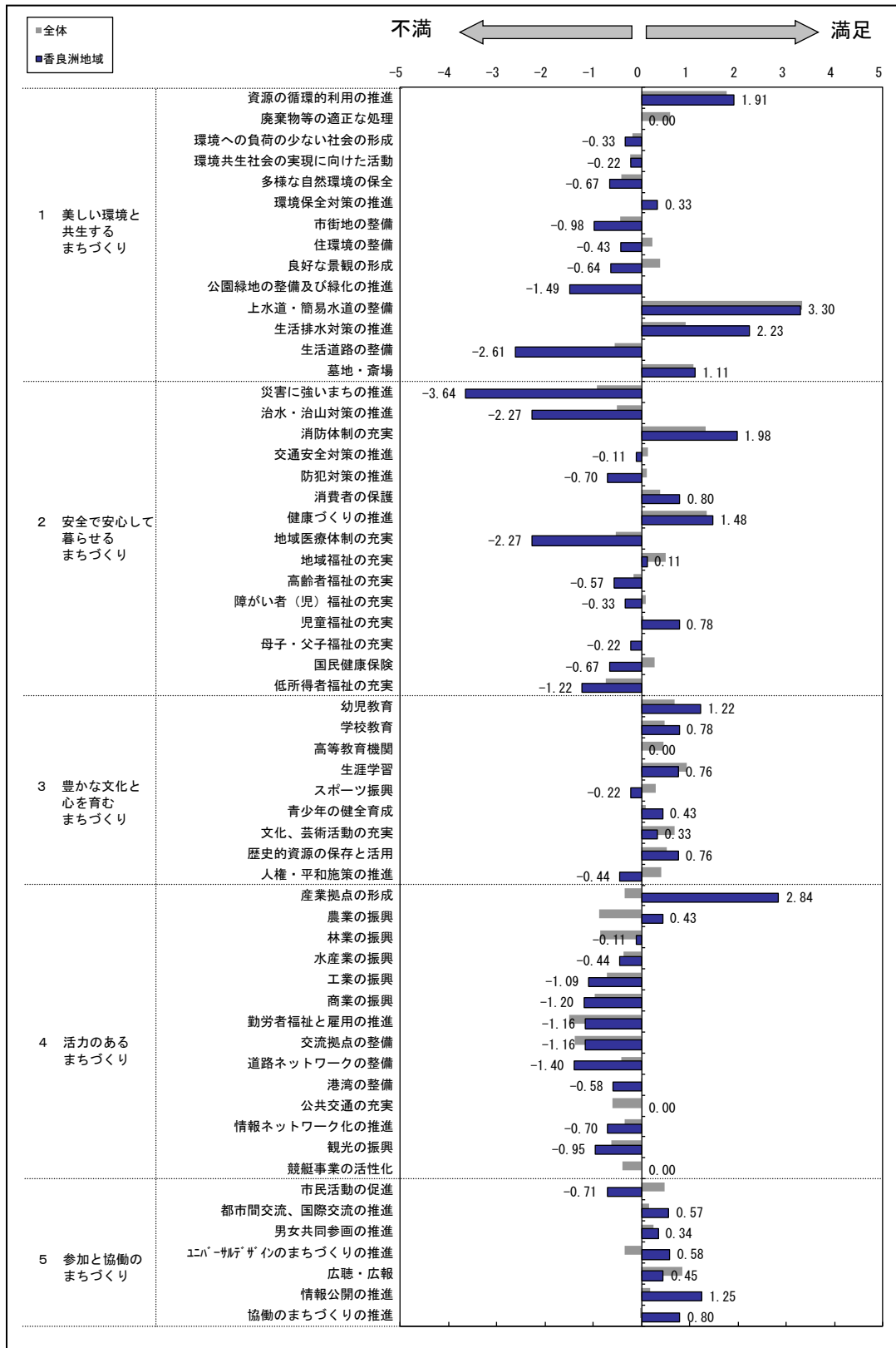
図表 2-2-30 まちづくりの目標に関する満足度 (㊟美里地域)



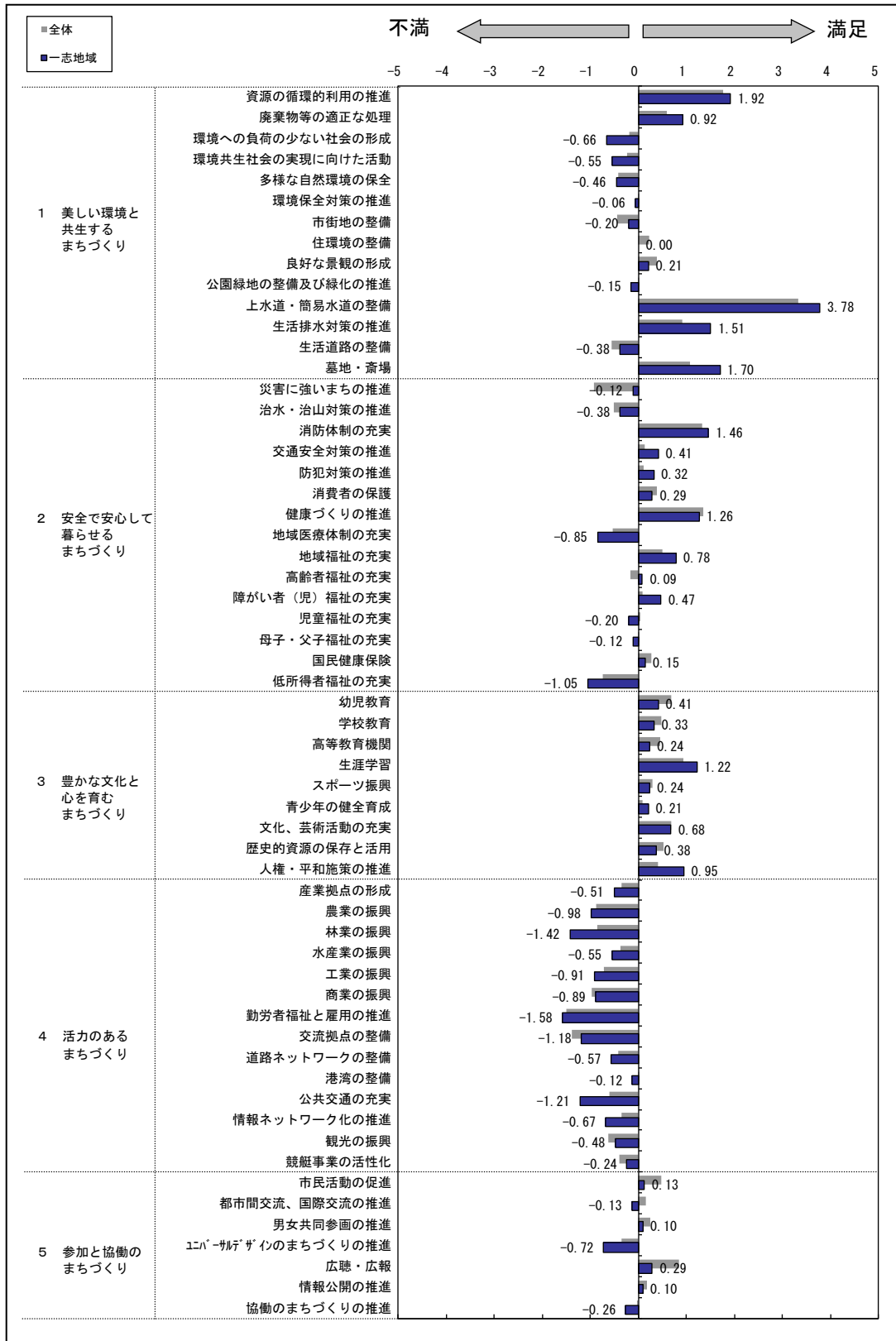
図表 2-2-31 まちづくりの目標に関する満足度 (⑩安濃地域)



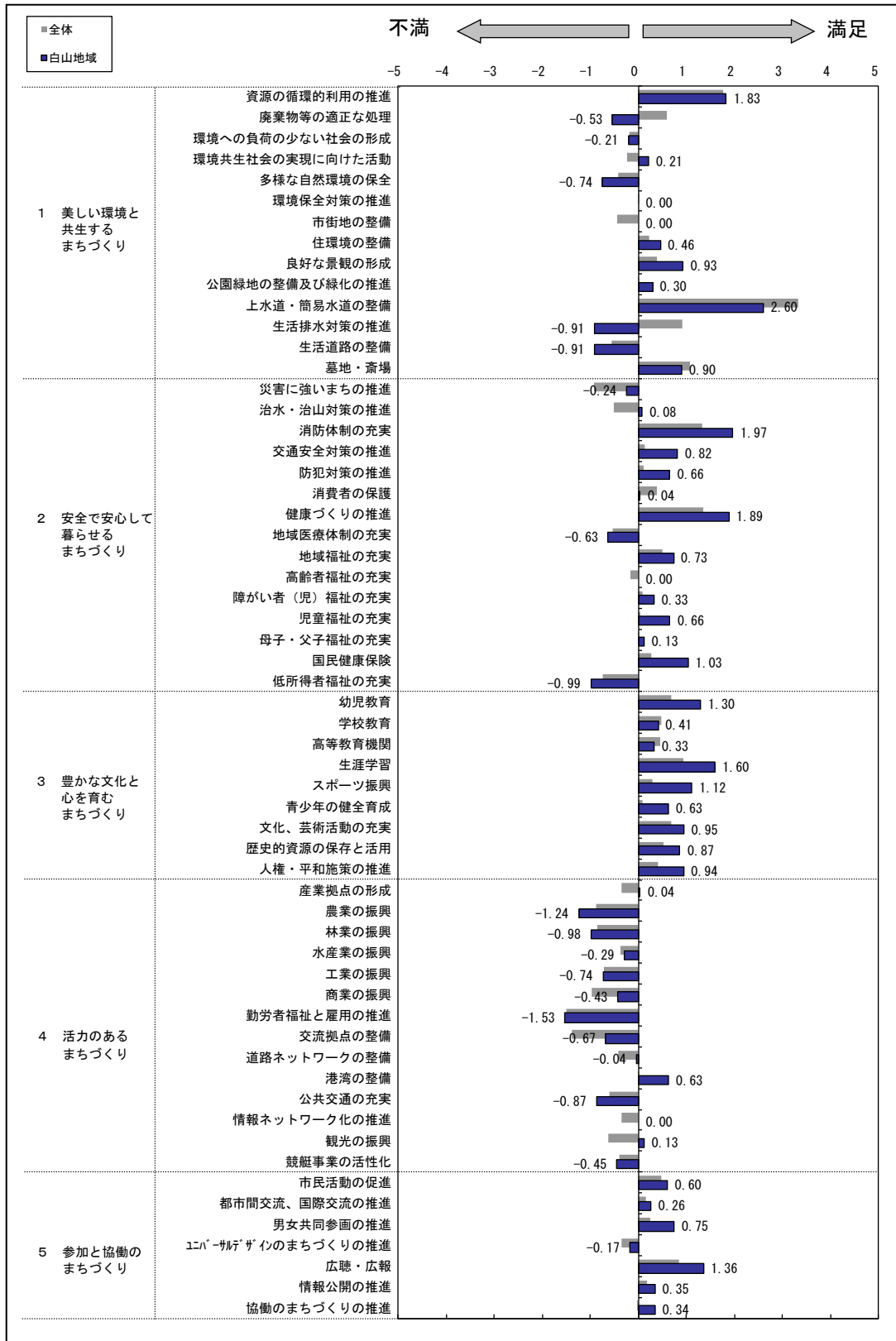
図表 2-2-32 まちづくりの目標に関する満足度 (⑪香良洲地域)



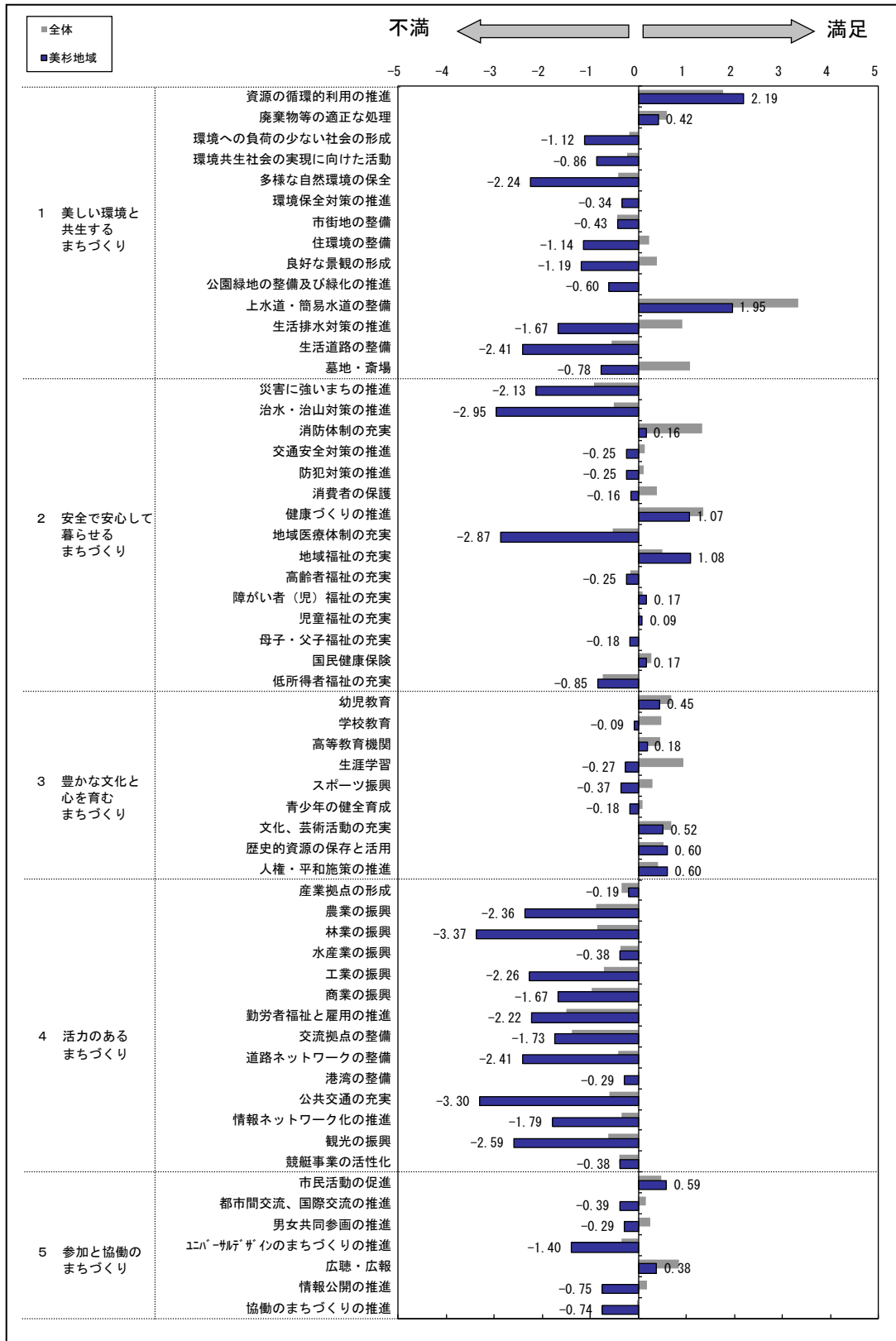
図表 2-2-33 まちづくりの目標に関する満足度 (⑫一志地域)



図表 2-2-34 まちづくりの目標に関する満足度 (⑬白山地域)



図表 2-2-35 まちづくりの目標に関する満足度 (⑭美杉地域)



(7) 居住地別のまちづくりの目標に関する重要度評価

満足度と同様に、最高点 10 点、最低点-10 点となるように加重平均値によって評価点を算出しました。

※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\left[\begin{array}{l} \text{（「重要である」の回答者数} \times 10 \text{点）} + \text{（「やや重要である」} \\ \text{の回答者数} \times 5 \text{点）} + \text{（「どちらともいえない」の回答者} \\ \text{数} \times 0 \text{点）} + \text{（「あまり重要でない」の回答者数} \times -5 \text{点）} \\ \text{+（「重要でない」の回答者数} \times -10 \text{点）} \end{array} \right]}{\left[\begin{array}{l} \text{「重要である」、「やや重要である」} \\ \text{、「どちらともいえない」、「あまり重要でない」、} \\ \text{「重要でない」の回答者数} \end{array} \right]}$$

①全体

全体での重要度評価は、「災害に強いまちづくり」（8.32点）が第1位に挙げられ、次いで「上水道・簡易水道の整備」（7.91点）、「消防体制の充実」（7.68点）が続き、以下、「地域医療体制の充実」（7.65点）、「生活排水対策の整備」（7.48点）などの順となっています。

②居住地別

津地域北部

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」（8.37点）、第2位が「上水道・簡易水道の整備」（8.01点）、第3位が「地域医療体制の充実」（7.74点）の順となっています。

津地域中央部

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」（8.53点）、第2位が「上水道・簡易水道の整備」（8.03点）、第3位が「消防体制の充実」（7.77点）の順となっています。

津地域西部

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」（7.97点）、第2位が「上水道・簡易水道の整備」（7.74点）、第3位が「生活排水対策の整備」（7.53点）の順となっています。

津地域南部

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」（8.30点）、第2位が「上水道・簡易水道の整備」（7.61点）、第3位が「消防体制の充実」（7.60点）の順となっています。

久居地域東部

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」（8.29点）、第2位が「上水道・簡易水道の整備」（8.06点）、第3位が「消防体制の充実」及び「地域医療体制の充実」（同7.86点）の順となっています。

久居地域西部

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」(8.02点)、第2位が「消防体制の充実」(7.87点)、第3位が「地域医療体制の充実」(7.47点)の順となっています。

河芸地域

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」(8.16点)、第2位が「上水道・簡易水道の整備」(8.07点)、第3位が「消防体制の充実」(7.74点)の順となっています。

芸濃地域

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」(8.17点)、第2位が「上水道・簡易水道の整備」(7.88点)、第3位が「多様な自然環境の保全」(7.75点)の順となっています。

美里地域

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」(8.54点)、第2位が「生活道路の整備」(8.10点)、第3位が「治水・治山対策の推進」及び「消防体制の充実」(同7.96点)の順となっています。

安濃地域

重要度の上位3項目は第1位が「地域医療体制の充実」(7.72点)、第2位が「消防体制の充実」(7.56点)、第3位が「上水道・簡易水道の整備」及び「災害に強いまちづくり」(同7.33点)の順となっています。

香良洲地域

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」(9.70点)、第2位が「治水・治山対策の推進」(8.70点)、第3位が「生活道路の整備」(8.50点)の順となっています。

一志地域

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」(8.23点)、第2位が「上水道・簡易水道の整備」(7.95点)、第3位が「地域医療体制の充実」(7.53点)の順となっています。

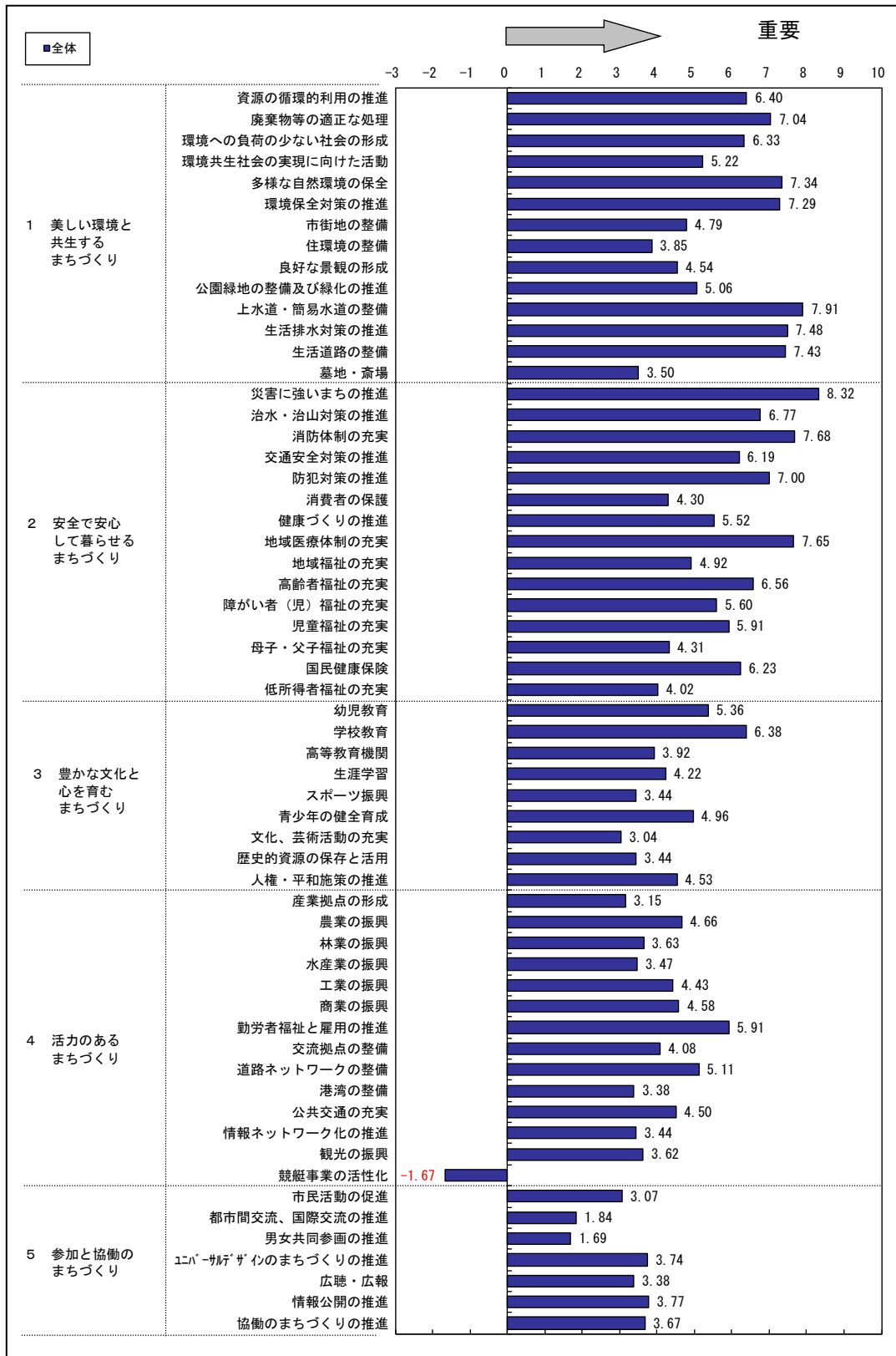
白山地域

重要度の上位3項目は第1位が「災害に強いまちづくり」(8.59点)、第2位が「生活排水対策の整備」(8.27点)、第3位が「上水道・簡易水道の整備」(8.13点)の順となっています。

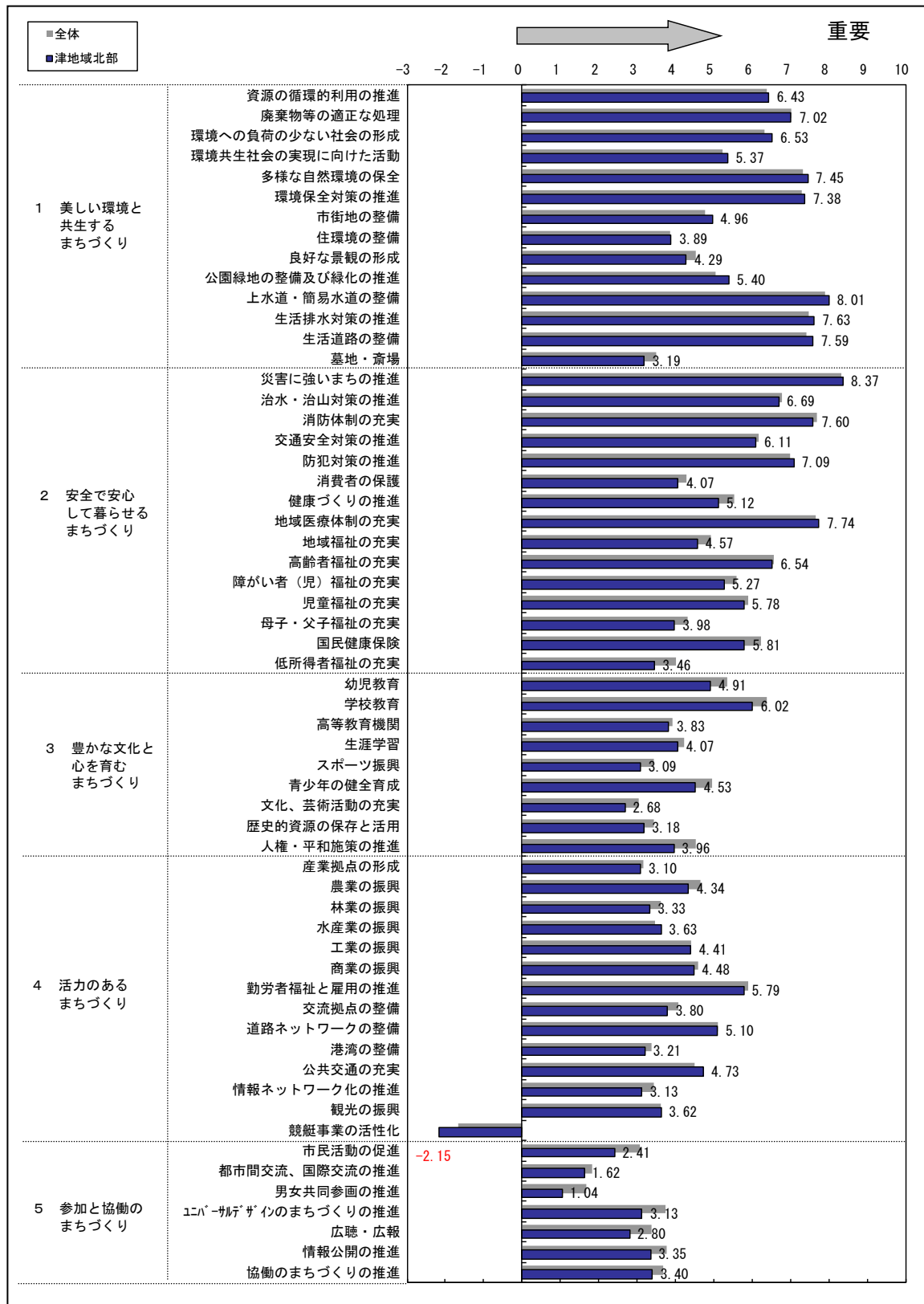
美杉地域

重要度の上位3項目は第1位が「上水道・簡易水道の整備」及び「災害に強いまちづくり」(同8.48点)、第3位が「消防体制の充実」(8.38点)の順となっています。

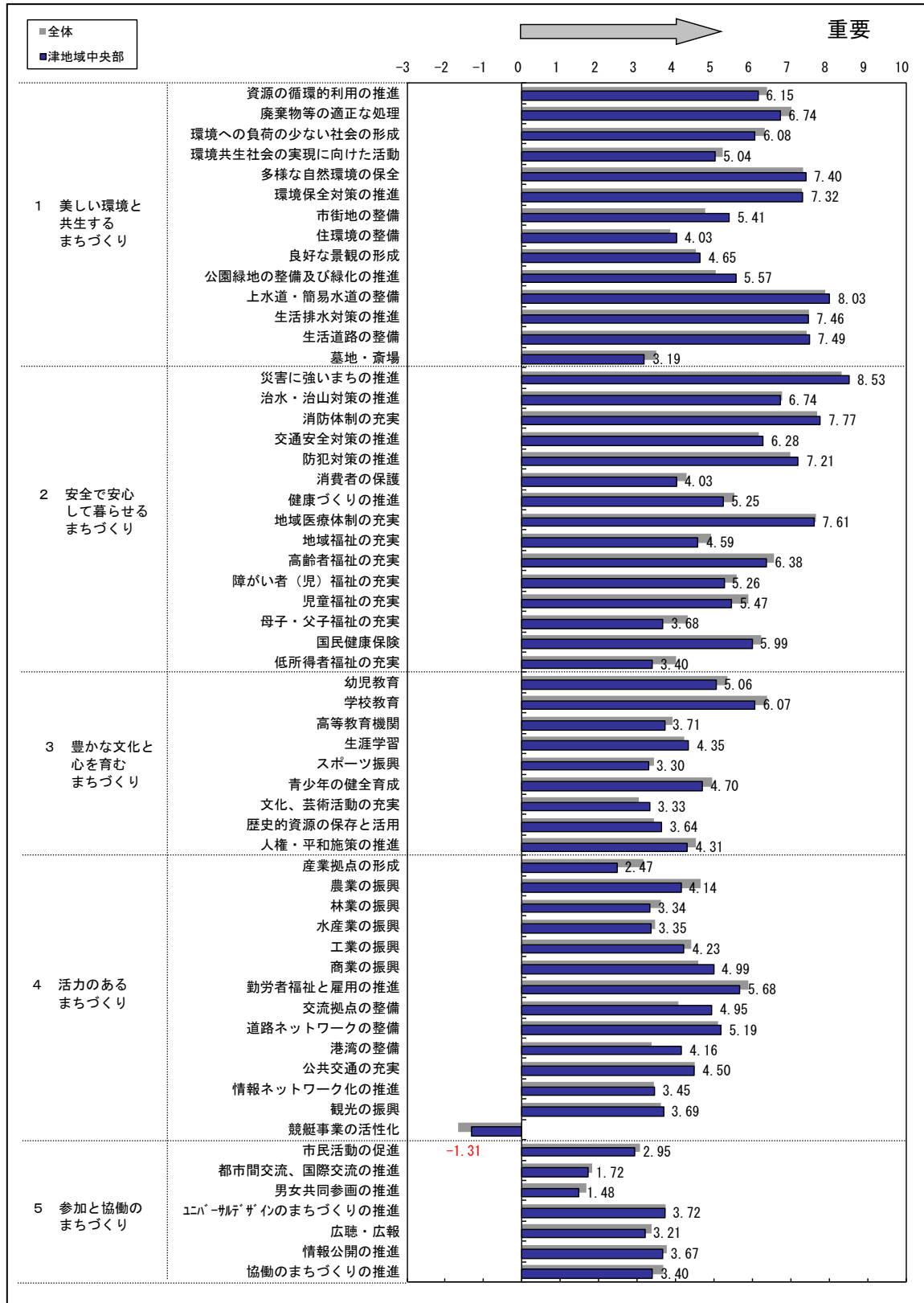
図表 2-2-36 まちづくりの目標に関する重要度（全体）



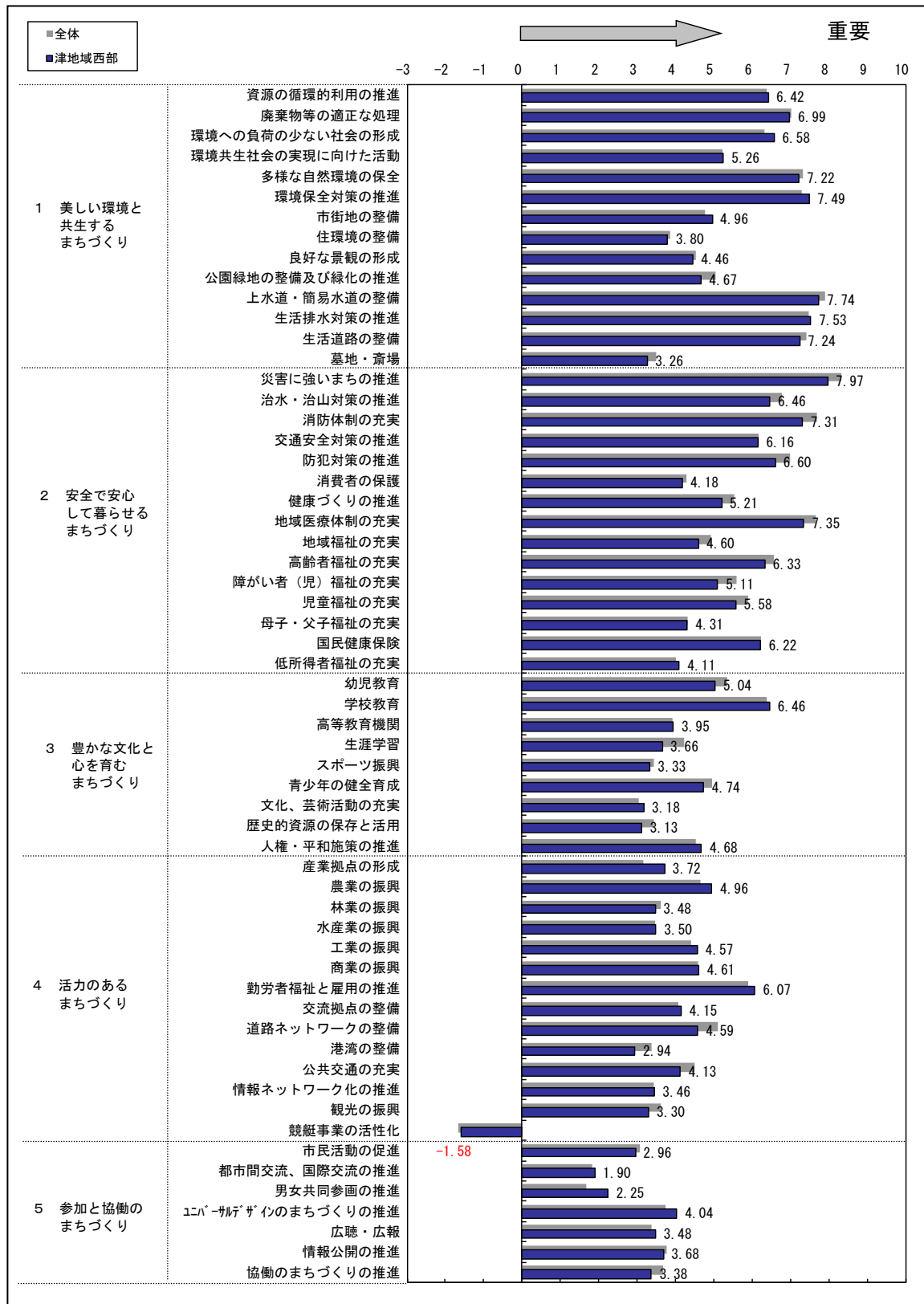
図表 2-2-37 まちづくりの目標に関する重要度 (①津地域北部)



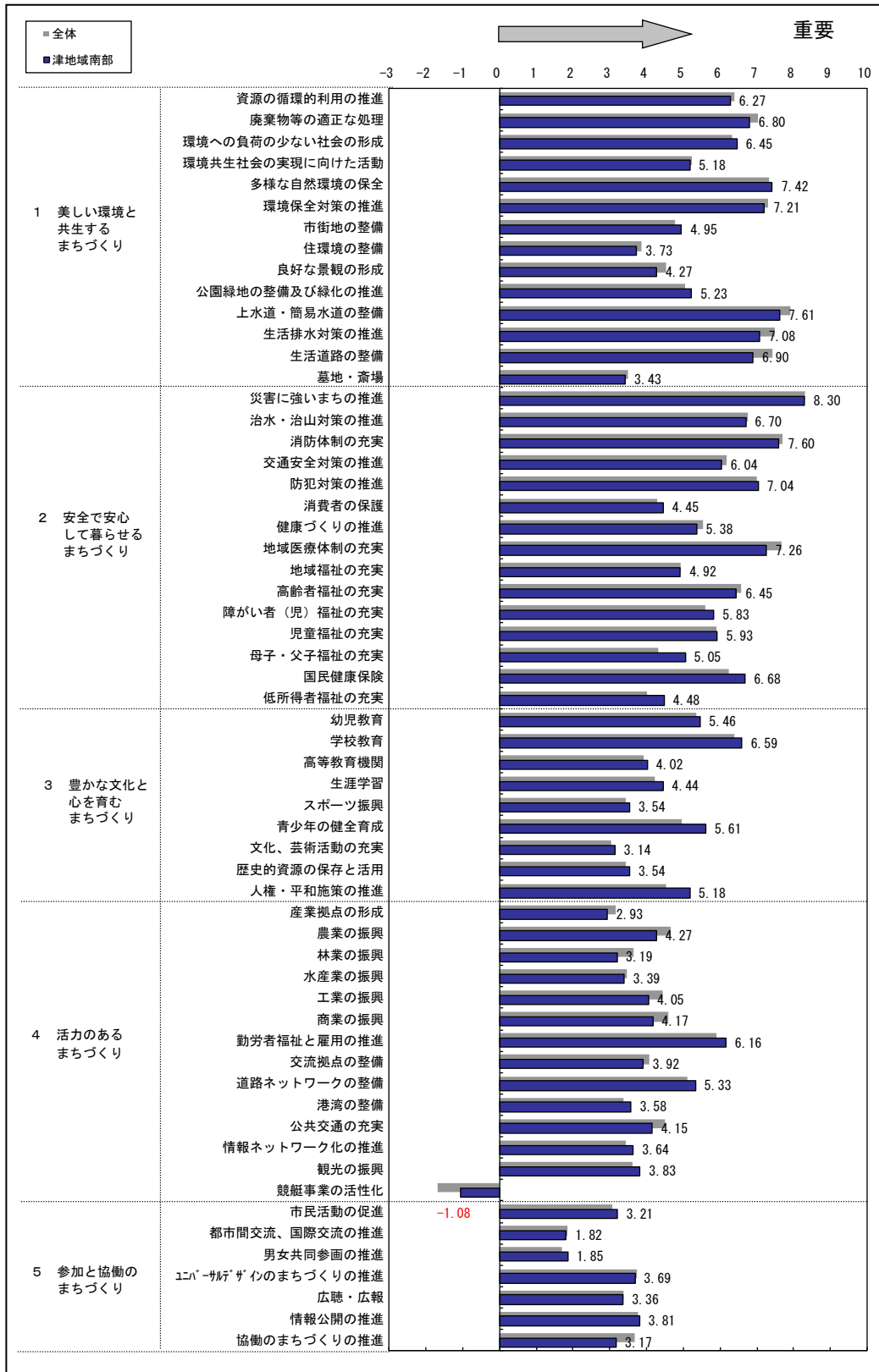
図表 2-2-38 まちづくりの目標に関する重要度 (②津地域中央部)



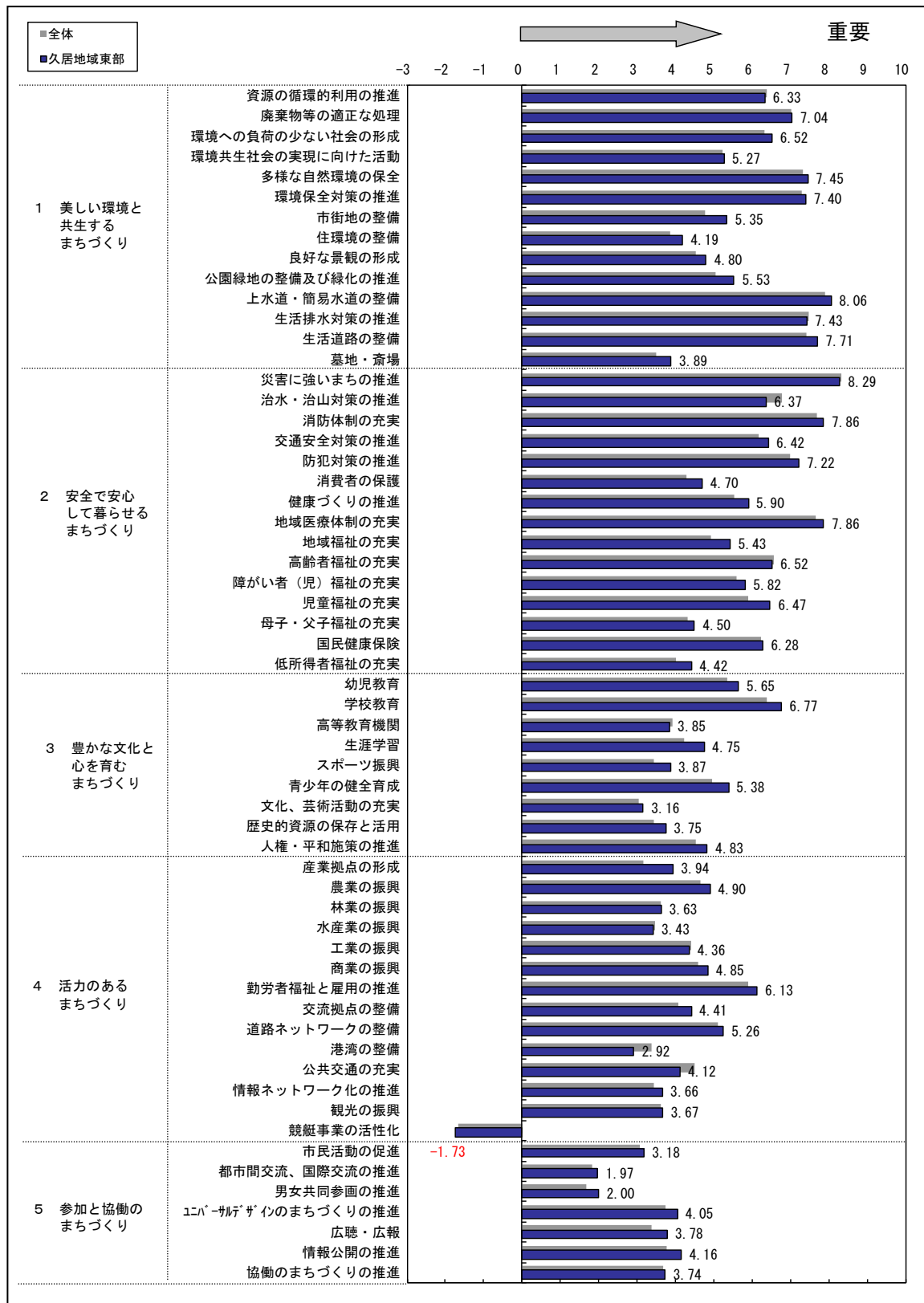
図表 2-2-39 まちづくりの目標に関する重要度 (③津地域西部)



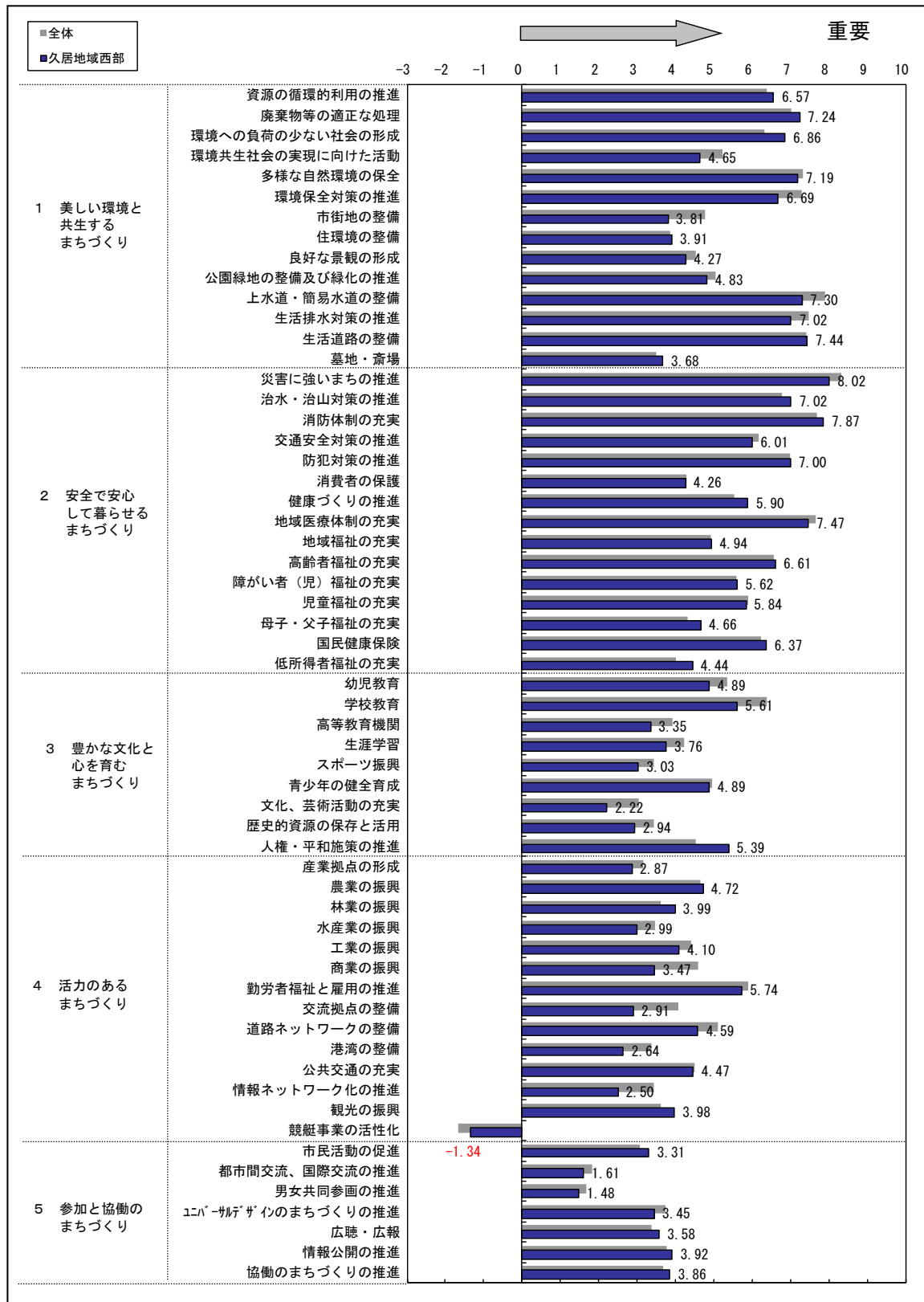
図表 2-2-40 まちづくりの目標に関する重要度 (④津地域南部)



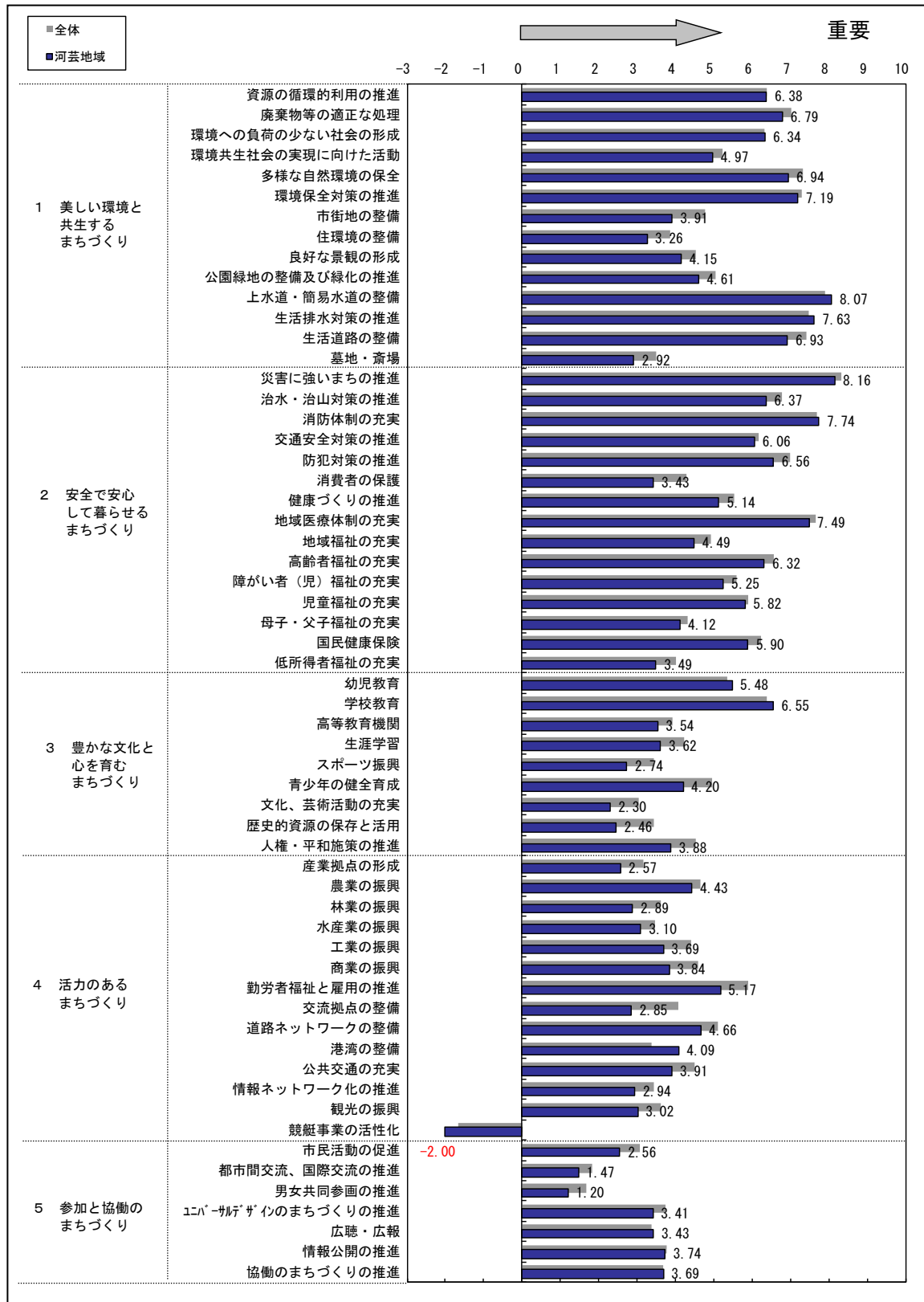
図表 2-2-41 まちづくりの目標に関する重要度 (⑤久居地域東部)



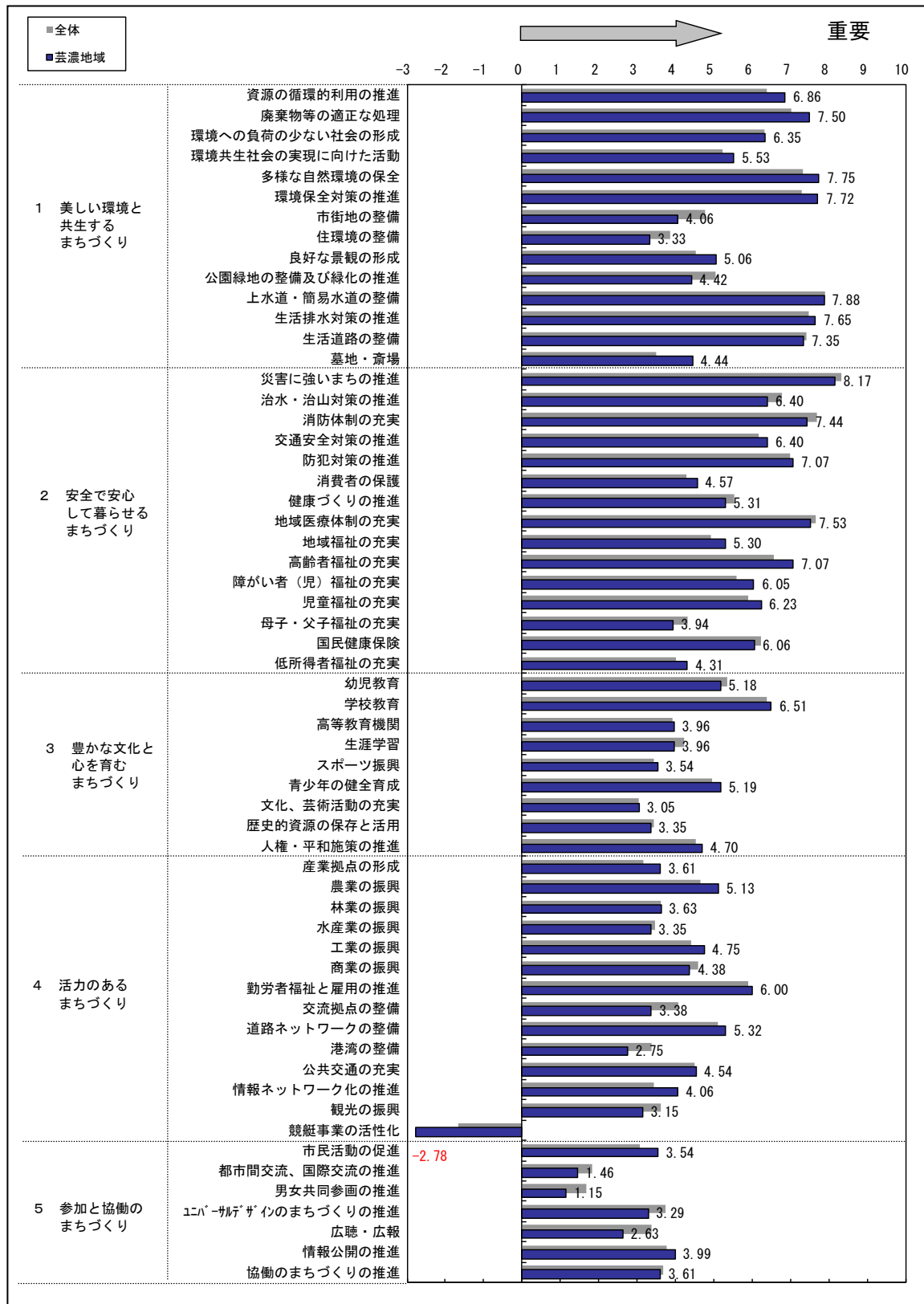
図表 2-2-42 まちづくりの目標に関する重要度 (⑥久居地域西部)



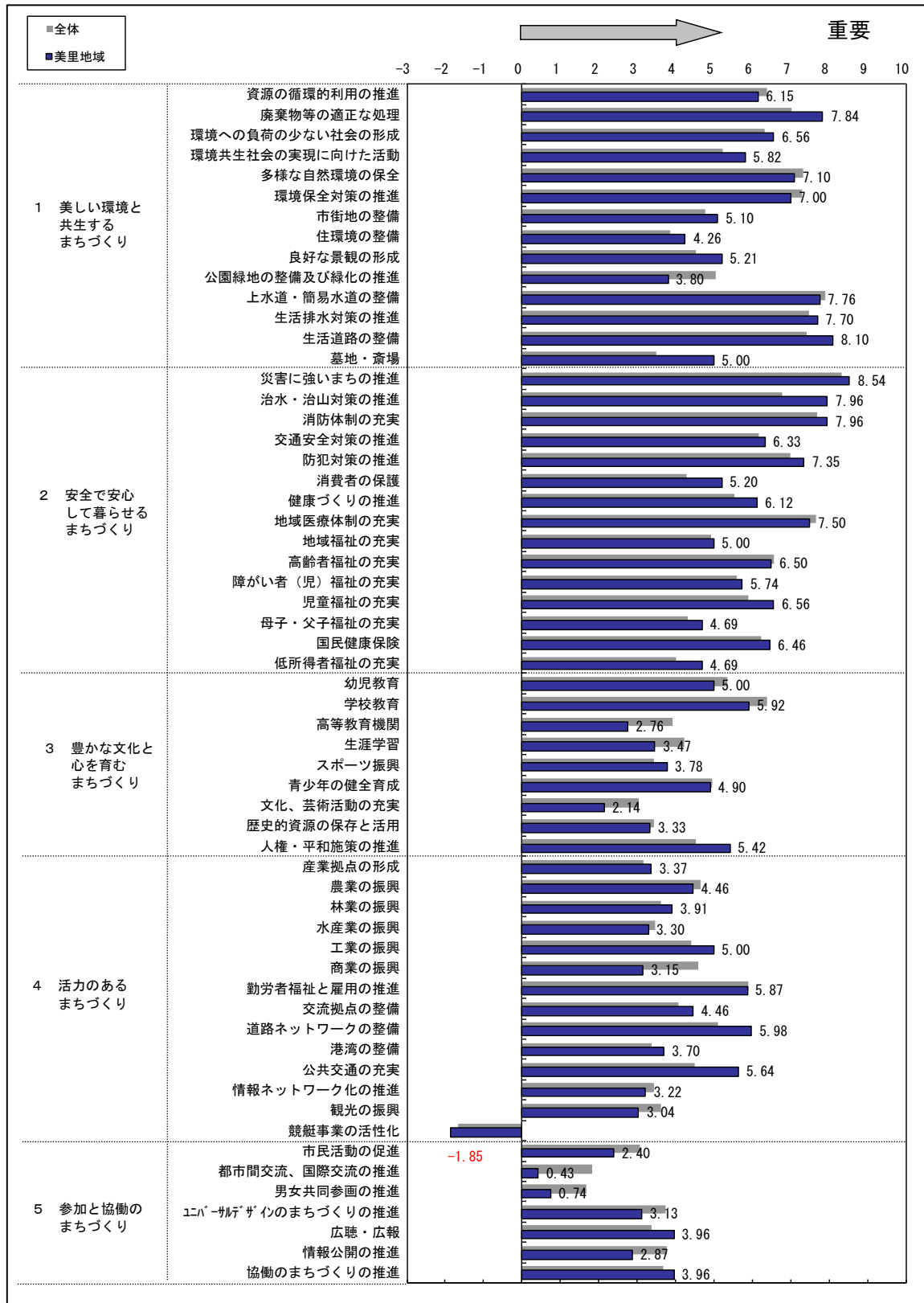
図表 2-2-43 まちづくりの目標に関する重要度 (⑦河芸地域)



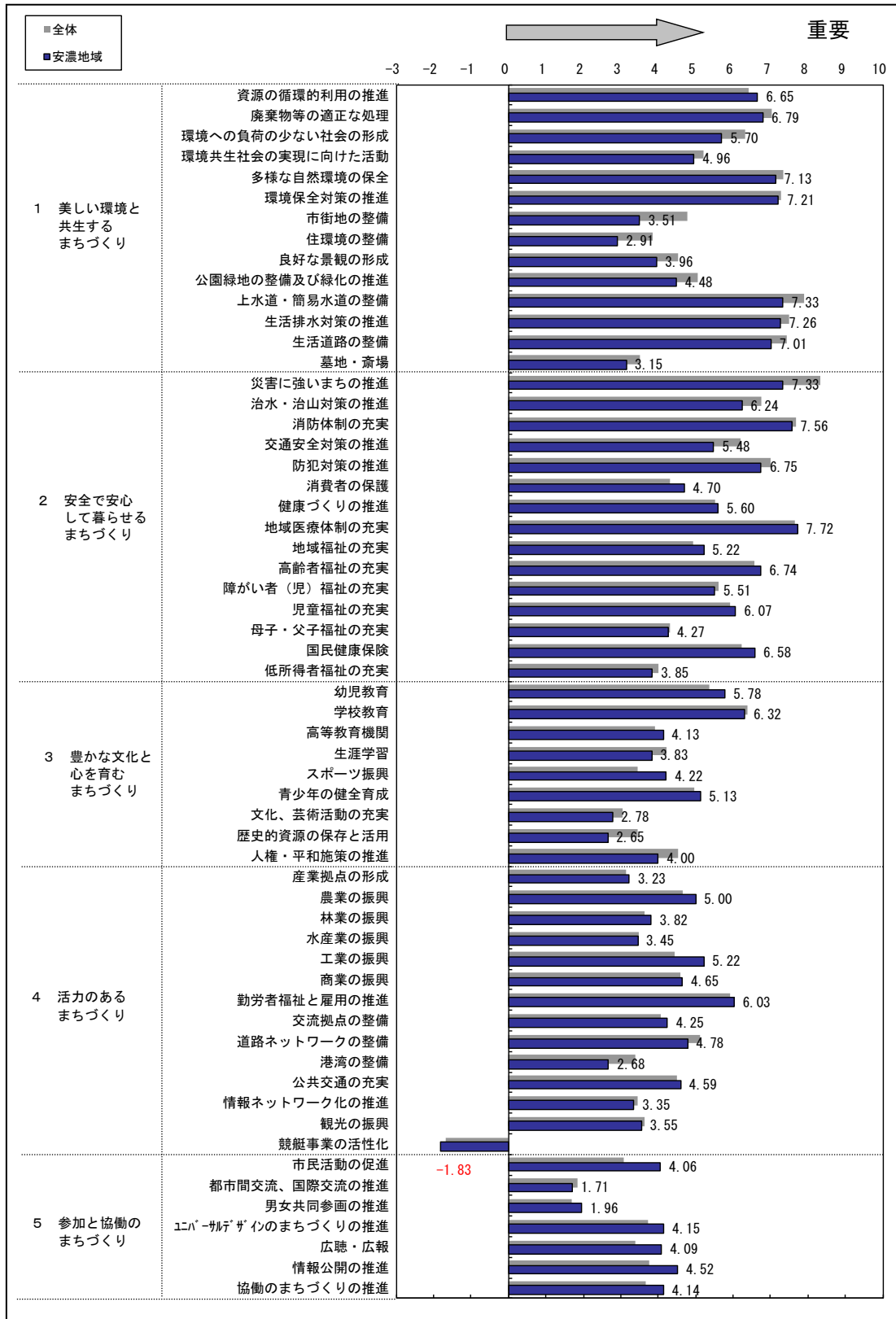
図表 2-2-44 まちづくりの目標に関する重要度 (⑧芸濃地域)



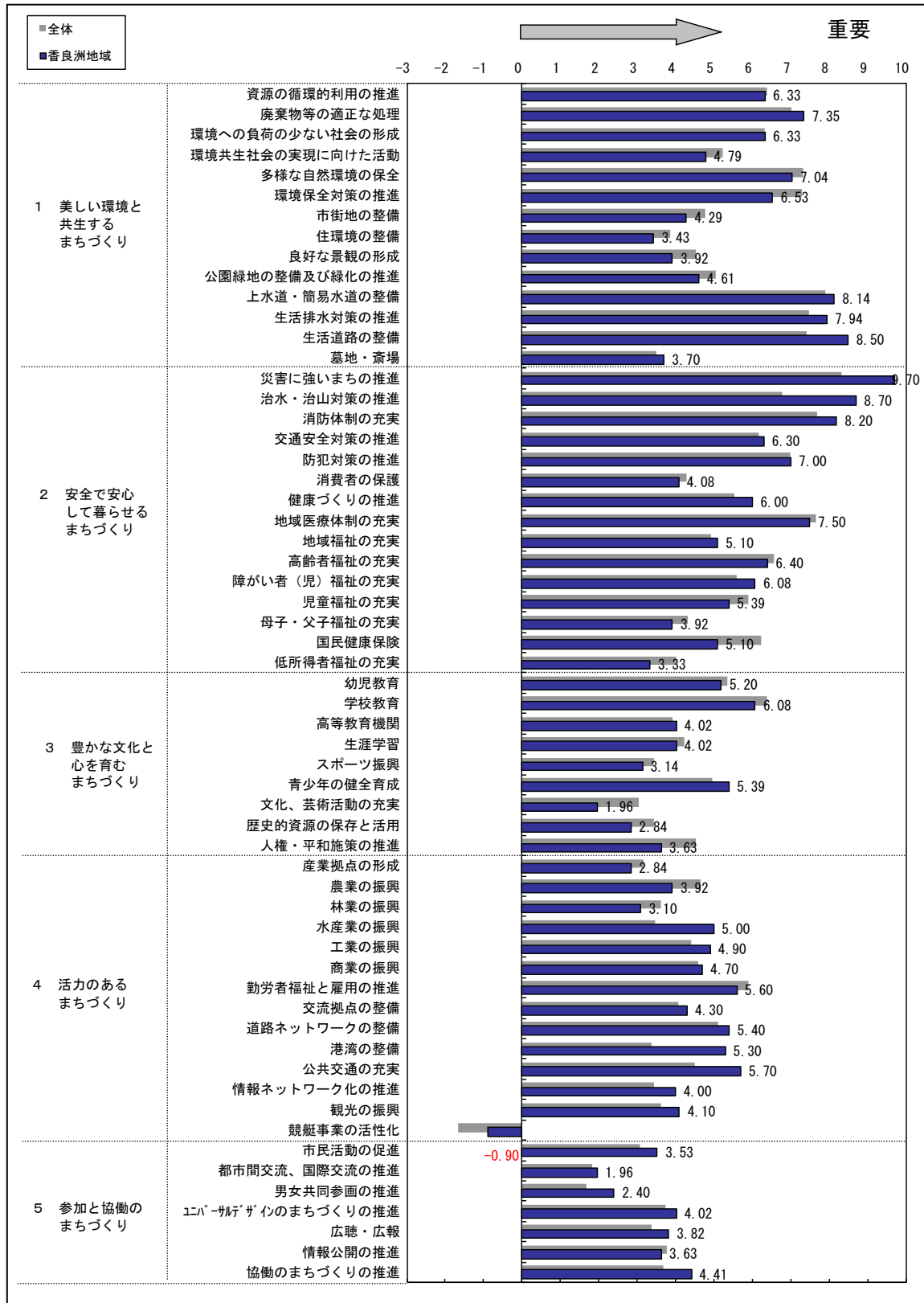
図表 2-2-45 まちづくりの目標に関する重要度 (㊟美里地域)



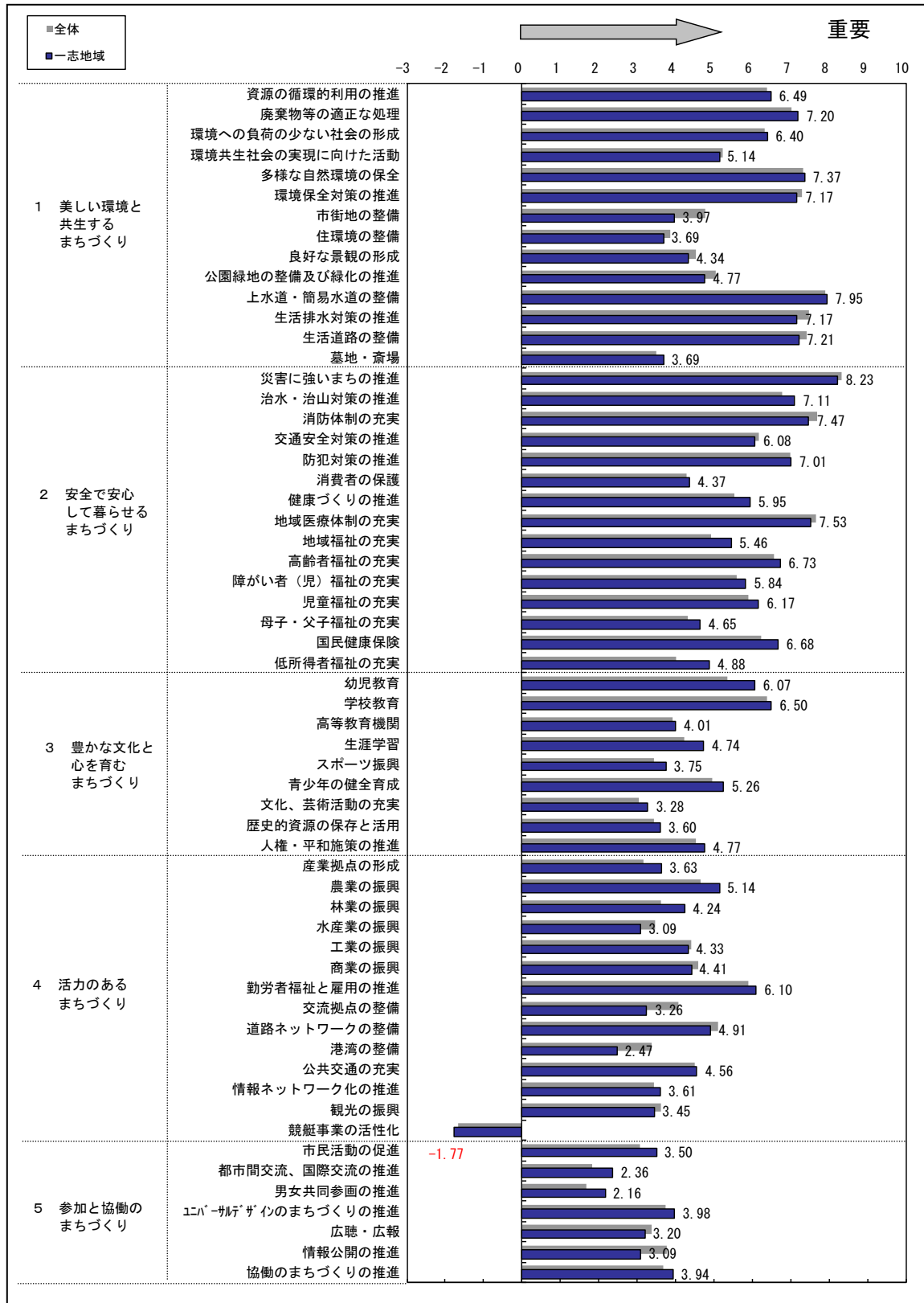
図表 2-2-46 まちづくりの目標に関する重要度 (⑩安濃地域)



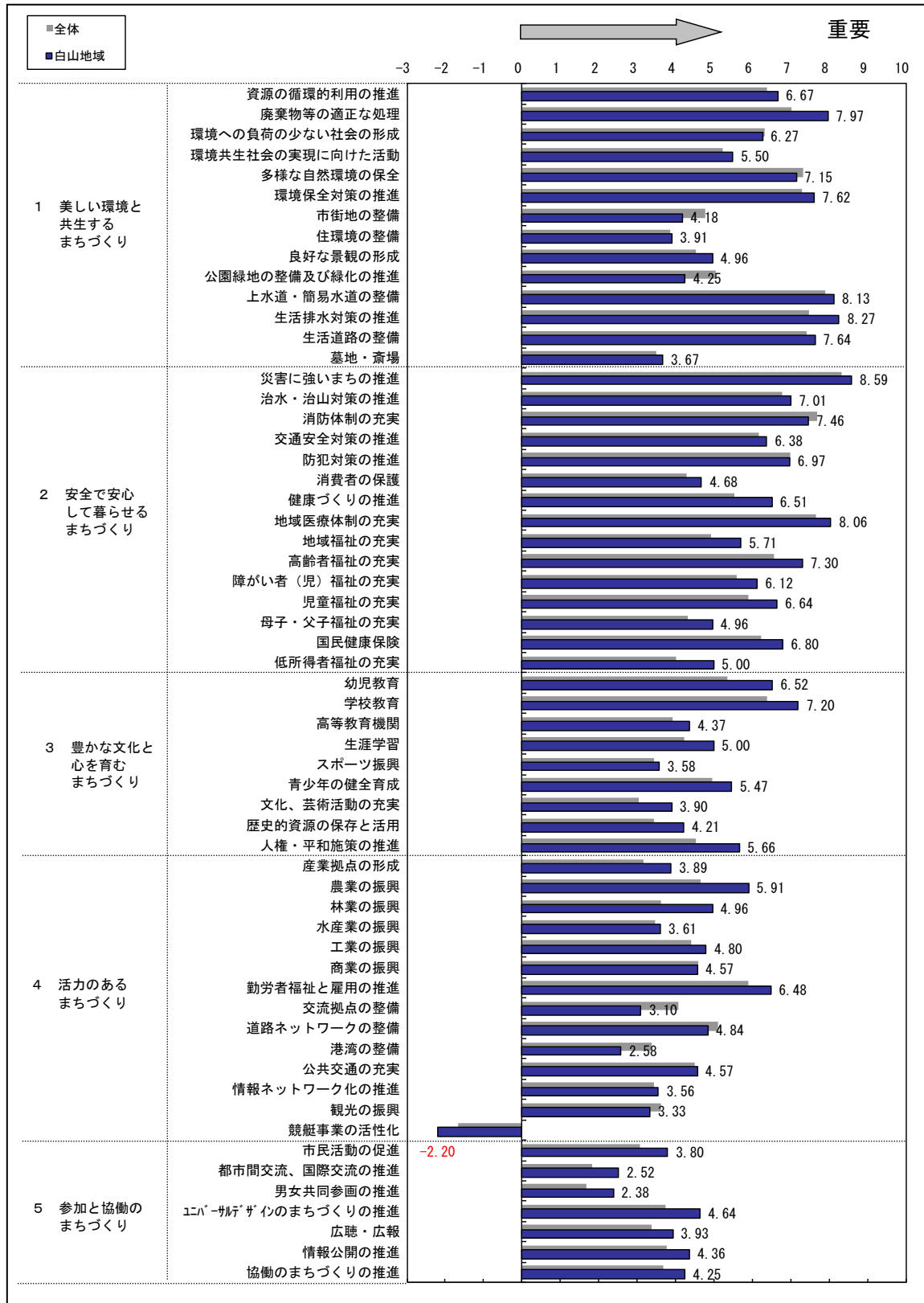
図表 2-2-47 まちづくりの目標に関する重要度 (⑪香良洲地域)



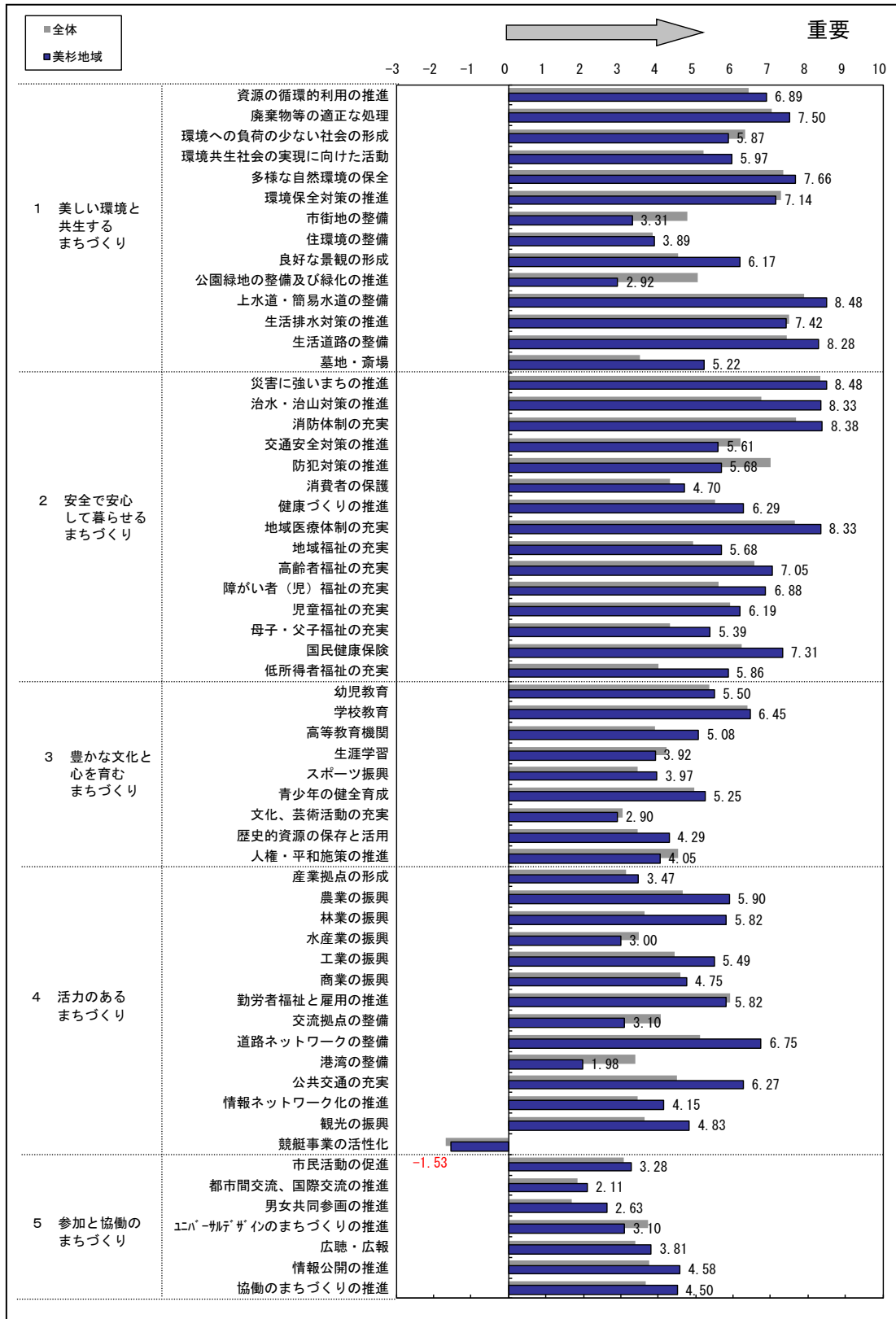
図表 2-2-48 まちづくりの目標に関する重要度 (⑫一志地域)



図表 2-2-49 まちづくりの目標に関する重要度 (⑬白山地域)



図表 2-2-50 まちづくりの目標に関する重要度 (⑭美杉地域)



(8) 住みやすさの総合評価

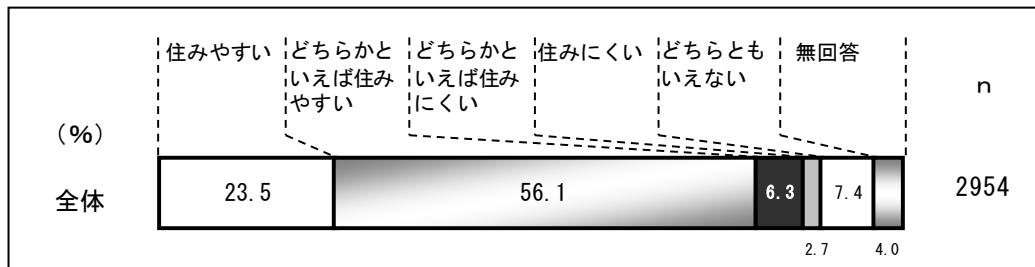
問6 あなたは、総合的に見て、津市は住みやすいまちだと思いますか。

①全体

総合的に見た津市の住みやすさは「住みやすい」が23.5%、「どちらかといえば住みやすい」が56.1%で、あわせて約8割が住みやすいと評価しています。

「どちらかといえば住みにくい」は6.3%、「住みにくい」は2.7%であり、住みにくいという評価は1割を切っています。

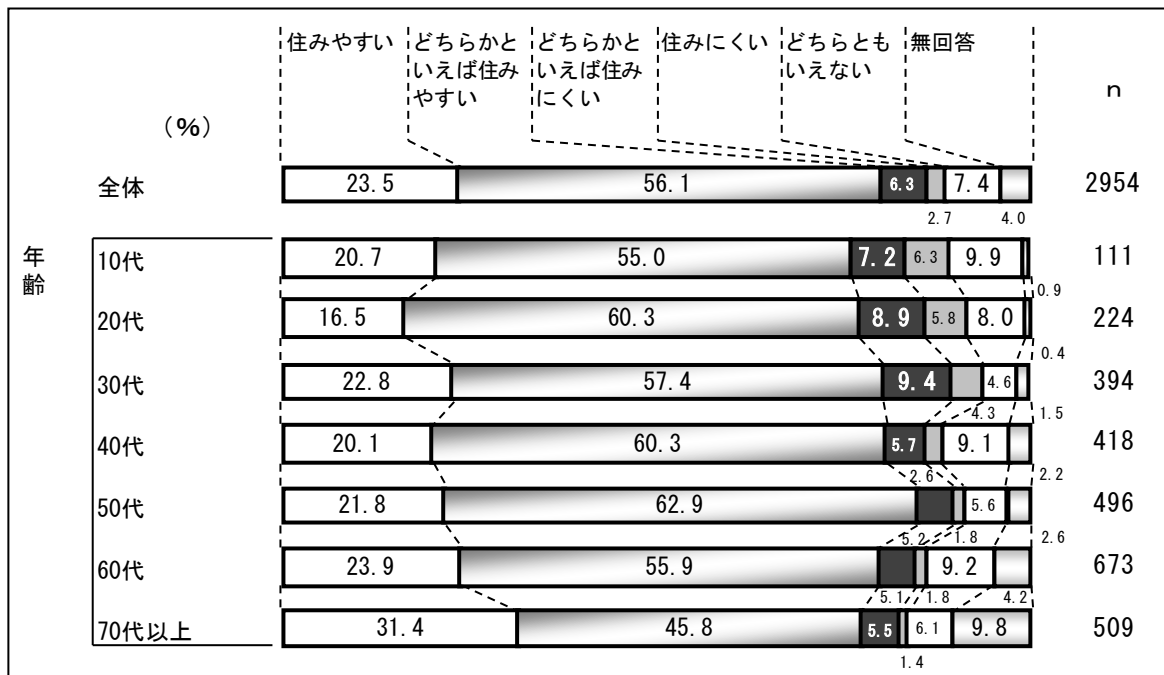
図表 2-2-51 住みやすいまちだと思うか（全体）



②年齢別

どの年齢層も、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた住みやすいという割合は75%以上みられ、特に50代では約85%に達しています。

図表 2-2-52 住みやすいまちだと思うか（全体・年齢）

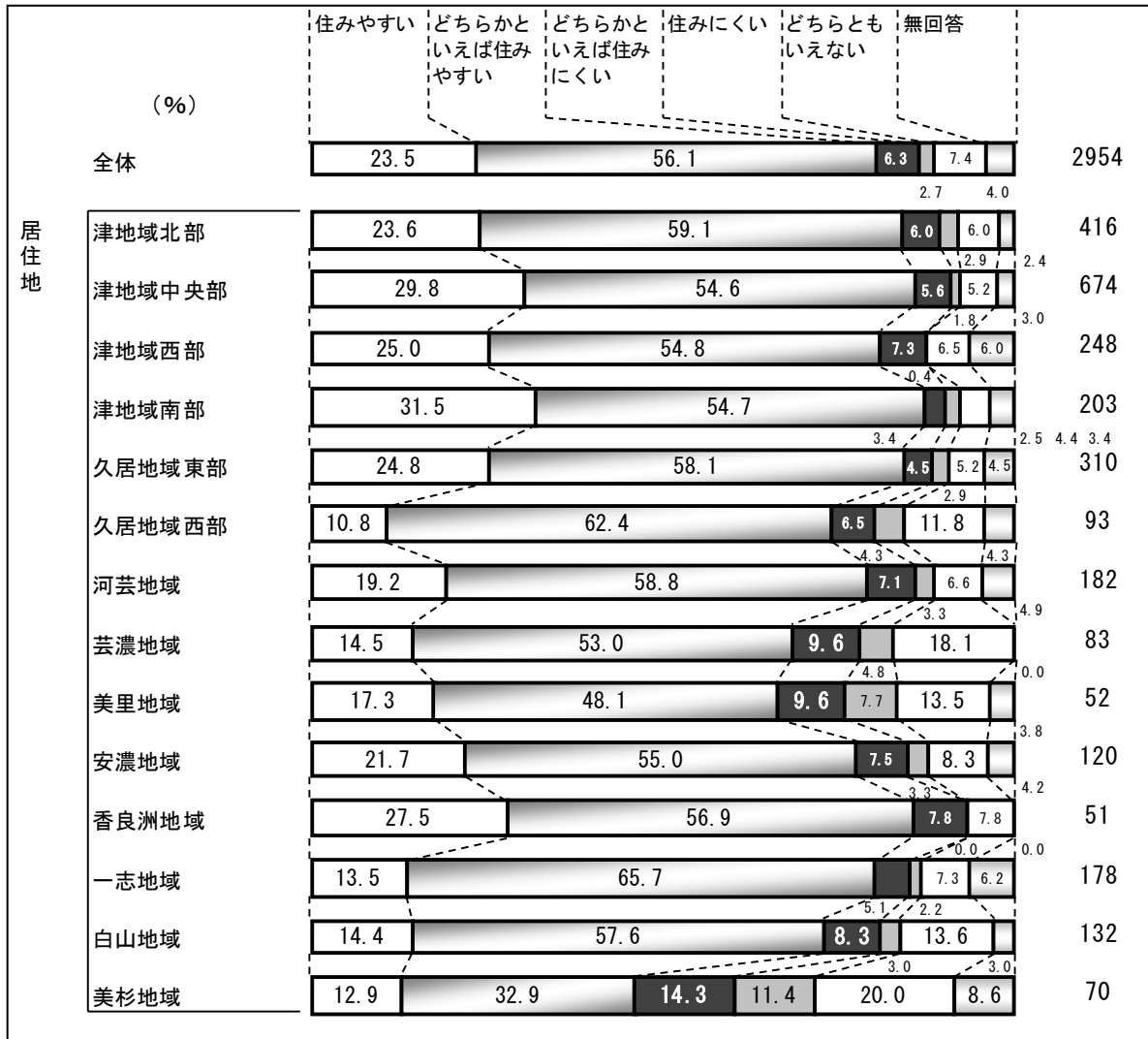


③居住地別

比較的都市部の地域で、住みやすいの割合が高くなっています。

住みやすいの割合が最も高いのは、津地域南部で86.2%で、最も低い美杉地域では45.8%にとどまっています。

図表 2-2-53 住みやすいまちだと思うか（全体・居住地）



3 行政サービスについて

(1) 市からの情報を十分に受け取っているか

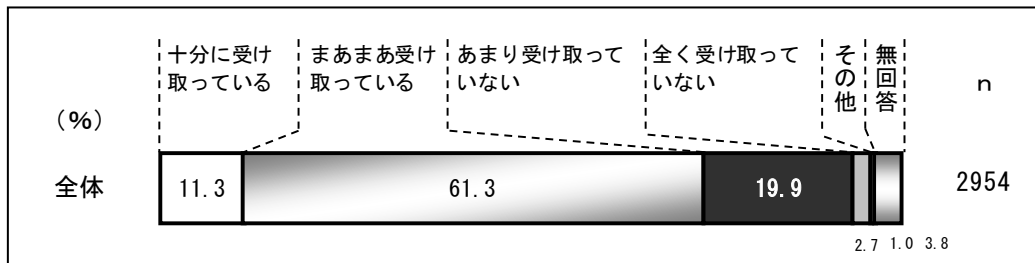
問 7 あなたは、市からのお知らせや市政に関する情報を十分に受け取っていると感じていますか。

①全体

市からの情報を十分に受け取っているかについては、「まあまあ受け取っている」が61.3%と最も多く、「十分に受け取っている」の11.3%を合わせた72.6%の人が情報を受け取っていると感じており、市の広報活動等による一定の効果がみられます。

一方「あまり受け取っていない」が19.9%あり、「全く受け取っていない」(2.7%)も含めて、市からの情報を受け取っていないと感じている人は2割強みられます。

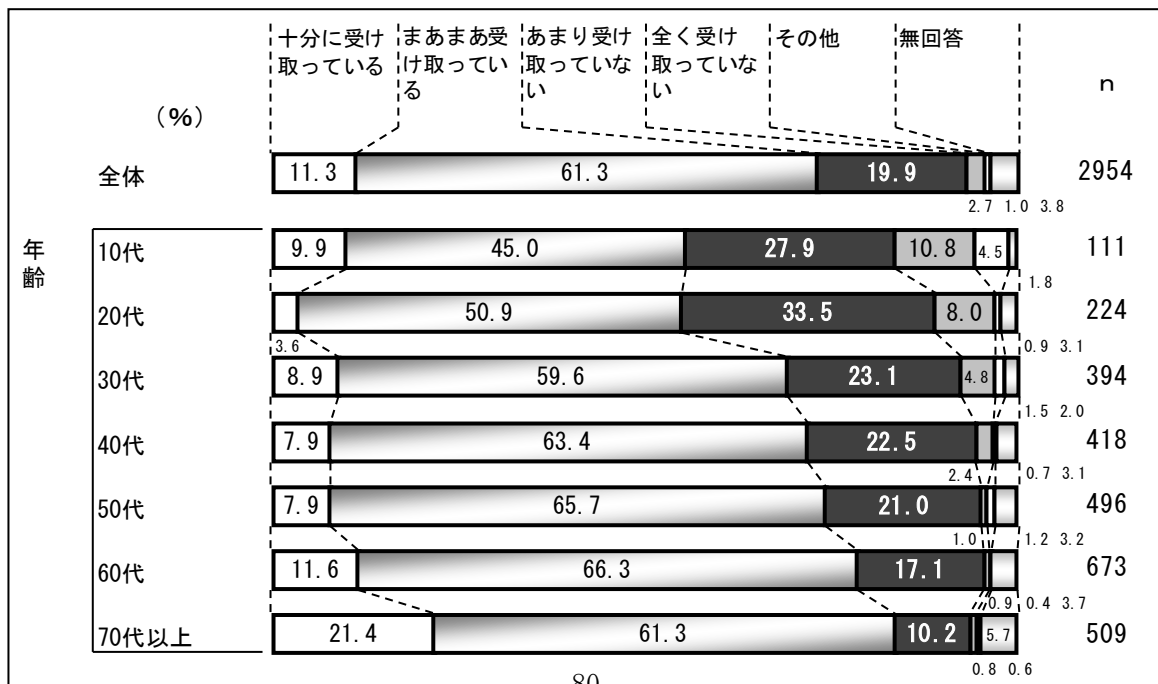
図表 2-3-1 市からの情報を十分に受け取っているか（全体）



②年齢別

情報を受け取っていると感じている割合は、おおむね年齢にしたがって高くなる傾向にあります。最も高い70代以上では82.7%であり、市の情報に関心があり情報を見ていると思われます。

図表 2-3-2 市からの情報を十分に受け取っているか（全体・年齢）



(2) 市からの情報の入手方法

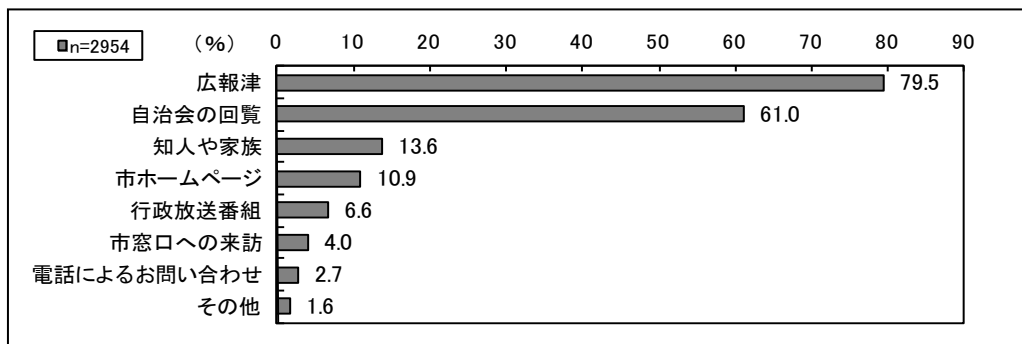
問8 あなたは、市からのお知らせや市政に関する情報をどのように手に入れていますか。【複数回答】

①全体

市からの情報の入手方法としては、「広報津」が79.5%と最も多く、次いで「自治会の回覧」が61.0%となっており、市民にとって広報や回覧板が主な情報の入手媒体となっています。

次いで「知人や家族」(13.6%)、「市ホームページ」(10.9%)が1割台で続いており、入手が容易な方法があげられています。

図表 2-3-3 市からの情報の入手方法 (全体/複数回答)



②年齢別

全体の傾向とほぼ同様であり、30代から50代で「広報津」の割合がほかの年齢層よりも高くなっており、この割合が大変低い10代でも55.0%となっています。

図表 2-3-4 市からの情報の入手方法 (全体・年齢/複数回答)

(単位：%、上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		広報津 79.5	自治会の回覧 61.0	知人や家族 13.6
年齢	10代	広報津 55.0	知人や家族 44.1	自治会の回覧 30.6
	20代	広報津 67.0	自治会の回覧 33.5	知人や家族 29.0
	30代	広報津 83.0	自治会の回覧 51.0	市ホームページ 16.0
	40代	広報津 85.6	自治会の回覧 58.4	市ホームページ 15.3
	50代	広報津 82.7	自治会の回覧 67.1	市ホームページ 12.9
	60代	広報津 80.8	自治会の回覧 74.1	知人や家族 11.4
	70代以上	広報津 79.0	自治会の回覧 67.8	知人や家族 10.8

(3) 要望や意見の伝達手段

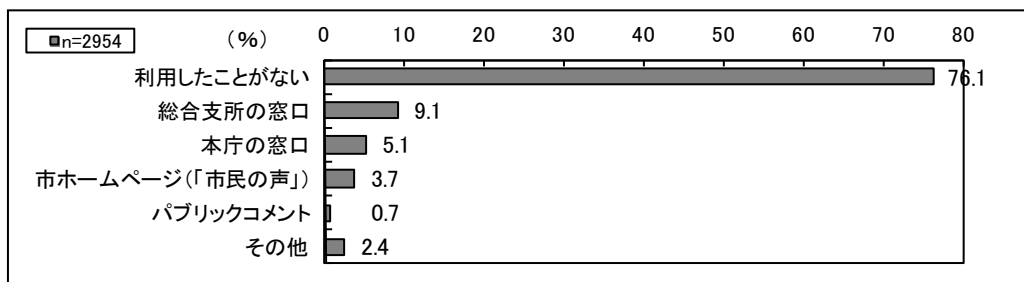
問 9 あなたは、市政に対する意見や要望を伝えるために以下の方法を利用したことがありますか。【複数回答】

①全体

利用したことがある伝達手段としては、「総合支所の窓口」が9.1%と最も多く、次いで「本庁の窓口」5.1%の順となっており、利用することが多い市役所窓口が上位にあげられています。

一方、「利用したことがない」は、4分の3を超えています。

図表 2-3-5 要望や意見の伝達手段（全体／複数回答）



②年齢別

利用したことがある伝達手段では、70代以上で「総合支所の窓口」(17.1%)の割合がほかの年齢層よりも高くなっています。

「利用したことがない」の割合は、10代から30代の若い年齢層で特に高くなっています。

図表 2-3-6 要望や意見の伝達手段（全体・年齢／複数回答）

(単位：%、上位3位)

		第1位	第2位	第3位
全体		利用したことがない 76.1	総合支所の窓口 9.1	本庁の窓口 5.1
	10代	利用したことがない 93.7	パブリックコメント 1.8	総合支所の窓口 0.9
年齢	20代	利用したことがない 82.6	総合支所の窓口 5.8	市ホームページ(「市民の声」) 4.5
	30代	利用したことがない 85.8	総合支所の窓口 4.1	本庁の窓口 3.0
	40代	利用したことがない 81.6	総合支所の窓口 5.3	市ホームページ(「市民の声」) 5.0
	50代	利用したことがない 80.4	総合支所の窓口 6.3	市ホームページ(「市民の声」) 4.2
	60代	利用したことがない 73.4	総合支所の窓口 11.9	本庁の窓口 6.2
	70代以上	利用したことがない 58.9	総合支所の窓口 17.1	本庁の窓口 9.4

(4) 要望等が市に伝わっていると感じるか

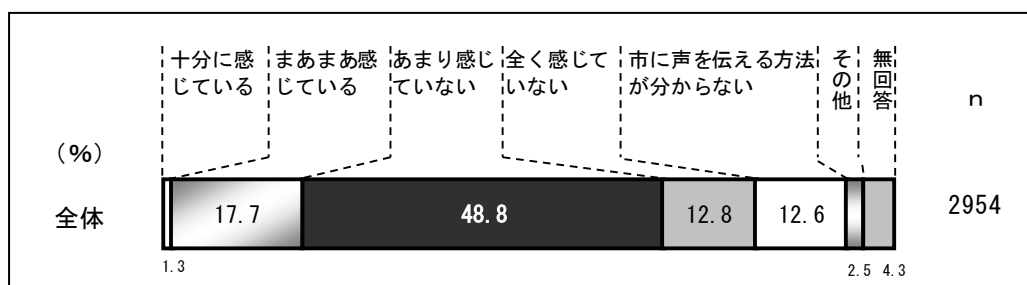
問 10 あなたは、市民の声や要望が市に伝わっていると感じていますか。

①全体

要望等が市に伝わっていると感じるかについては、「まあまあ感じている」が17.7%あり、「十分に感じている」(1.3%)も含めて、伝わっていると感じている人は2割弱です。

一方、「あまり感じていない」が48.8%、「全く感じていない」の12.8%を合わせた6割以上の方が伝わっていないと感じています。

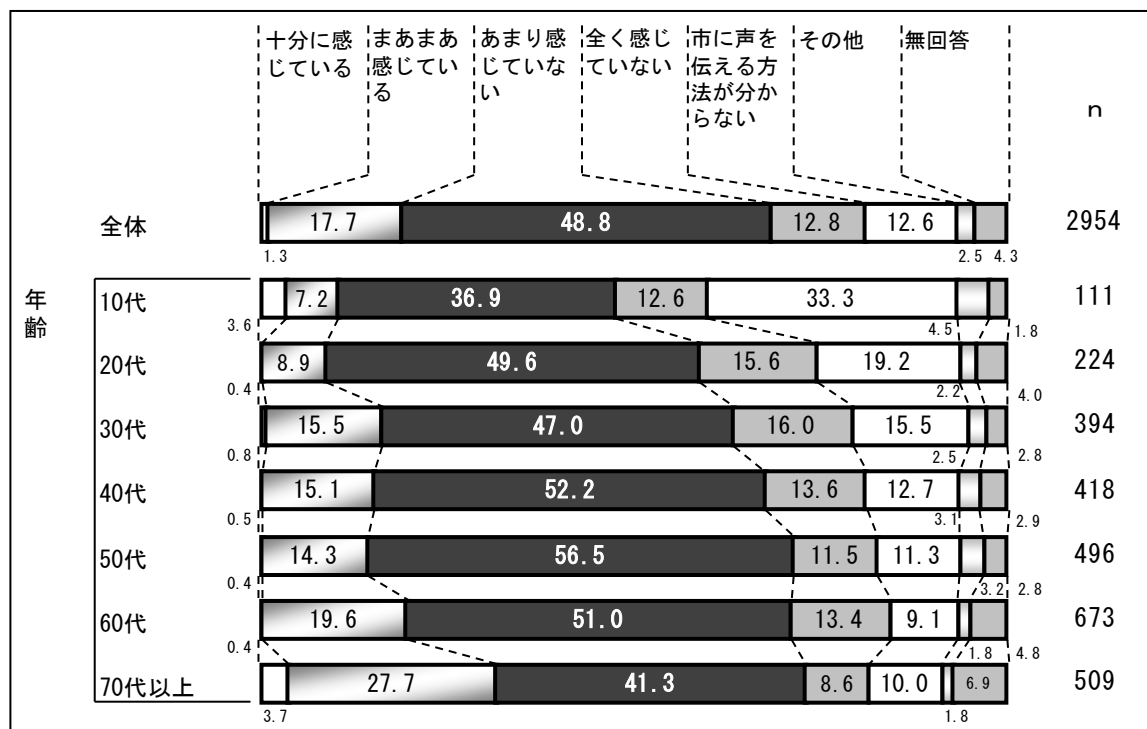
図表 2-3-7 要望が市に伝わっていると感じるか (全体)



②年齢別

伝わっていると感じている割合は、70代以上で31.4%と高くなっています。

図表 2-3-8 要望が市に伝わっていると感じるか (全体・年齢)



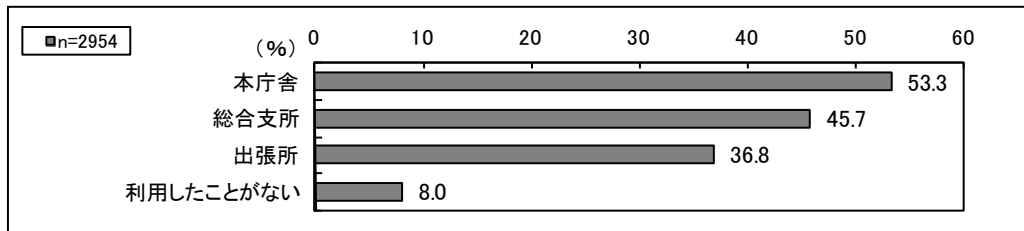
(5) 市役所窓口の利用

問 11 あなたは、市役所の窓口を利用したことはありますか。【複数回答】

①全体

市役所窓口の利用については、「本庁舎」が 53.3%と最も多く、次いで「総合支所」(45.7%)、「出張所」(36.8%)となっています。

図表 2-3-9 市役所窓口の利用（全体／複数回答）



②年齢別

10代を除くすべての層で、「本庁舎」、「総合支所」の順で、割合が高くなっています。30代と40代で、「本庁舎」の割合が65%近くで、特に高くなっています。

③居住地別

居住地別にみると、津地域（全地域）においては「本庁舎」の割合が最も高く、久居、河芸、芸濃、美里、安濃、香良洲、一志地域においては「総合支所」、白山、美杉地域においては「出張所」が最も高い割合になっています。

図表 2-3-10 市役所窓口の利用（全体・年齢／複数回答）

（単位：％、上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		本庁舎 53.3	総合支所 45.7	出張所 36.8
年齢	10代	利用したことがない 73.0	本庁舎 13.5	出張所 12.6
	20代	本庁舎 44.6	総合支所 37.5	出張所 31.7
	30代	本庁舎 64.5	総合支所 49.5	出張所 41.6
	40代	本庁舎 63.4	総合支所 48.6	出張所 39.5
	50代	本庁舎 57.5	総合支所 52.2	出張所 42.5
	60代	本庁舎 51.1	総合支所 46.4	出張所 38.9
	70代以上	本庁舎 46.2	総合支所 45.4	出張所 30.3

図表 2-3-11 市役所窓口の利用（全体・居住地／複数回答）

（単位：％、上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		本庁舎 53.3	総合支所 45.7	出張所 36.8
居住地	津地域北部	本庁舎 72.4	出張所 52.6	総合支所 37.0
	津地域中央部	本庁舎 83.2	出張所 21.5	総合支所 14.8
	津地域西部	本庁舎 71.4	出張所 42.3	総合支所 23.0
	津地域南部	本庁舎 66.0	出張所 50.7	総合支所 45.8
	久居地域東部	総合支所	75.5	本庁舎／出張所 31.3
	久居地域西部	総合支所 68.8	出張所 58.1	本庁舎 29.0
	河芸地域	総合支所 69.2	出張所 39.0	本庁舎 22.0
	芸濃地域	総合支所 79.5	本庁舎 22.9	出張所 15.7
	美里地域	総合支所 73.1	本庁舎 30.8	出張所 15.4
	安濃地域	総合支所 73.3	本庁舎 30.0	出張所 18.3
	香良洲地域	総合支所 70.6	本庁舎 31.4	出張所 17.6
	一志地域	総合支所 73.6	出張所 33.7	本庁舎 20.8
	白山地域	出張所 62.1	総合支所 60.6	本庁舎 15.9
	美杉地域	出張所 74.3	総合支所 40.0	本庁舎 12.9

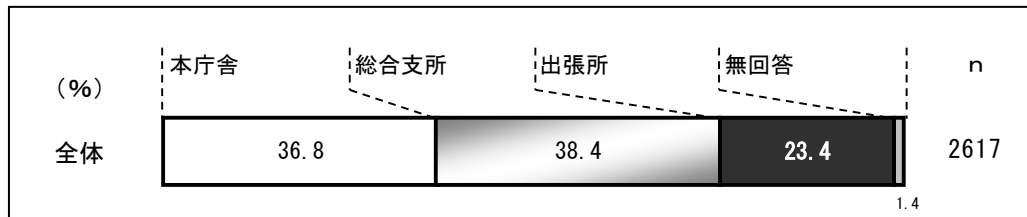
(6) 主に利用している窓口

問 12 問 11 で「1. 本庁舎、2. 総合支所、3. 出張所」を選んだ場合のみお答えください。
主にどの窓口を利用しますか。

①全体

主に利用している窓口としては、「総合支所」(38.4%)と「本庁舎」(36.8%)がほぼ拮抗しています。

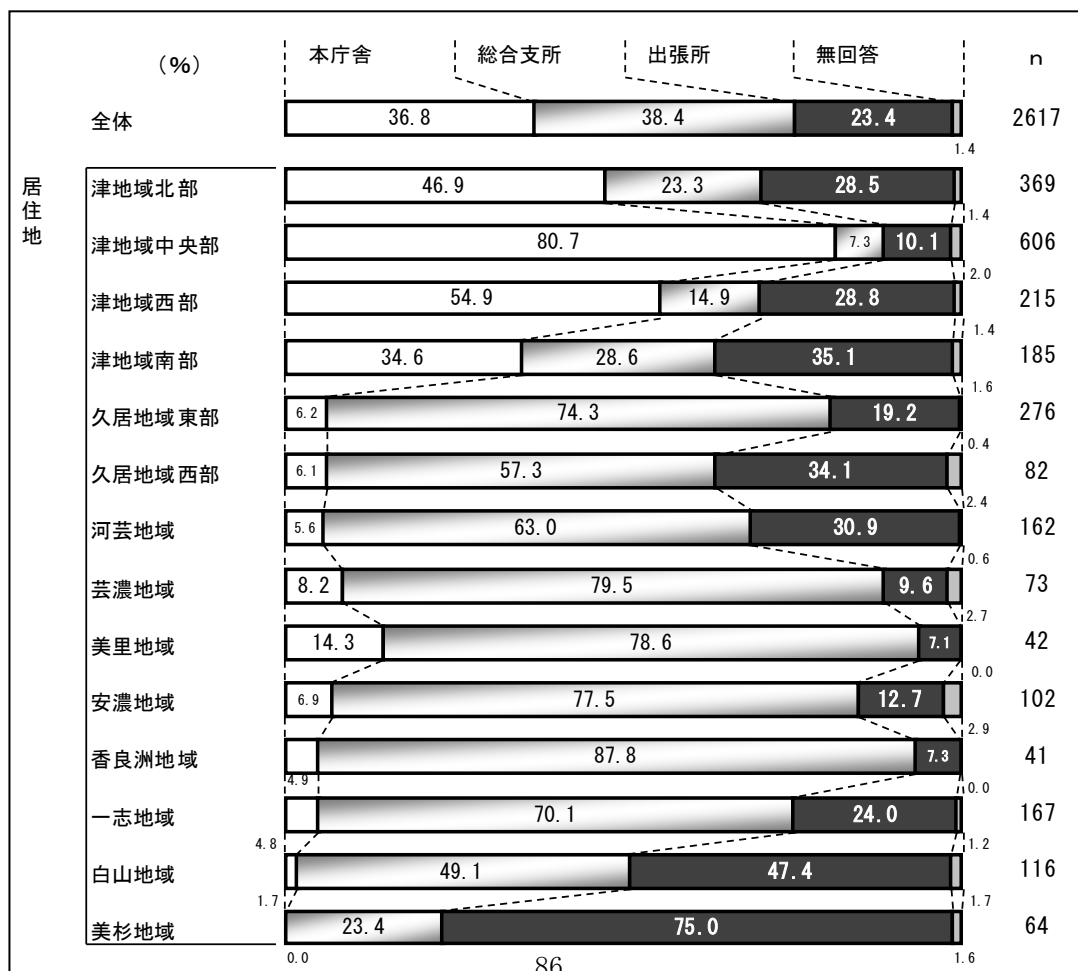
図表 2-3-12 主に利用している窓口 (全体)



②居住地別

津地域で中心部(80.7%)をはじめ、「本庁舎」の割合が高くなっています。久居東部、久居西部、河芸、芸濃、美里、安濃、香良洲、一志、白山地域では「総合支所」の割合が、それぞれ最も高くなっています。また、津地域南部、久居地域西部、白山地域、美杉地域などでは「出張所」割合がほかの地域よりも高くなっています。

図表 2-3-13 主に利用している窓口 (全体・居住地)



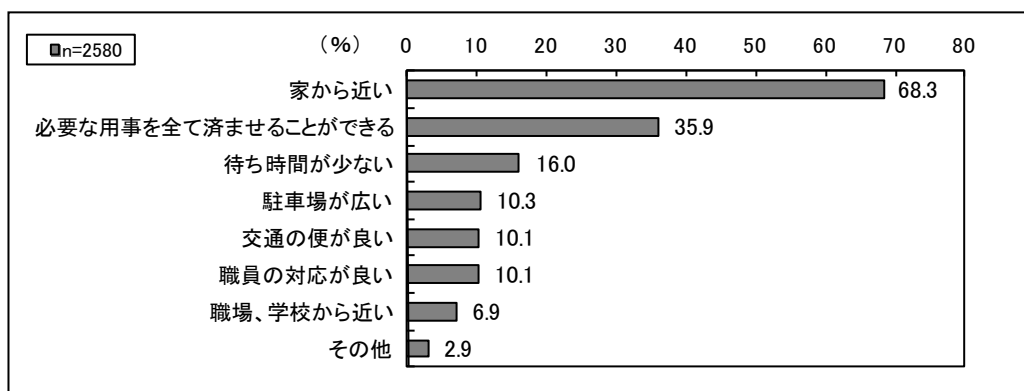
(7) 主な窓口を利用する理由

問 13 問 12 で答えた窓口を利用するのはなぜですか。【複数回答】

①全体

問 12 の窓口を利用する理由としては、「家から近い」が 68.3%と圧倒的に高い割合であり、身近にあることが最も回答が集まっています。次いで「必要な用事を全て済ませることができる」(35.9%)、「待ち時間が少ない」(16.0%)が続き、利便性や効率性を理由とする回答が上位となっています。

図表 2-3-14 主な窓口を利用する理由（全体／複数回答）



②居住地別

どの地域についても、「家から近い」の割合が最も高くなっており、都市部の津地域（全地域）や久居地域西部では、50～65%程度みられます。それ以外の地域では、おおむね 75%以上です。

図表 2-3-15 主な窓口を利用する理由（全体・居住地／複数回答）

（単位：％、上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		家から近い 68.3	必要な用事を全て済ませることができる 35.9	待ち時間が少ない 16.0
居住地	津地域北部	家から近い 53.0	必要な用事を全て済ませることができる 42.0	待ち時間が少ない 17.0
	津地域中央部	家から近い 65.5	必要な用事を全て済ませることができる 43.1	交通の便が良い 13.3
	津地域西部	家から近い 50.9	必要な用事を全て済ませることができる 45.8	待ち時間が少ない 15.6
	津地域南部	家から近い 61.5	必要な用事を全て済ませることができる 37.4	待ち時間が少ない 24.7
	久居地域東部	家から近い 80.4	必要な用事を全て済ませることができる 29.1	待ち時間が少ない 14.2
	久居地域西部	家から近い 65.0	必要な用事を全て済ませることができる 37.5	待ち時間が少ない 12.5
	河芸地域	家から近い 86.3	必要な用事を全て済ませることができる 26.7	待ち時間が少ない 21.7
	芸濃地域	家から近い 76.1	必要な用事を全て済ませることができる 21.1	駐車場が広い／待ち時間が少ない 18.3
	美里地域	家から近い 76.2	待ち時間が少ない 33.3	必要な用事を全て済ませることができる 16.7
	安濃地域	家から近い 79.8	必要な用事を全て済ませることができる 23.2	職員の対応が良い 16.2
	香良洲地域	家から近い 87.8	必要な用事を全て済ませることができる 29.3	待ち時間が少ない 19.5
	一志地域	家から近い 83.6	必要な用事を全て済ませることができる 24.2	待ち時間が少ない 15.2
	白山地域	家から近い 78.1	必要な用事を全て済ませることができる 29.8	待ち時間が少ない 22.8
	美杉地域	家から近い 74.6	必要な用事を全て済ませることができる 25.4	待ち時間が少ない 23.8

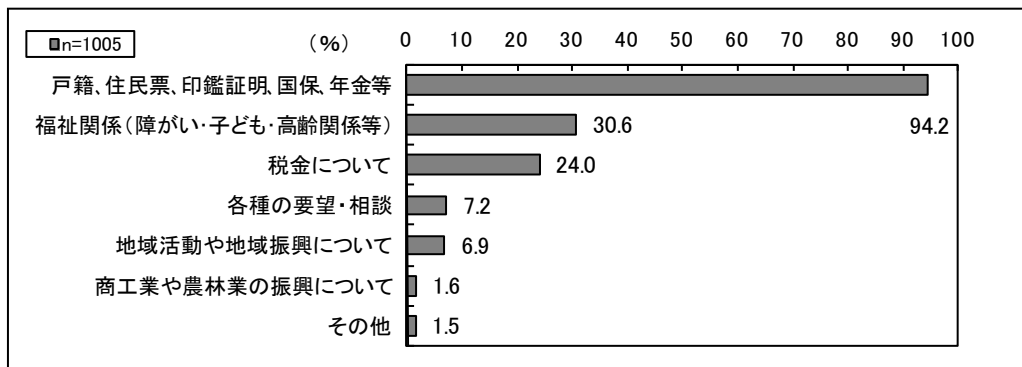
(8) 総合支所を利用した目的

問 14 問 12 で「2. 総合支所」を選んだ場合のみお答えください。
総合支所を利用した目的はどのようなことですか。【複数回答】

①全体

総合支所を利用した目的としては、「戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等」が 94.2%と最も多く、各種申請手続き、届出等を目的とする利用が大半となっています。次いで「福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等）」（30.6%）、「税金について」（24.0%）となっており、各種の相談や地域振興などについて低い割合です。

図表 2-3-16 総合支所を利用した目的（全体／複数回答）



②居住地別

すべての地域で「戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等」の割合が最も高くなっています。これに次いで、美杉地域と香良洲地域では「福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等）」が 50%以上とほかの地域よりも高くなっています。

図表 2-3-17 総合支所を利用した目的（全体・居住地／複数回答）

（単位：％、上位3位）

		第1位	第2位	第3位
全体		戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 94.2	福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 30.6	税金について 24.0
居住地	津地域北部	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 95.3	福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 16.3	税金について 9.3
	津地域中央部	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 90.9	福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 22.7	税金について 4.5
	津地域西部	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 93.8	税金について 18.8	地域活動や地域振興について／ 各種の要望・相談 12.5
	津地域南部	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 94.3	福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 24.5	税金について 11.3
	久居地域東部	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 96.6	福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 36.6	税金について 30.7
	久居地域西部	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 95.7	福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 44.7	税金について 29.8
	河芸地域	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 95.1	福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 33.3	税金について 24.5
	芸濃地域	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 93.1	税金について／福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 32.8	
	美里地域	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 100.0	税金について／福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 27.3	
	安濃地域	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 96.2	税金について／福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 26.6	
	香良洲地域	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 94.4	福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 50.0	税金について 19.4
	一志地域	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 94.0	福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 32.5	税金について 27.4
	白山地域	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 80.7	福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 36.8	税金について 26.3
美杉地域	戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等 86.7	福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等） 53.3	税金について／地域活動や地域振興について／ 商工業や農林業の振興について／ 各種の要望・相談 26.7	

(9) 行政サービスのあり方について

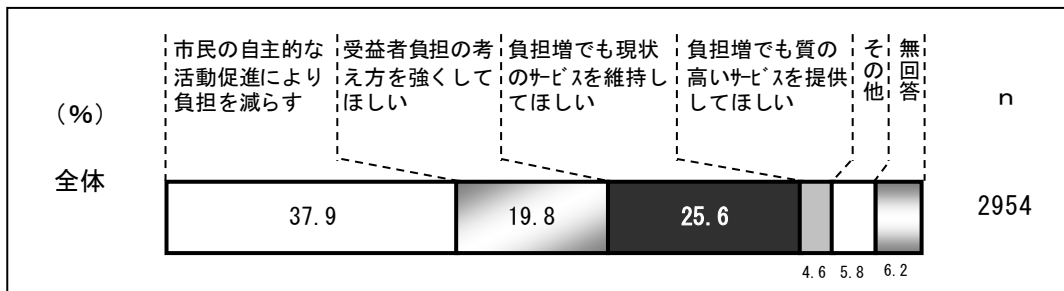
問 15 全ての方にお尋ねします。
あなたは、行政サービスのあり方について、どのように考えますか。

①全体

行政サービスのあり方については、「市民の自主的な活動促進により負担を減らす」が37.9%と最も多く、「受益者負担の考え方を強くしてほしい」の19.8%を合わせた57.7%の人が行政サービスの負担軽減を容認しています。

一方、「負担増でも現状のサービスを維持してほしい」が25.6%あり、「負担増でも質の高いサービスを提供してほしい」(4.6%)も含めて、サービスの維持や向上のため負担増はやむを得ないという人は約3割みられます。

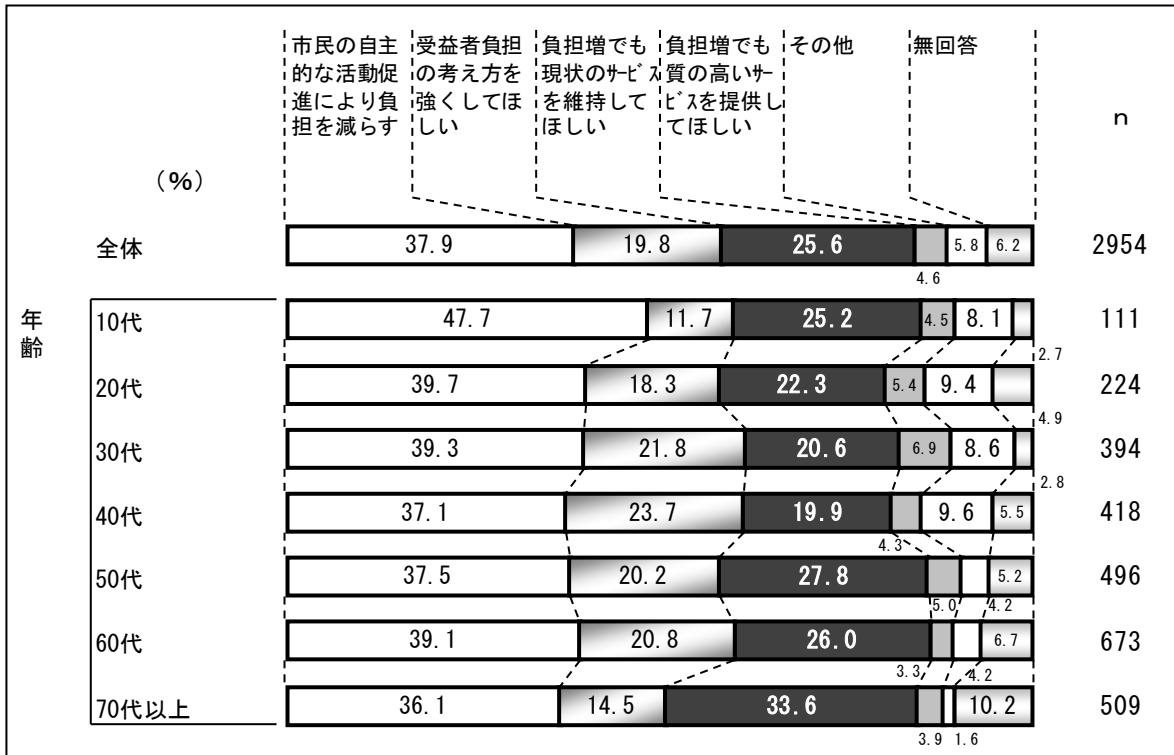
図表 2-3-18 行政サービスのあり方について (全体)



②年齢別

70代以上で、「負担増でも現状のサービスを維持してほしい」が3分の1以上みられます。

図表 2-3-19 行政サービスのあり方について (全体・年齢)



4 地域活動への参加状況

(1) 地域活動への参加状況

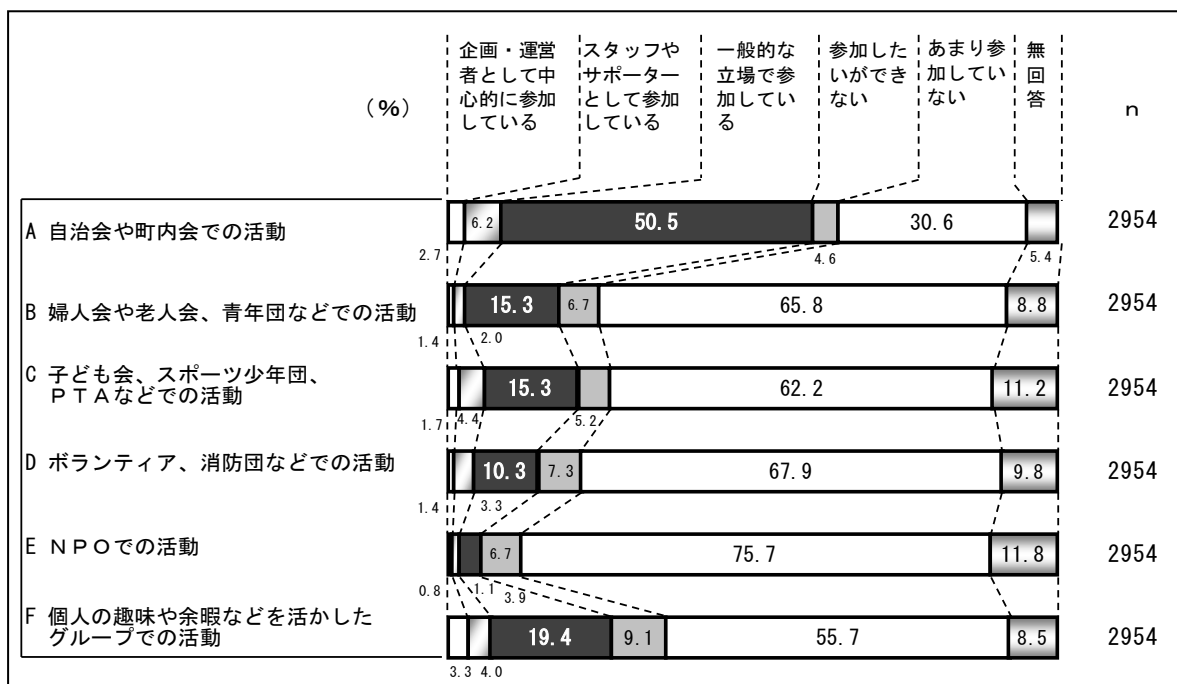
問 16 現在の、あなたの地域活動への参加状況についてお尋ねします。A～Fの活動について、それぞれあてはまる番号に1つずつ○印をつけてください。

①全体

地域活動への参加状況については、「自治会や町内会での活動」への参加が最も多く、「企画・運営者として中心的に参加している」、「スタッフやサポーターとして参加している」、「一般的な立場で参加している」を合わせた参加していると回答した割合（参加率）は、約6割と圧倒的に多くなっています。

これ以外の項目の参加している割合では、「個人の趣味や余暇などを活かしたグループでの活動」（26.7%）、「子ども会、スポーツ少年団、PTAなどでの活動」（21.4%）、「婦人会や老人会、青年団などの活動」（18.7%）、「ボランティア、消防団などでの活動」（15.0%）の順で多く、最も少ない「NPOでの活動」は5.8%です。

図表 2-4-1 地域活動への参加状況（全体）



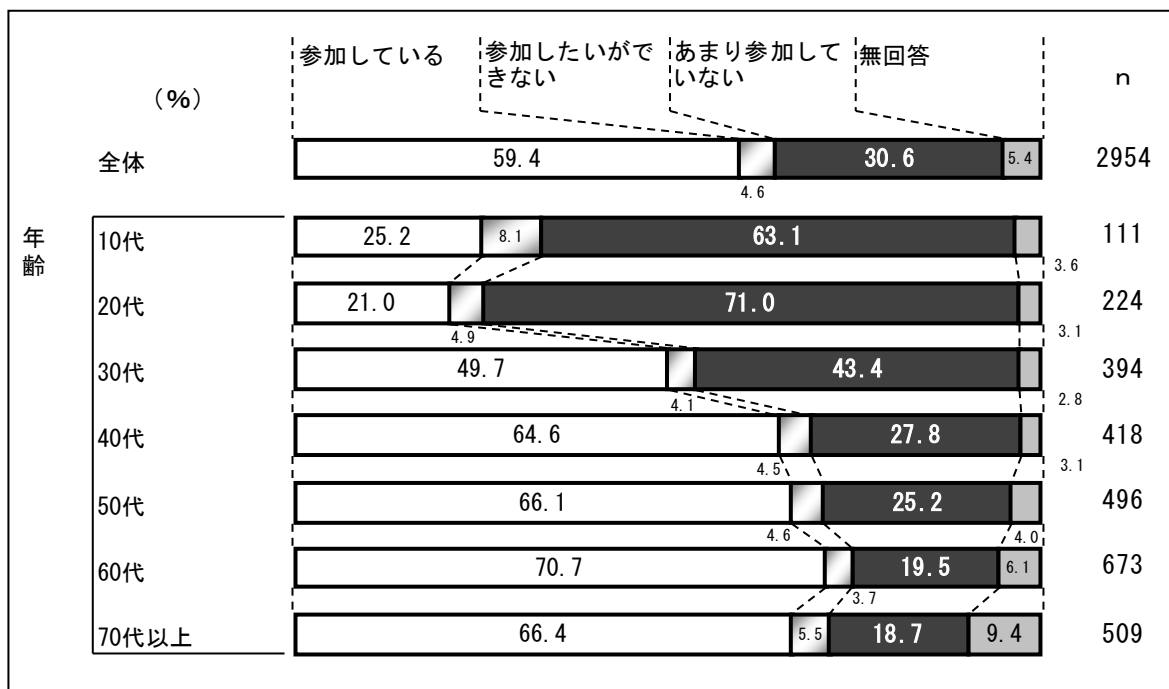
②年齢別

参加率を見ると、「自治会や町内会での活動」では、30代以上では5～7割程度と高くなっています。「婦人会や老人会、青年団などの活動」では、70代以上（37.5%）で最も高くなっています。「子ども会、スポーツ少年団、PTAなどでの活動」では、子どもを持つ40代において45.2%と最も高く、次いで30代も高くなっています。「ボランティア、消防団などでの活動」では、50代以上で2割弱と若干高くなっています。

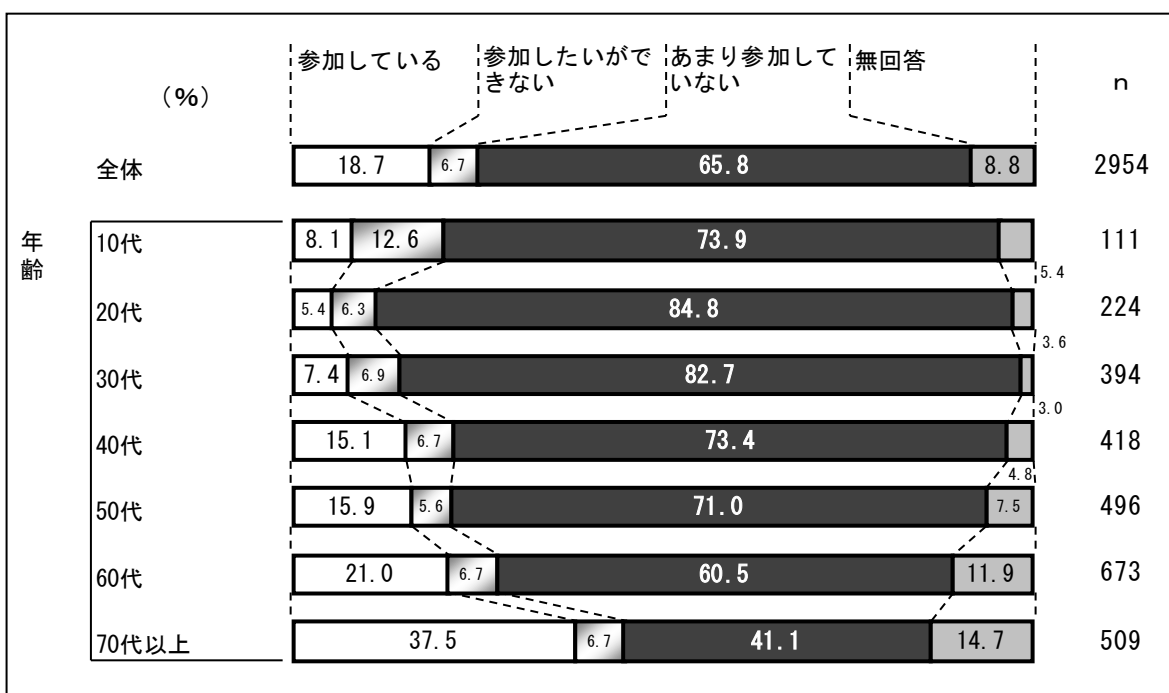
「NPOでの活動」では、年齢によって参加率に大きな差はみられません。「個人の趣味や余暇などを活かしたグループでの活動」では、おおむね年齢にしたがって参加率も高くなっています。

図表 2-4-2 地域活動への参加状況（全体・年齢）

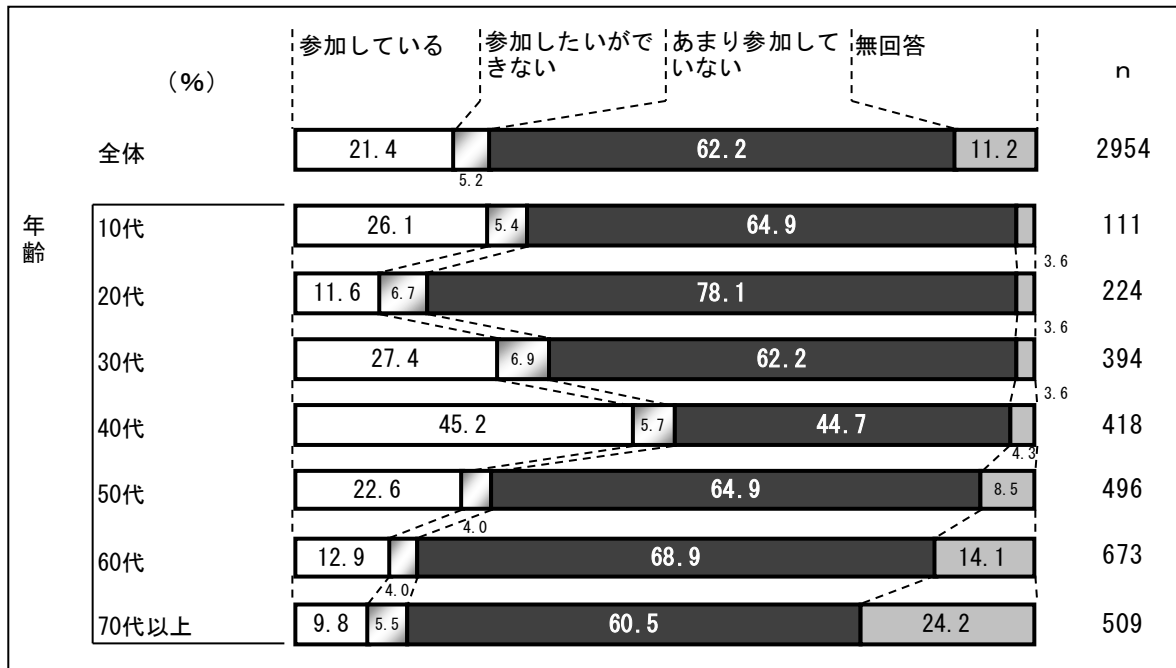
A 自治会や町内会での活動



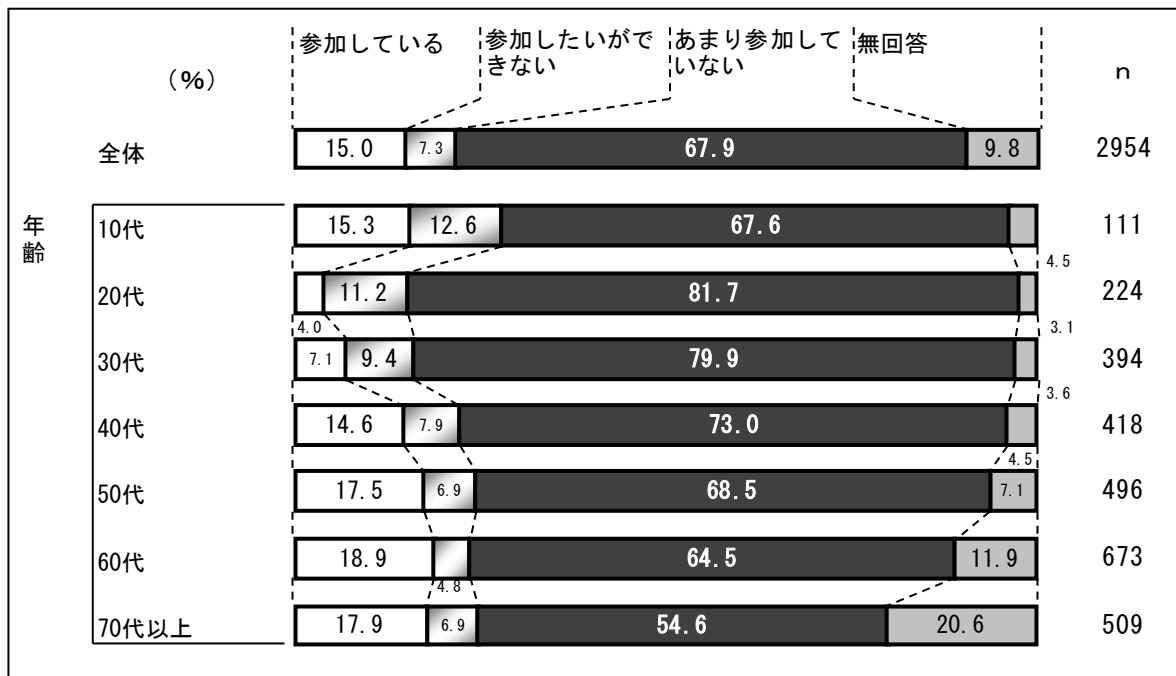
B 婦人会や老人会、青年団などでの活動



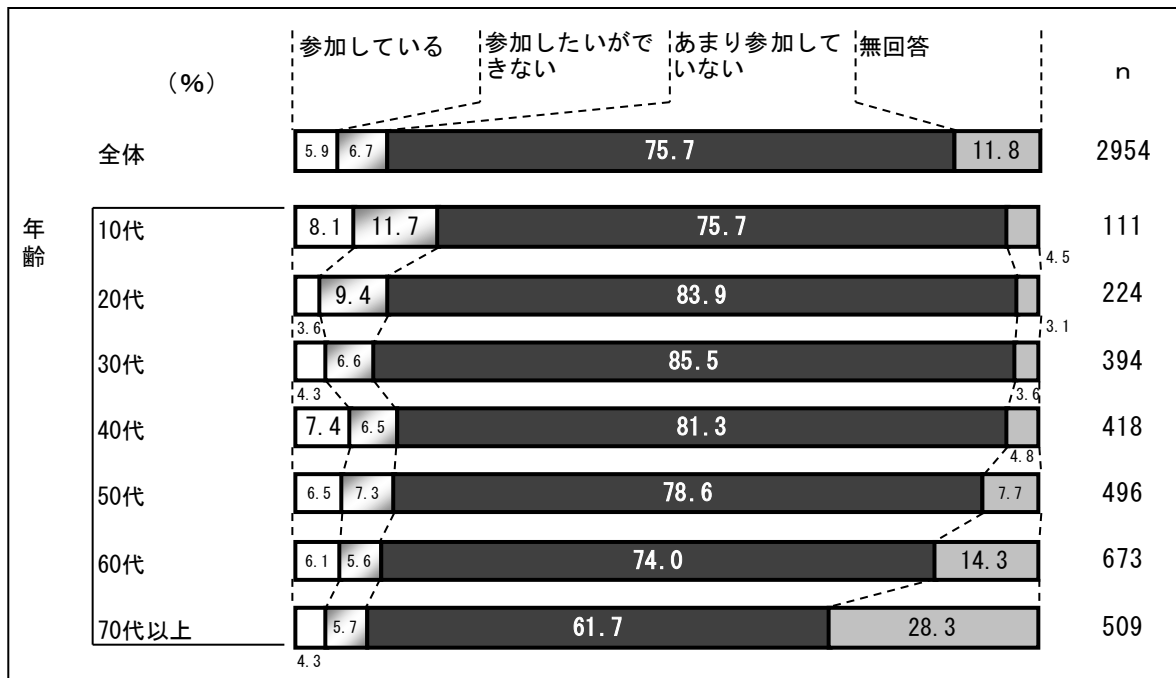
C 子ども会、スポーツ少年団、PTAなどでの活動



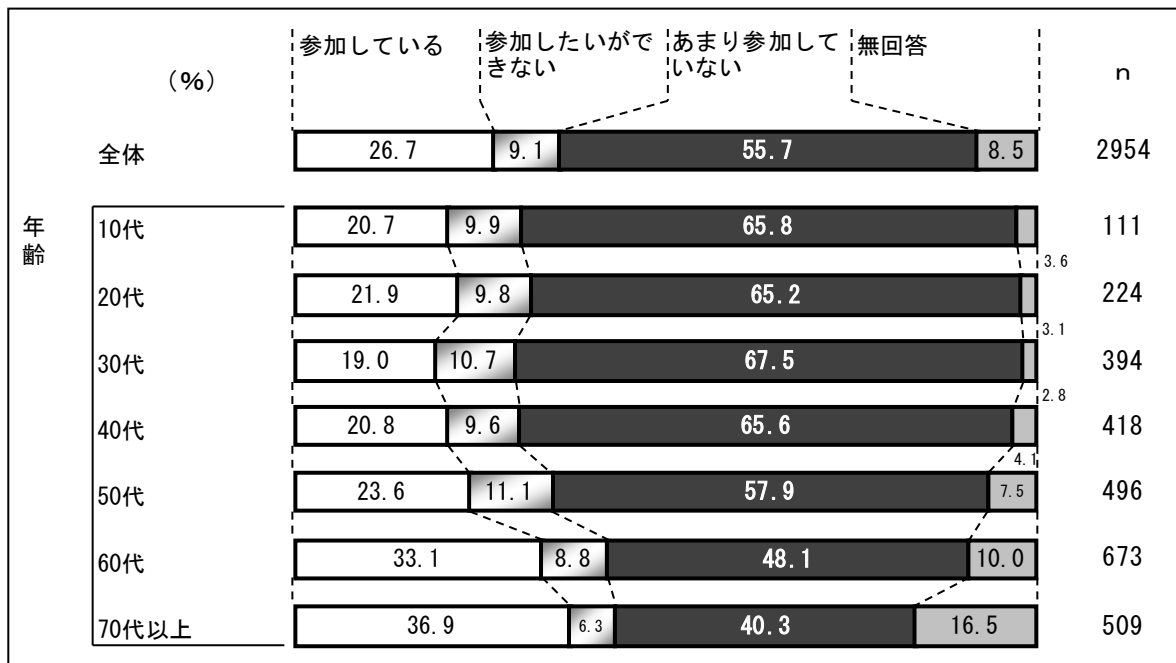
D ボランティア、消防団などでの活動



E NPOでの活動



F 個人の趣味や余暇などを活かしたグループでの活動



(2) 日常生活や地域活動等への参加状況

問 17 あなたの日常生活や地域活動等への参加状況についてお答えください。A～Kそれぞれの項目について、あなたのお考えや行動に最も近いものについて1つずつ○印をつけてください。

①全体

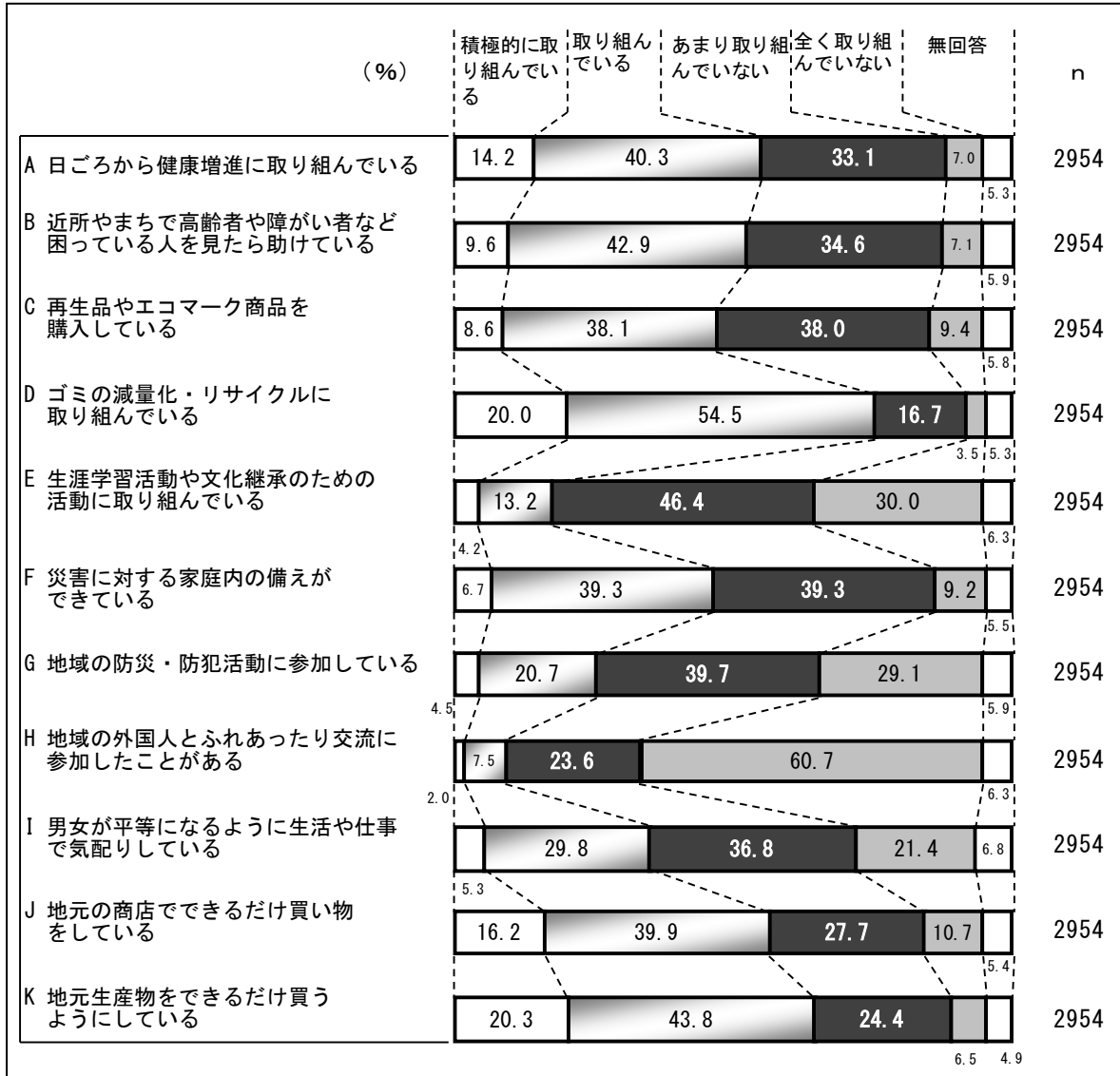
日常生活や地域活動等への参加状況について、「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいる」を合わせた取り組んでいる割合が高いのは、「ゴミの減量化・リサイクルに取り組んでいる」で、7割以上となっており、環境への意識が高いことがうかがえます。

取り組んでいる割合が5割を超える項目は、「地元生産物をできるだけ買うようにしている」(64.1%)、「地元の商店でできるだけ買い物をしている」(56.1%)、「日頃から健康増進に取り組んでいる」(54.5%)、「近所やまちで高齢者や障がい者など困っている人を見たら助けている」(52.5%)の順となっており、地産地消や地域活性化、健康増進や地域福祉への取り組みが盛んです。

一方「あまり取り組んでいない」と「全く取り組んでいない」を合わせた取り組んでいない割合が高いのは、「地域の外国人とふれあったり交流に参加したことがある」が84.3%であり、多文化にふれる機会をあまり持っていません。

次いで取り組んでない割合が高い項目は、「生涯学習活動や文化継承のための活動に取り組んでいる」(76.4%)、「地域の防災・防犯活動に参加している」(68.8%)、「男女が平等になるように生活や仕事で気配りしている」(58.2%)、「災害に対する家庭内の備えができていない」(48.5%)の順となっており、生涯学習、文化活動、防災・防犯、男女共同参画への参加が少ない状況といえます。

図表 2-4-3 日常生活や地域活動等への参加状況



②年齢別

「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいる」を合わせた取り組んでいる割合は、「日頃から健康増進に取り組んでいる」では60代・70代以上で高く、6割強となっています。「近所やまちで高齢者や障がい者など困っている人を見たら助けている」ではすべての年齢層で5割以上が取り組んでいます。

「再生品やエコマーク商品を購入している」と「ゴミの減量化・リサイクルに取り組んでいる」では、生活や家計を担う30代以上の年齢層が中心となって取り組んでいます。

「生涯学習活動や文化継承のための活動に取り組んでいる」では10代と60代以上で2割を超えて、ほかの年齢層よりもやや高くなっています。

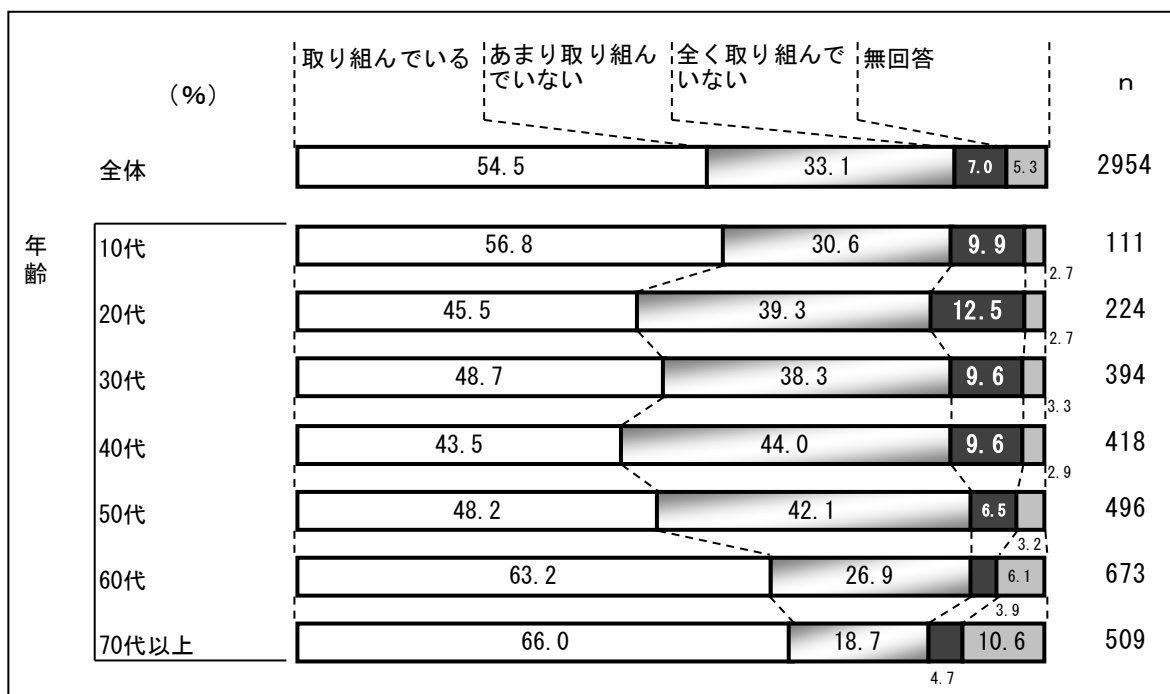
「災害に対する家庭内の備えができています」では、おそらく学校での教育を通じて10代(60.4%)が最も取り組んでいます。20代(39.3%)になると大きく落ち込んでいます。「地域の防災・防犯活動に参加している」では20代では10.3%にとどまっていますが、年齢とともに高くなり70代以上では34.8%となっています。

「地域の外国人とふれあったり交流に参加したことがある」では10代(24.3%)が最も多く、おおむね年齢にしたがって割合が低くなっています。「男女が平等になるように生活や仕事で気配りしている」では、20代から40代でやや高くなっています。

「地元の商店でできるだけ買い物をしている」では、年齢とともに取り組んでいる割合が高くなり、70代以上では7割弱みられます。「地元生産物をできるだけ買うようにしている」でも買い物と同様、年齢とともに取り組んでいる割合が高くなっており、30代以上で6割を超えています。

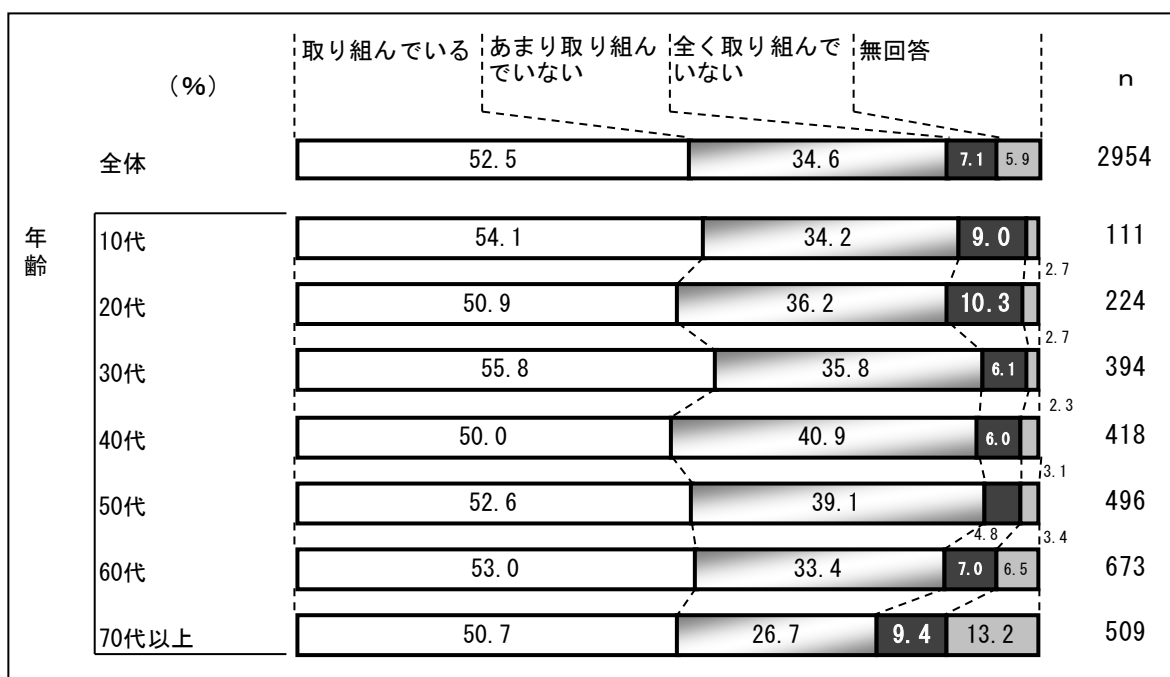
図表 2-4-4 地域活動への参加状況（全体・年齢）

A 日ごろから健康増進に取り組んでいる

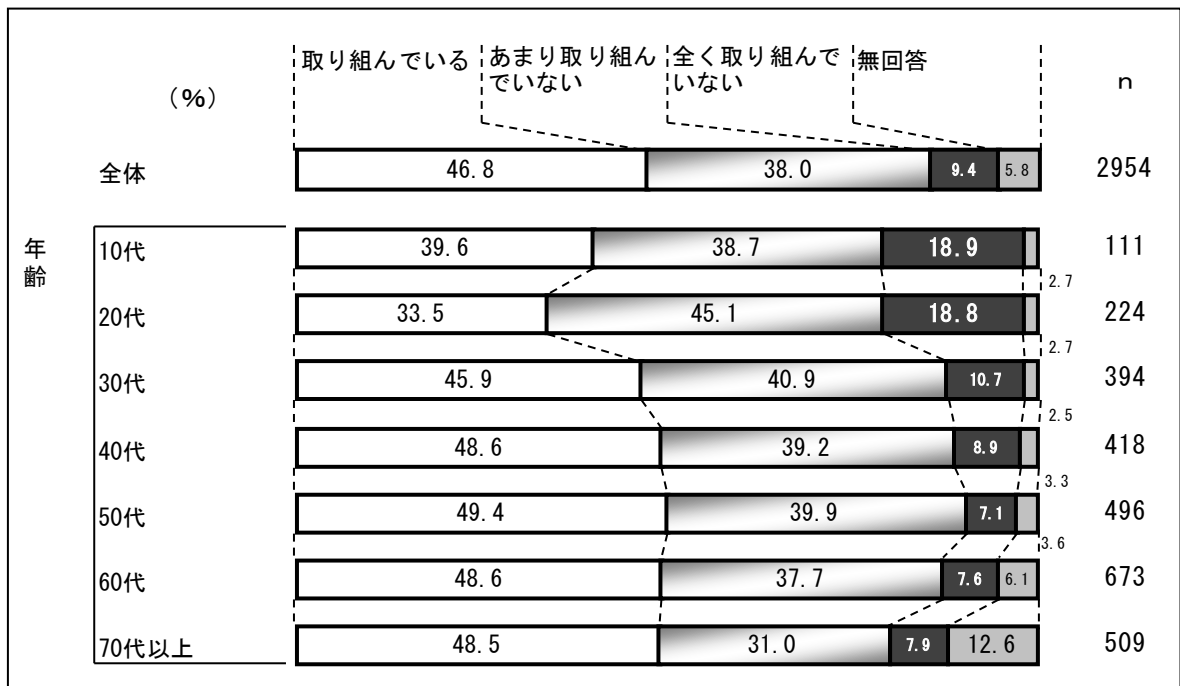


「取り組んでいる」：「積極的に取り組んでいる」 + 「取り組んでいる」

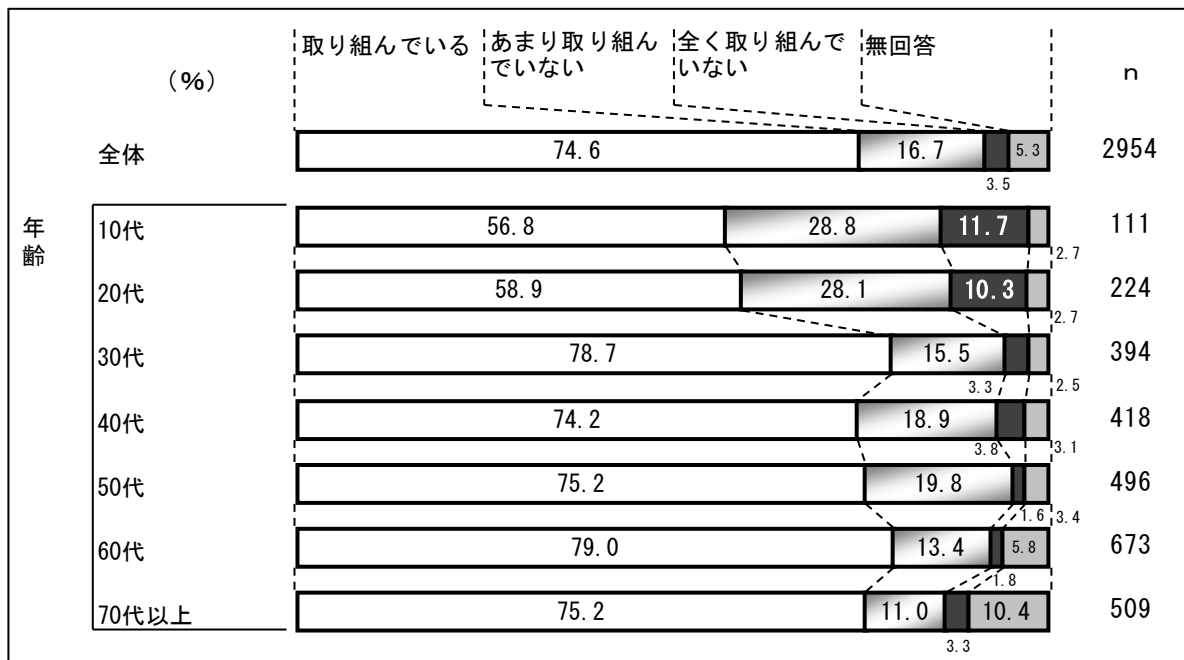
B 近所やまちで高齢者や障がい者など困っている人を見たら助けている



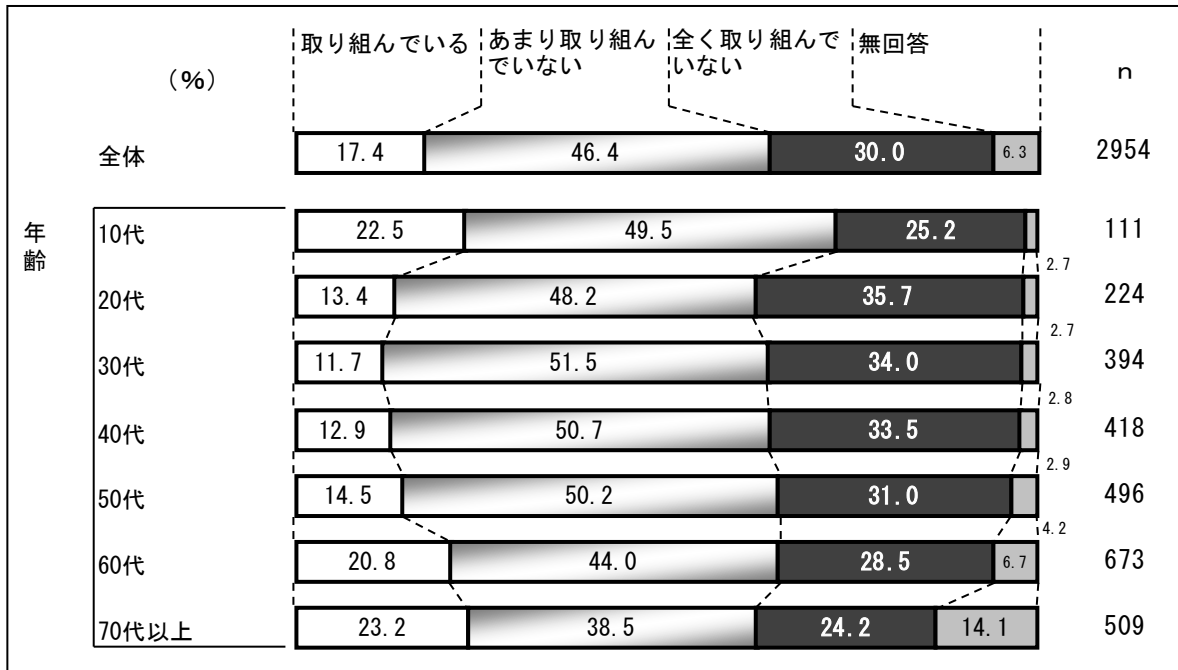
C 再生品やエコマーク商品を購入している



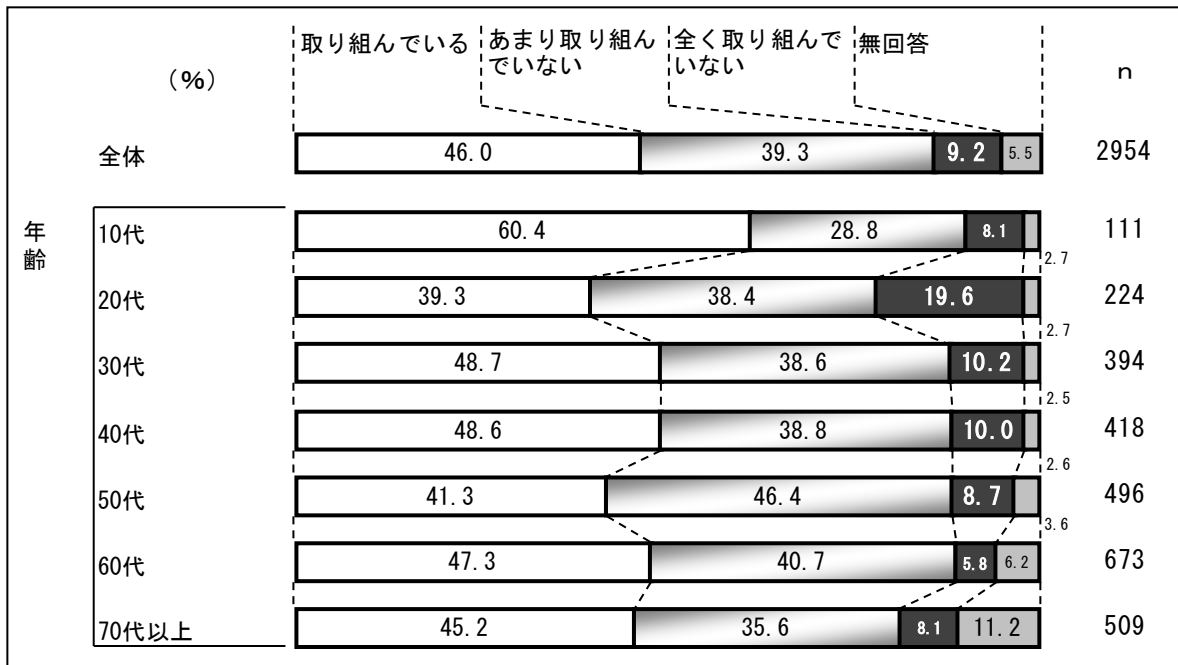
D ゴミの減量化・リサイクルに取り組んでいる



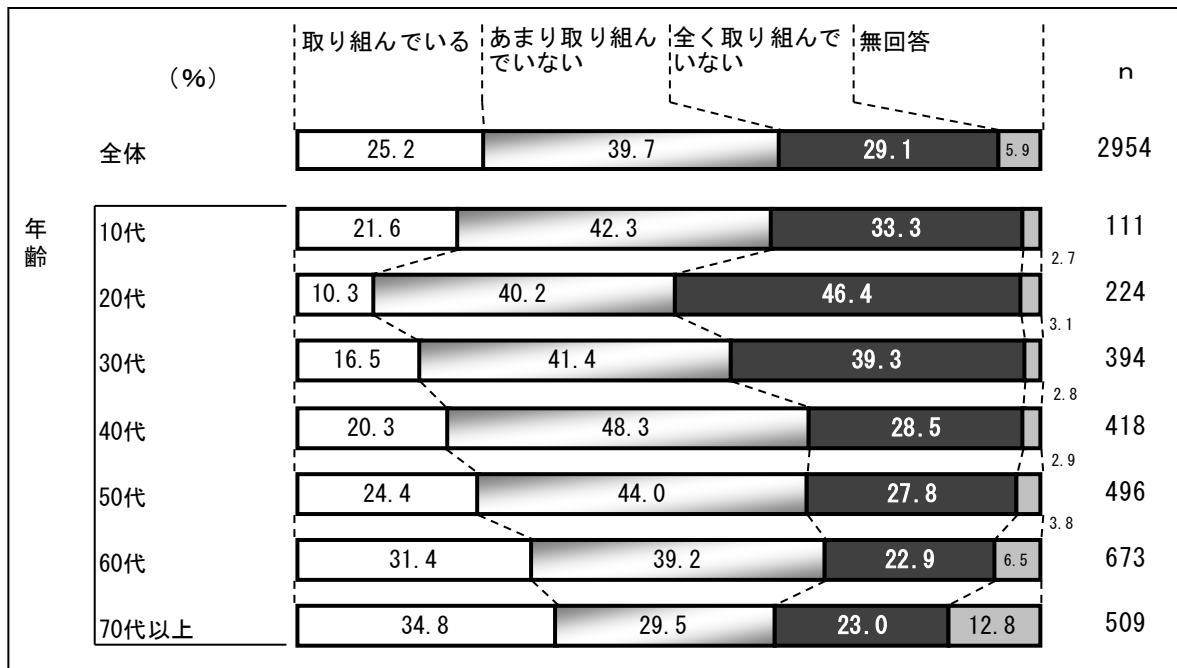
E 生涯学習活動や文化継承のための活動に取り組んでいる



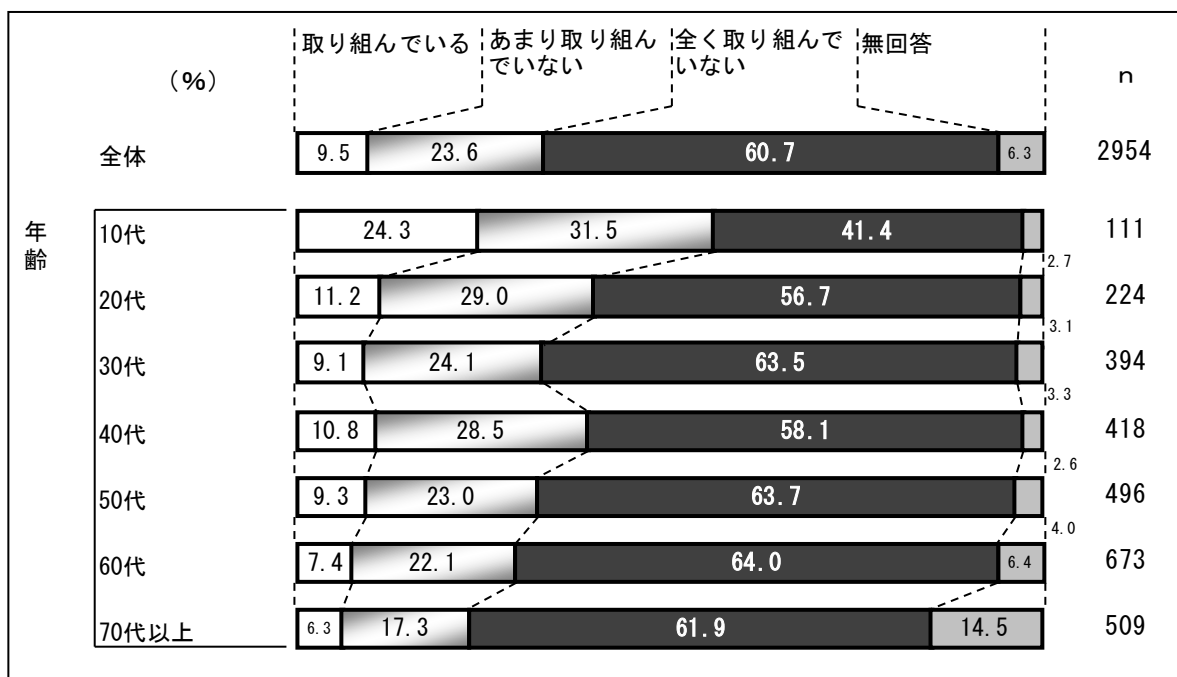
F 災害に対する家庭内の備えができている



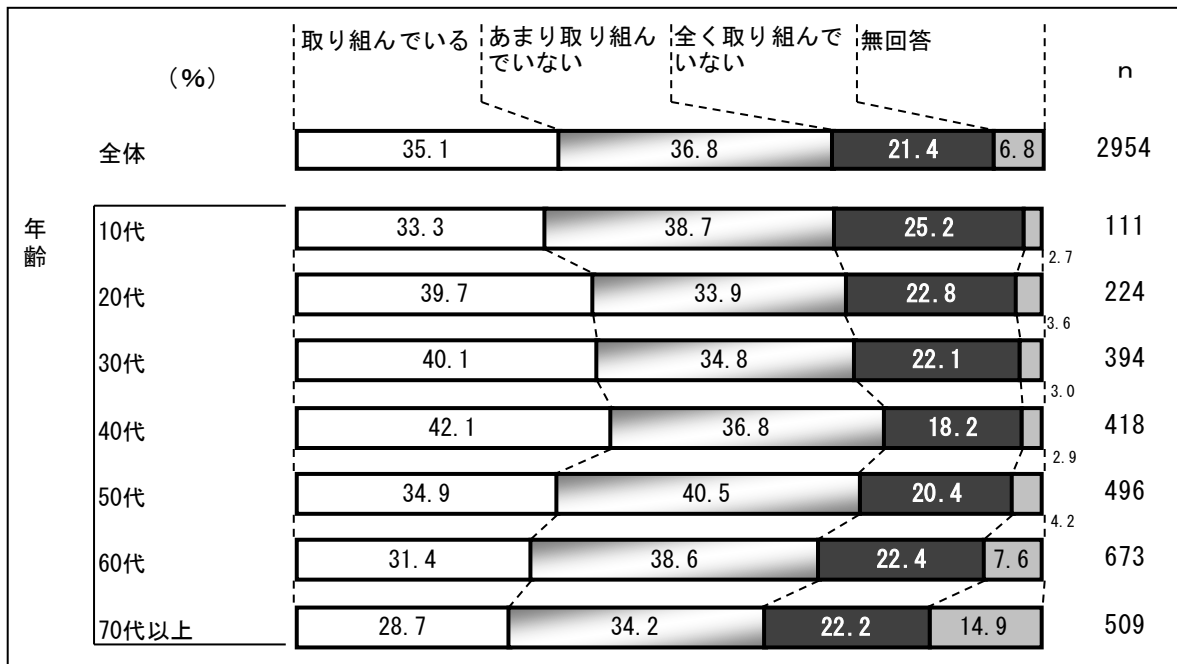
G 地域の防災・防犯活動に参加している



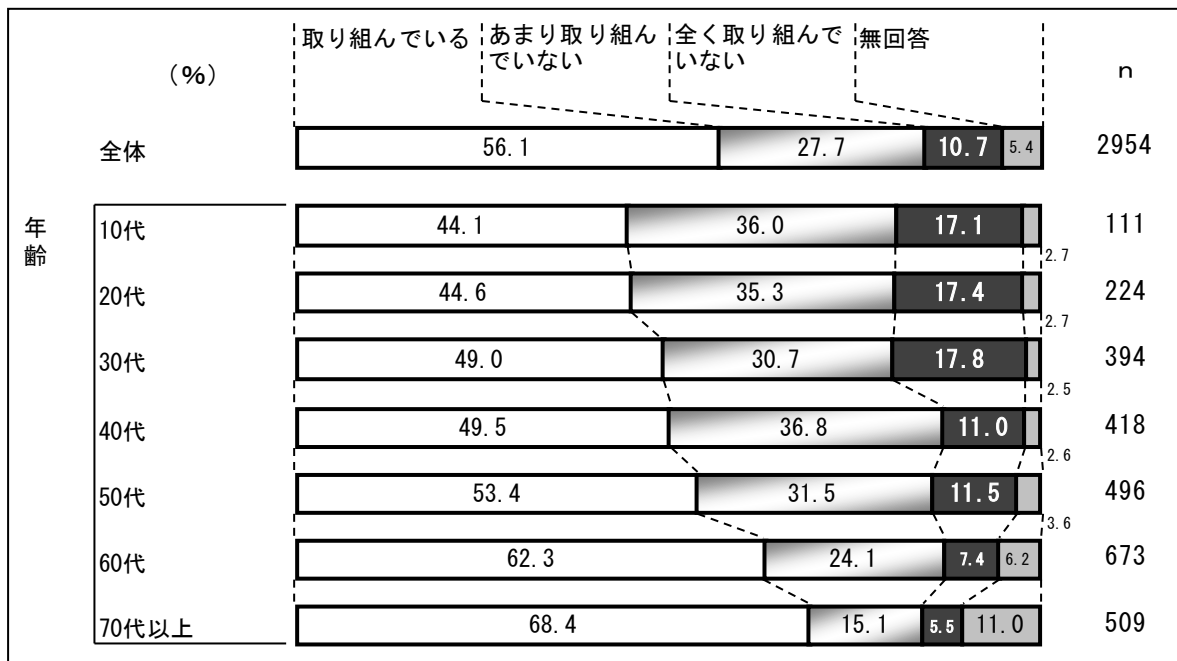
H 地域の外国人とふれあったり交流に参加したことがある



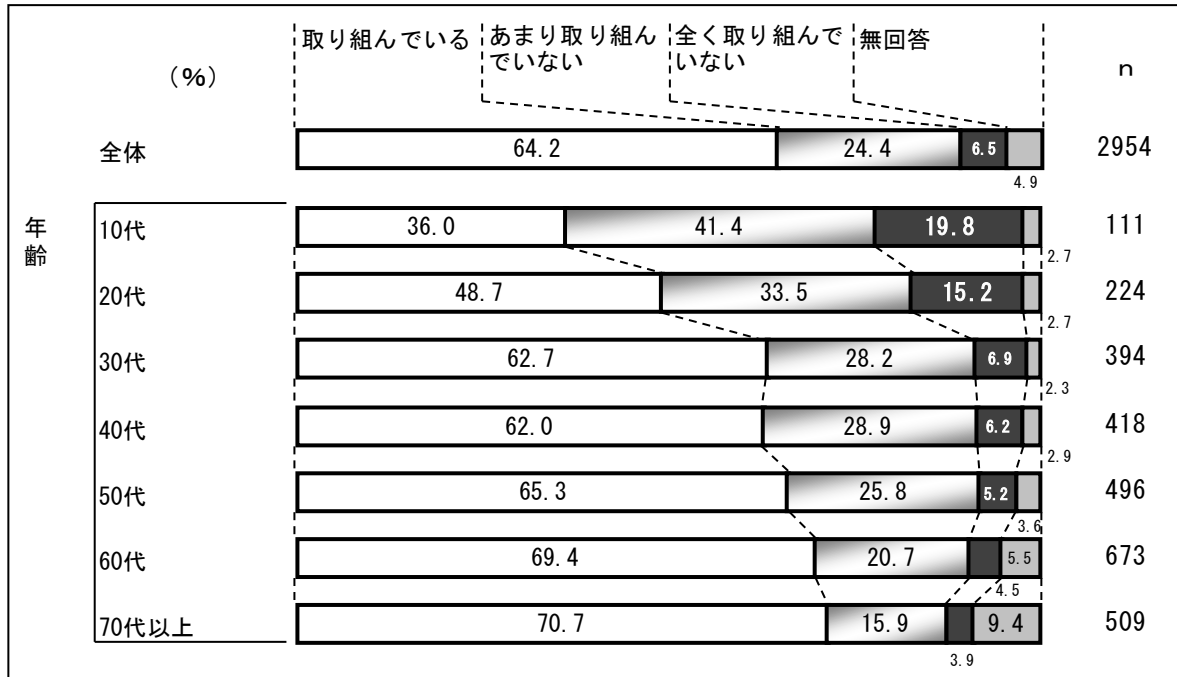
I 男女が平等になるように生活や仕事で気配りしている



J 地元の商店でできるだけ買い物をしている



K 地元生産物をできるだけ買うようにしている



Ⅲ 自由意見

分類	内容	件数
生活基盤	公共交通機関の充実	11
	コミュニティバスの充実	9
	交通弱者対策の充実	6
	自転車道の整備	5
	道路環境の充実	5
	バスの充実	4
	子どもが安心して遊べる公園の充実	4
	駐車場の整備	4
	いこいの場の充実	3
	下水道の整備	3
	生活道路の整備	3
	道路わきの草木等の整備	3
	インフラ整備の促進	2
	山間部の道路整備	2
	飼い主のマナーの向上	2
	中勢バイパスの早期開通	2
	津駅周辺の活性化	2
	道の駅の整備	2
	JR阿漕駅の北側踏み切りが狭くて危険なので改善してほしい	1
	アスト市営駐車場の利便性向上	1
	カーブミラーのくもりどめ	1
	グリーンパークの子どもの遊び場や遊具を充実してほしい	1
	ケーブルテレビ等の充実	1
	サイエンスシティの公園を子どもが安心して遊べるようにしてほしい	1
	つーバスの利便性向上	1
	デパート出入口付近の渋滞解消	1
	バイパスの早期整備	1
	ペットとふれあえる場の整備	1
	ポルタ久居に屋内公園の設置	1
	マンホール等の凸凹を平らにしてほしい	1
	ラッシュ時の津市内への車乗入れの禁止	1
	一身田から総文までの道路整備	1
	駅の地下道はベビーカーが通りにくいので、エレベーターか陸橋などを整備してほしい	1
	駅までのバスの運行	1
	駅周辺の開発	1
	駅前、駅周辺をもっと便利にしてほしい	1
	駅前の活性化	1
	駅前バスターミナルのバス案内をわかりやすくしてほしい	1
	横断歩道の白線が消えており、危ない	1
	何も無い芝生のみのだだっ広い公園がほしい	1
	街灯が少ない	1
	冠水する道路の早期整備	1
	環境にやさしい公共交通機関の整備	1
	観音公園を駐車場にしてはどうか	1
	危険な道路（栄町2丁目）に信号機を設置してほしい	1
	久居地区の下水道の充実	1
	久居地区の狭い道路の整備	1
久居方面（病院、買い物）へのコミュニティバスの運行をしてほしい	1	
汲み取りの無料化	1	
近鉄の駅を増やしてほしい	1	
近鉄の最寄駅までバスを運行してほしい	1	
区画整理をしてほしい	1	
護岸工事をしてほしい	1	
交通弱者対策の強化	1	
公園の充実	1	
公共住宅の充実	1	
江戸橋駅周辺道路の危険箇所の整備	1	
高齢者が病院等へ通うための格安な交通手段を確保してほしい	1	

分類	内容	件数
	国道23号の桜橋付近の渋滞緩和のため、もうひとつ橋を整備すべき	1
	国道23号の渋滞解消	1
	採算が取れないからといってバスをやめないでほしい	1
	山間部の公共交通機関の充実	1
	子どもと遊べる場所の充実	1
	子どもにとって魅力のある公園がほしい	1
	市街化調整区域の見直し	1
	市電の運行について検討してほしい	1
	市民が憩える公園の整備	1
	自転車、歩行者にやさしい環境づくり	1
	車社会を考えた設備とアクセス道路の完備	1
	住宅地の荒地対策をしてほしい	1
	渋滞解消対策の充実	1
	少子高齢化対策の充実	1
	上下水道の整備	1
	上浜町三丁目の道路の歩道整備	1
	浄化槽の早期設置	1
	食・住の安定化	1
	図書館や総合文化センターなどの施設までのアクセスを良くしてほしい	1
	生活環境を良くしてほしい	1
	他の市に比べて公園が少ない	1
	多目的の大きな公園の整備	1
	大阪や名古屋までの電車の利便性向上	1
	団地内にバスを運行してほしい	1
	団地内へのカーブミラーの設置	1
	地域のバス路線の充実	1
	津駅西口が混雑するので車の流れが良くなるようなターミナルであってほしい	1
	津駅前、市役所周辺の活性化	1
	津駅前のさびれ具合をどうにかしてほしい	1
	津市の玄関口である津駅周辺の再開発をのぞむ	1
	津市の入り口（津駅・津新町）をもっと整備してほしい	1
	津市丸の内地区等での無料駐車場の整備	1
	津市中心部の活性化	1
	通学のための環境の整備	1
	通学路の交通規制の実施	1
	通勤道路の混雑の解消	1
	鉄道の踏切がスムーズに通行できるよう道路整備をしてほしい	1
	鉄道高架化の推進	1
	電車・バス利用者増のため駅周辺の駐車場を増やす	1
	都市型公園の整備	1
	道路について、4mの幅員確保について、力を入れていただきたい	1
	道路の白線の補修	1
	道路整備は不要	1
	道路側溝の整備	1
	南が丘駅周辺の街灯の増設	1
	南部緑地公園の充実	1
	歩行者と自転車が共存できる環境づくり	1
	歩道と道幅の狭い道の凸凹をなくしてほしい	1
	歩道の整備	1
	歩道の整備をし、安全に歩いて、自転車で移動できるようにしてほしい	1
	歩道や自転車道の整備	1
	名松線の継続より、バスの回数を増やすべき	1
	名松線の全線開通と道路の改修（奥津→太郎生）	1
	名松線の早期復活	1
	緑の多い津のまちにしてほしい	1
	老朽化した橋の改修	1
生活基盤 集計		168

分類	内容	件数
保健・医療	福祉の充実	8
	医療体制の充実	5
	生活保護の審査の徹底	5
	一人暮らし高齢者支援の充実	3
	子育てしやすい環境づくり	3
	不妊治療助成制度の充実	3
	医療費の負担軽減	2
	救急医療体制の充実	2
	高齢者福祉の充実	2
	高齢者福祉施設の充実	2
	子育て環境の充実	2
	小学生まで医療費を無料にしてほしい	2
	少子化対策の充実	2
	障がい者福祉の充実	2
	地域での子ども見守り体制の確立	2
	低所得者対策の充実	2
	乳幼児医療費の助成について、窓口での支払いをしないで済むようにしてほしい	2
	保育園の充実	2
	1地区に1つ公立幼稚園をつくるとともに、3年保育にしてほしい	1
	39歳以下の健康診断を病院で受けられるようにしてほしい	1
	3年保育の公立幼稚園の増設	1
	デイサービス、施設サービスなど的高齢者福祉の充実	1
	医療助成費の充実	1
	一人親家庭・低所得者への支援充実	1
	延長保育の充実、	1
	介護保険料等の負担が増えないように健康増進に取り組む	1
	介護保険料等をしっかり徴収すべき	1
	各地域への子育て支援室の設置	1
	学童保育の充実	1
	久居に内科、皮膚科の病院を充実してほしい	1
	久居地区の保育環境を改善してほしい	1
	救急車対応について、名張方面に手配できるようにしてほしい	1
	共働き家庭への支援充実	1
	健康相談や健康づくりの充実	1
	見守り事業の立ち上げ	1
	広報誌等に老人ホームの費用額を載せてほしい	1
	高齢者、障がい者に対する施策の充実	1
	高齢者が過ごしやすい環境づくり	1
	高齢者が多い団地への警官の巡回派遣	1
	高齢者にやさしい環境づくり	1
	高齢者のみ世帯への支援充実	1
	高齢者の生活支援の充実	1
	高齢者を対象とした健康体操教室の開催	1
	高齢者対策	1
	高齢者福祉施設の増設	1
	子どもが安心して遊べる公園の充実	1
	子どもの医療対策の充実	1
	子どもの医療費助成の充実	1
	子どもの医療費負担の軽減	1
	子育て支援策の充実	1
	子育て世代に住み良い政策をお願いしたい	1
	市民病院の設立などによる医療の充実	1
	児童福祉の充実	1
	小児科のある救急病院がほしい	1
障がい者にもっとやさしいまちになってほしい	1	
身体障害者マークの不正使用をなくしてほしい	1	
生活保護や障害者年金などの書類審査を厳格にしてほしい	1	
総合市民病院をつくってほしい	1	
働く女性が安心して子どもを出産し、育てられるシステムづくり	1	
年金生活者でも有料老人ホームに入れるようにしてほしい	1	

分類	内容	件数
	病時保育など共働きでも子育てできるサービスを充実してほしい	1
	病時保育の充実	1
	保育園入所通知が届くのが遅い	1
	保育所、学童クラブの増設	1
	保育料の軽減	1
	夜間救急体制の充実	1
	老人ホームを簡単にどこでも見学ができるようにしてほしい	1
保健・医療・福祉	集計	100
環境、安全	防災対策の充実	19
	ごみ収集方法の改善	7
	災害対策の充実	5
	防災無線の改善	4
	自然環境の保護	3
	安全・安心な環境づくり	2
	医療体制の充実	2
	交通安全対策の充実	2
	災害弱者対策の充実	2
	資源ごみ回収方法の見直し	2
	自転車のマナーの向上	2
	津波対策の充実	2
	ごみのマナーを守らない人を何とかしてほしい	1
	ごみの野焼き禁止の徹底	1
	ごみ収集業者の指導をしっかりとすべき	1
	ゴルフ場の土壌調査実施	1
	ビーチクリーン作戦を実施してほしい	1
	マンションのごみの管理をしてほしい	1
	一志町交差点への信号整備	1
	一身田地区における水害対策をしてほしい	1
	河川の近くに住んでいるため、防災、水害、津波マップがほしい	1
	海岸付近のごみのポイ捨て対策の充実	1
	各地区への防災無線機の普及が必要	1
	学生の自転車、歩行マナーの向上	1
	環境の保護	1
	環境保全のための人材育成が必要	1
	休耕田を利用した太陽光発電に取り組んでほしい	1
	救急医療体制の充実	1
	救急病院が少ないので心配	1
	巨大地震が心配されているが、津波・地震対策が十分とは思えない	1
	景観の保護	1
	景気回復をしてほしい	1
	犬の飼い主のマナー向上	1
	見て楽しめ、快適に過ごせる街並み、景観にしてほしい	1
	公共の場をきれいにしてほしい	1
	国道23号線沿いの寂れた景観の改善	1
	災害時の避難ビルを増やしてほしい	1
	市役所周辺の景観の改善	1
	自主防災の訓練は、高齢者ではなく、中高生を対象にしてほしい	1
	住宅街のごみのポイ捨て対策の強化	1
	獣害対策の前に野生動物の生息環境を考えた開発を行うべき	1
	循環型社会の形成	1
	西部清掃工場を活用した再生エネルギーの生産	1
	太陽光発電の導入	1
	耐震診断の費用助成	1
	地域ボランティアによる自然環境の保全が大切	1
	地域防災隊をもっと長期的に編成すべき	1
	地震対策として、まず学校の建て替えや補強のほうが大事	1
	中心部だけ交通違反の取締りをするのではなく、市内全域で取り締まるべき	1
	津波対策としての避難塔の設置	1
	堤防の強化	1
	転入者にごみの出し方を住民登録の窓口で教えるべき	1
	登下校時の警官による見守りの実施	1

分類	内容	件数
	東南海地震対策等の充実	1
	道路、海岸等の美化	1
	道路へのごみ捨てがなくなるよう、回覧版で注意喚起するなどしてほしい	1
	白塚地区の異臭対策	1
	避難場所のマップをもっと増やしてほしい	1
	防災、減災対策として、近隣地域との連携が必要	1
	防災に関する情報誌を発行してほしい	1
	防災の観点から庁舎移転の検討	1
	防災訓練を市全体で行う（地震・津波に備えて）	1
	防災対策の強化	1
	防災無線の全戸への設置	1
	防犯対策の充実	1
	野焼き禁止の徹底	1
環境、安全・安心 集計		106
教育・生涯学習	教育の充実	6
	教師の資質向上	3
	スポーツ施設の整備	2
	学校給食の充実	2
	小中学校へのエアコンの導入	2
	スポーツ活動の振興	1
	ハーモニーホールの有効活用	1
	ポルタ久居を魅力的なものにしてほしい	1
	もっと歴史をアピールすべき	1
	移動図書館の再開	1
	学校トイレの改修	1
	学校の統廃合について、もっと積極的に取り組んでほしい	1
	学校教育の充実	1
	学校設備の充実	1
	環境整備を含めた読書の推進	1
	気軽に体が動かせるスポーツ施設等の整備	1
	気軽に利用できるトレーニング施設の整備	1
	久居文化会館建替え計画の見直し	1
	教育・文化の振興	1
	教員の資質向上	1
	公共施設の充実	1
	公民館の使用料を上げないでほしい	1
	祭りなどの地域の催しを今後もサポートしてほしい	1
	子どもを安心して通わせることができる教育環境づくり	1
	子ども会等の活動のための施設の提供	1
	市体育館など、市のスポーツ施設の充実	1
	市民プールの改築	1
	私立大学の誘致	1
	趣味活動等のサークルの活性化	1
	将来に残る施設を要望する	1
	小学校の統廃合	1
	小中学校の教育の充実	1
	新博物館の充実	1
	新武道館建設の際には、弓道場を充実してほしい	1
	図書館の充実	1
	生涯学習の推進	1
	総合文化センターの有効活用	1
	体を鍛える公認運動施設の確保	1
	体育館長等の人選方法の見直し	1
	中央公民館の改築	1
	津ふるさと祭りの継続	1
	津観音の建て替え	1
	津城の再建	1
	土曜日の授業の実施	1
	東橋内中学校区の問題点の解決	1
	不登校の子に居場所を提供し、外へ出る機会をつくってあげてほしい	1
	幅広い人材を教育委員会に取り込むべき	1

分類	内容	件数
	文化の香りが漂うまちに	1
	文化施設や公園の充実による住みたくなるまちづくり	1
	利用しやすい中央公民館の建て替え	1
	老若男女が利用できる施設等の充実	1
教育・生涯学習・スポーツ 集計		61
産業	商店街の活性化	8
	企業の誘致	6
	観光スポットをつかってほしい	4
	雇用対策の充実	4
	長谷山の整備による活性化	4
	観光の振興	3
	若者の雇用促進	3
	獣害対策の充実	3
	大型ショッピングセンターがほしい	3
	大門商店街の活性化	3
	農業の振興	3
	遊休農地等対策の充実	3
	サイエンスシティの積極的な活用	2
	スーパーの誘致	2
	商店の充実	2
	第一次産業の振興	2
	特産品のアピールなどによる活性化	2
	インターネットを使った特産品等の販売促進	1
	おかげ横丁のようなところを整備し、中心地を活性化してほしい	1
	サイエンスシティなどへの積極的な企業誘致の実施	1
	サイエンスシティは津市のためにならない	1
	サイエンスシティへの太陽光発電の企業誘致	1
	サイエンスシティ周辺に名所をつかって活性化してほしい	1
	ショッピングセンターの誘致	1
	デパートやショッピングモールなどの誘致	1
	なぎさ町に海の駅を整備して高速船利用者呼び込む	1
	バラエティに富んだ結婚式場や文化活動団体への賃貸などによるセンターパレスの活性化	1
	ベイスカの活用などによる観光の振興	1
	ポルタ久居の有効活用	1
	レストランを増やしてほしい	1
	一体感と地域の個性をいかしたまちづくり	1
	映画館の誘致	1
	海を活用した観光の振興	1
	海岸を人が集まるような魅力的な場所にしてほしい	1
	観光スポットのPR	1
	観光施設を生かし、集客してほしい	1
	観光資源なども結構あると思うので、どんどん整備し、周りに発信していくべき	1
	間伐材の有効活用	1
	久居のスーパーの跡地を有効活用してほしい	1
	近鉄の駅を中心とした商店街の活性化	1
	経済活動の活発化	1
	郊外に大型ショッピングモールをつかってほしい	1
	高校生が気軽に行けるような商店街がほしい	1
	高齢者が買い物できる店舗を増やしてほしい	1
	榊原温泉地区の活性化	1
	山林整備事業に力を入れてほしい	1
	市街地の活性化	1
	市独自の観光産業を立ち上げる	1
	若者が働きやすい環境づくり	1
	商業の活性化	1
	商業施設の集積	1
	商業施設の充実	1
	将来息子が働ける職場があるか不安	1
	新津港の有効活用	1

分類	内容	件数
	人が集まる商業施設、若者が集まるおしゃれな店がほしい	1
	水産業や食品加工などで技能訓練を受ける外国人について、日本人の雇用が減るので見直しを検討すべき	1
	大門アーケード街を多国籍文化の商店街にし、観光化を図る	1
	第6次産業の振興	1
	地元商店街のみに通用する地域振興券の発券	1
	中小企業への手厚い支援をのぞむ	1
	中心市街地の活性化	1
	津（駅ビル）を開発してほしい	1
	津インターから市街地までの商業化推進	1
	津インター周辺に商業施設をつくってほしい	1
	津の城再建	1
	津観音の周辺を整備し活性化を図る	1
	津市の立地、気候をいかした企業誘致をすべき	1
	津市名物の開発、販売	1
	働きやすい環境をつくってほしい	1
	特産品の開発と販売	1
	農水産業の振興	1
	農村の獣害対策の充実	1
	農地とともに山林の手入れをするべき	1
	農地の集約化による大規模農業の実施	1
	白山町にスーパー等をつくってほしい	1
	美杉などにもっと杉やヒノキなどを植えるべき	1
	平清盛のゆかりのある場所のPRなどによる観光の振興	1
	暮らしやすいまちにしてほしい	1
	魅力ある観光的な回遊道路の整備	1
	遊園地等の誘致	1
	立町大門通り周辺について、企業家などを募集し、活性化してほしい	1
	林業の振興	1
産業 集計		122
行財政・まちづくり	住みやすいまちづくり	25
	職員の資質向上	15
	活気のあるまちづくり	14
	職員の窓口対応の改善	10
	地域格差をなくしてほしい	10
	安全・安心のまちづくり	6
	議員数の削減	6
	広報津を月1回にすべき	6
	ビジョンを示すべき	5
	高齢者の社会参加による活性化推進	5
	住民の意見を取り入れた行政	5
	人が集まるまちづくり	5
	税金の有効活用	5
	特色のあるまちづくり	5
	高齢者が住みやすいまちづくり	4
	財政の再建	4
	若者が住みやすいまちづくり	4
	職員の適正配置	4
	魅力のあるまちづくり	4
	きめ細やかな行政サービスをのぞむ	3
	ボランティア活動の活性化	3
	議員の資質向上	3
	広報誌の充実	3
	行政のスリム化	3
	津市を全国に発信すべき	3
	リーダーシップを発揮してほしい	2
	各種申請手続きの簡素化	2
	協働のまちづくりをのぞむ	2
	経費削減	2
	行政情報の提供体制の充実	2
	高齢者にやさしいまちづくり	2

分類	内容	件数
	市民の声が届く行政であってほしい	2
	市民の立場に立った行政をのぞむ	2
	自治会活動の活性化	2
	自然環境を生かしたまちづくり	2
	若い人にとって魅力のあるまちづくり	2
	若者にとって魅力のあるまちづくり	2
	若者のアイデアを取り込んだまちづくり	2
	職員の給与引き下げ	2
	職員数の削減	2
	税金を安くしてほしい	2
	美杉地区にも目を向けてほしい	2
	IT化による事務手続きの簡素化	1
	ある程度の知識は持って窓口業務をしてほしい	1
	おしゃれで、住みたいと思われるまちづくり	1
	グローバル展開できるユニークかつ、日本を代表するまちづくり	1
	コミュニティの充実	1
	これからの津市に期待する	1
	さらなる発展をのぞむ	1
	しっかりと予算を組んで、計画的に実施してほしい	1
	すべての世代がお互いを助けあえるような「津市」にしてほしい	1
	ソフト面ではなくハード面の施策に力を入れてほしい	1
	つうぴーすの取り組みは良いが、もっと広く	1
	ハード面ではなく、ソフト面を重視すべき	1
	まちづくりの方向を市民に明示し、強いリーダーシップを発揮してほしい	1
	リタイヤ後は地域活動に貢献したい	1
	安心して暮らせるまちづくり	1
	委託できる事業は外注にするなど効率化をしてほしい	1
	移住したいと思われるまちづくり	1
	一生、安心して住める、魅力のあるまちにしてほしい	1
	河芸支所が大きすぎて、無駄が多い	1
	過疎化の現状を打開してほしい	1
	過疎地域のまちおこしなどにアイデアを募り、力を入れてほしい	1
	各支所単位での講演会や娯楽ショー等を計画してほしい	1
	各自治会単位に「ポスト」を設置し、地域活性化についての意見を募る	1
	各種委員の「月額制」の廃止	1
	各種事業内容が硬直化している	1
	各種情報提供の充実	1
	各種情報提供を充実すべき	1
	活気あるにぎやかなまちにもどってほしい	1
	観光客を呼び寄せるような観光施設、歴史的な施設を大いに活用、PRして、活力あるまちづくりをしてほしい	1
	義捐金がどのように使われているのか公表してほしい	1
	議員の「政務調査費」の廃止	1
	議員の資質の向上	1
	議員給与の見直し	1
	議会改革	1
	久居地域のポルタ久居のテナント確保等、赤字の減少に努めてもらいたい	1
	休日は交代制で市役所窓口をあけてほしい	1
	旧町村単位での行政サービスをのぞむ	1
	競艇事業の活性化	1
	競艇事業の見直し	1
	競艇事業の清算	1
	近鉄の改善による都市づくり	1
	近隣に派出所、病院等がなく不安なので、より一層の過疎対策をのぞむ	1
	景気回復をしてほしい	1
	経費の削減、職員数の削減に取り組み、財政再建をしてほしい	1
	経費を削減して住民税を安くしてほしい	1
	結婚相談の充実	1
	健全な行政運営	1
	県に頼りすぎることのないように行政運営をすべき	1
	県外からの転入者などの意見を聞いてほしい	1

分類	内容	件数
	県庁所在地として、もっと活性化してほしい	1
	固定資産税が高い	1
	公共施設の無駄の排除	1
	広い面積を生かしたまちづくり	1
	広報津の配布の見直し	1
	広報等の配布を減らすべき	1
	行政サービスの充実	1
	行政と住民の役割分担を図り、財政を健全化してほしい	1
	行政に頑張ってもらいたい	1
	行政の効率化とともに、必要なもの、遅れているものに重点的に力を入れてほしい	1
	行政部局の壁をなくした予算執行が必要	1
	高校生、中学生などのまちづくり提案を募集すべき	1
	高齢者が生き生きできるまちづくり	1
	高齢者と若者が住みやすいまちづくり	1
	高齢者や障がい者にやさしいまちづくり	1
	合併して不便になった	1
	合併前の行政単位での行政をのぞむ	1
	国民年金支給額をもっと上げてほしい	1
	今後の津市に期待する	1
	差別のないまちづくり	1
	催しなどのお知らせだけでなく、重要施策などの詳細な情報提供をすべき	1
	最近では催し物が増えて良い傾向になっている	1
	財政状態の公表	1
	三重県の中心である津のまちが暗い	1
	子どもたちが安心して暮らせるまちづくり	1
	子どもを育てやすいまちづくり	1
	子育てしやすく、高齢者も住みやすいまちづくり	1
	市の施設やサービスについて、市民への周知をしっかりとしてほしい	1
	市の職員からも提案してもらいたい	1
	市議員の報酬を半分にすべき	1
	市議会議員はボランティアとすべき	1
	市職員の資質向上	1
	市政だよりが届かないのは不公平	1
	市政改革に力を注いで、借金を減少させ、経費や外部団体にメスを入れてほしい	1
	市長、市議、市職員は市民のために奉仕してほしい	1
	市長のリーダーシップに期待する	1
	市民から意見を聞く市民フォーラムの開催を増やしてほしい	1
	市民から要望等があった時は、しっかりと対応してほしい	1
	市民活動に参加しやすい環境づくりをのぞむ	1
	市民税を安くしてほしい	1
	市役所、保育園等の施設を土日も営業してほしい	1
	市役所からも、もっと被災地や豪雪地帯へのボランティアに出かけるべき	1
	市役所での仕事内容を何課でどんな内容かわかりやすくしてほしい	1
	市役所の出張所の統廃合	1
	市役所の駐車場がせまい	1
	市役所駐車場の拡大	1
	市役所本庁舎の各課にメールボックスのようなものを設置してほしい	1
	支所の利便性向上	1
	支所機能を充実してほしい	1
	資源回収による売却金は市政に還元されているのか	1
	事務事業の合理化を図るべき	1
	自治会、町内会の運営が、皆非協力的で困難	1
	捨てられたペットの保護の充実	1
	社会全体のモラルの向上に力を注いでもらいたい	1
	社会保障、税などの問題が山積するなか、優先順位をつけて行政運営をしてほしい	1
	若い世代の負担軽減	1
	若者に負担が残らない財政をのぞむ	1
	若者等が集まれる「まち」をつくるべき	1

分類	内容	件数
	若者同士の交流が活発で、若者の能力を発揮できるまちをのぞむ	1
	秋の「津まつり」のように人がたくさん集まる活気のあるまちづくり	1
	住み続けたいと思うまちづくり	1
	住んで良かったと思えるまちづくり	1
	住民からの声、文書をしっかり受け取ってほしい	1
	住民に身近な行政であってほしい	1
	住民の負担軽減	1
	住民参加によるガラスばりの行政をのぞむ	1
	住民参加のまちづくり	1
	住民主体となった事業への補助などを検討すべき	1
	柔軟な行政をのぞむ	1
	重点施策に取り組むべき	1
	出張所体制の充実	1
	助け合いのまちづくり	1
	将来性のある津市を築いてほしい	1
	情報公開の充実	1
	職員OBの再雇用廃止	1
	職員の給与削減	1
	職員の給与等の見直し	1
	職員の件費を1割削減すべき	1
	職員の知恵を絞って総合計画を策定してほしい	1
	真剣に仕事に取り組んでほしい	1
	人がやさしいまちであれば良い	1
	人にやさしいまちづくり	1
	人材育成の強化	1
	迅速な行政をのぞむ	1
	水道料金の値下げ	1
	世代間の交流を促進し、相互に助け合える環境づくりをのぞむ	1
	正規の職員と臨時の職員とのバランスを考えて採用すべき	1
	生活保護の審査の徹底	1
	生活保護の必要性について再検討すべき	1
	青山高原の風力発電の情報開示	1
	税金を使わず、子どもと大人がふれあえるコミュニティを増やすべき	1
	先を見据えた行政をのぞむ	1
	窓口での職員対応が改善した	1
	総合計画の中に、男女共同参画を記載してほしい	1
	総合支所の権限強化と行政機能の各地域への分散等による津地域の一体化	1
	総合支所の夜間の職員の対応を改善してほしい	1
	総合支所や出張所の職員を非常勤にすべき	1
	総合支所職員の対応の改善	1
	大きく進化した津市に期待する	1
	誰もが住みたくなくなるようなエコのまちづくり	1
	地域の特性を生かしたまちづくり	1
	地域活動に関する情報提供の充実	1
	地域活動の活性化	1
	地域活動や交流イベントなどの情報が伝わってこない	1
	地域活動等については日時が合わないので、参加出来ない	1
	地域資源の有効活用をすべき	1
	地域審議会の有効活用	1
	地道に暮らしやすさを追求する施策をお願いしたい	1
	津の良さをアピールし、活性化してほしい	1
	津市がどのような方針でまちづくりをしているのか広報等で知らせてほしい	1
	津市でもらった転居時の案内や手引きが一番わかりにくく、不親切であった	1
	津市の借金をこれ以上増やさないでいただきたい	1
	津市の住民税が高すぎるので、減税をしてほしい	1
	津市の中心地を活性化してほしい	1
	津市の都市開発、発展をのぞむ	1
	津市は伊勢市の観光、松阪市の農業といった地域資源に乏しい	1
	天下りの廃止	1
	電気代を節約すべき	1
	都市と農村の良さを生かしたまちづくり	1

分類	内容	件数
	都市化、工業化ではなく、住民が住みやすい環境やまちづくり	1
	都市計画税の用途の公表	1
	道の駅、町の駅で地産地消をPRし、地域の人々の参加と協働でまちづくりを活発にしてほしい	1
	特産品のアピールなどによる活性化	1
	特徴のあるまちづくり	1
	年1回全市民が参加する名物行事を開催しテレビで放送する	1
	美杉町、大門などが連携し、活性化を図る	1
	負担が増えても公共サービスを充実してほしい	1
	歩きたくなるまち、行きたくなるまちにしてほしい	1
	放射性物質を含む可能性のある震災がれきの受け入れはしないでほしい	1
	本庁中心の行政でなく、各総合支所にも目を向けてほしい	1
	本当に必要な事業に予算を使ってほしい	1
	無駄をなくして住み良い津市にしてほしい	1
	無駄を省き、行政改革を行ってほしい	1
	役所正職員と臨時職員の賃金格差を是正すべき	1
	鈴鹿市、四日市市、桑名市など観光資源の豊富な地域と連携し、訪れたくなるようなまちづくり	1
	老後も生活しやすい環境づくりを目指してほしい	1
	老若男女が安心して働け、安心して住めるまちづくりをしてほしい	1
行財政・まちづくり 集計		380
その他	アンケート内容が難しい	6
	15～18歳には、年齢にあった質問にすべき	3
	アンケート項目が多すぎる	3
	アンケート内容に疑問を感じる	2
	このようなアンケート調査はあまり意味がない	2
	アンケートで重要度を聞いているが、すべて重要	1
	アンケートにカタカナが多くてわかりずらかった	1
	アンケートについて、中立的な質問で良かったが、聞きなれない言葉などが多いので、注記すべき	1
	アンケートの内容について、郡部在住者のことを考えていない	1
	アンケート結果の有効活用	1
	アンケート実施に際し、依頼状を付すべき	1
	このアンケートに疑問を感じる	1
	このアンケートは一般市民でなく、自治会連合会等の会議で議題にした方が良いのではないか	1
	このアンケートは未成年では回答出来ない項目もあるのではないか	1
	このアンケート結果を市政に反映してほしい	1
	このようなアンケートにより市民の意見を取り入れてほしい	1
	このような難しいアンケートは高齢者には苦痛	1
	今回のアンケート結果を公表してほしい	1
	対象者7,000人の抽出方法が知りたい	1
その他 集計		30
総計		967

津市総合計画後期基本計画策定のための 住民意識調査のお願い

津市では、平成20年3月にまちづくりを進めるための最上位の計画として、「津市総合計画」を策定しました。

この「津市総合計画」においては、まちの将来像を

「環境と共生し、心豊かで元気あふれる美しい県都」

と定め、環境、防災、福祉、教育、産業など、各分野におけるまちづくりの方針を掲げています。

津市総合計画は、まちづくりの基本的な理念や枠組みを示し、平成29年度までの10年を計画期間とする「基本構想」と、基本構想に基づき具体的な目標と事業展開を定めた平成24年度までの5年間を計画期間とする「前期基本計画」で構成しています。このため、現在本市では、前期基本計画の策定以降の社会情勢の変化を踏まえ、平成29年度までを計画期間とする「後期基本計画」を策定しています。

この後期基本計画の策定にあたりましては、市民の皆様の市の施策に対する評価、まちづくりの意識や御意見を把握するため、平成23年12月31日現在、市内にお住まいの15歳以上の男女7,000人の方を対象に、住民意識調査を実施いたします。

今回の調査で得られた結果をもとに、後期基本計画を策定してまいりますので、これからの津市のより良いまちづくりを、市民と行政が連携して進めていくために、皆様の貴重な御意見をぜひともお寄せいただきたいと思います。

御多忙のところ誠に恐縮ですが、本アンケートの趣旨を御理解いただき、御協力いただきますようお願いいたします。

平成24年2月

津市長 前 葉 泰 幸

お手数ですが、**2月22日(水)までに**、同封の返信用封筒にて投函をお願いいたします。

【アンケートについてのお問い合わせ先】

津市 政策財務部 政策課

〒514-8611 津市西丸之内23番1号

電 話 229-3101

FAX 229-3330

現在お住まいの地域について

問1 あなたは、津市について、「自分のまち」として愛着を感じていますか。(1つだけ○印をつけてください)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. とても愛着を感じている | 2. どちらかというとな愛着を感じている |
| 3. あまり愛着を感じていない | 4. 愛着を感じていない |
| 5. どちらともいえない | |

問2 あなたは、現在の居住地に、これからも住み続けたいと思いますか。(1つだけ○印をつけてください)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. これからもずっと住み続けたい | 2. 当面は住み続けたい |
| 3. できれば転居したい | 4. すぐにでも転居したい |
| 5. どちらともいえない | |

問3 上記設問(問2)の答えを選んだ主な理由は何ですか。(3つまで○印をつけてください)

- | |
|---|
| 1. 自然や環境が保護されているから(悪化しているから) |
| 2. 日常の買い物が便利だから(不便だから) |
| 3. 道路状況や交通の便が良いから(悪いから) |
| 4. 地域の行事や近所づきあいがあるから(面倒だから) |
| 5. 子どもの保育・教育の環境が良いから(心配だから) |
| 6. 適当な職場があるから(ないから) |
| 7. 保健・医療分野のサービスや施設が充実しているから(不十分だから) |
| 8. 福祉分野のサービスや施設が充実しているから(不十分だから) |
| 9. スポーツ・レジャー施設や文化施設が充実しているから(不十分だから) |
| 10. 上下水道などの整備が充実しているから(遅れているから) |
| 11. 良好な宅地の確保など、住環境の整備が充実しているから(遅れているから) |
| 12. 消防、防災体制が充実しているから(不十分だから) |
| 13. 防犯体制が充実しているから(不十分だから) |
| 14. その他(具体的に: _____) |

問4 問2で、「3. できれば転居したい」または「4. すぐにでも転居したい」を選んだ場合のみお答えください。

もし転居されるとすれば、どちらをお考えですか。(1つだけ○印をつけてください)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 津市の市域のなか | 2. 津市以外の市町村 |
|-------------|-------------|

現在のまちの評価について

問5 あなたは津市での暮らしについて、どのように感じていますか。各項目について「Ⅰ. 重要度」「Ⅱ. 満足度」のそれぞれに、1つずつ○印をつけてください。

まちづくりの目標1. 美しい環境と共生するまちづくり

	Ⅰ. 重要度について					Ⅱ. 満足度について				
	あなたの生活にとってどのくらい重要ですか					どのくらい現状に満足していますか				
	1 重要である	2 やや重要である	3 どちらともいえない	4 あまり重要でない	5 重要でない	1 満足している	2 やや満足している	3 どちらともいえない	4 やや不満である	5 不満である
☆「津市総合計画」の施策分野について掲載しています。										
循環型社会の形成										
◆ 記入例です ⇒	1	②	3	4	5	①	2	3	4	5
1. 資源の循環的利用の推進 (ごみゼロ社会に向けた3R*、再生資源の利用拡大など) *3R: Reduce(リデュース:減らす)、Reuse(リユース:再使用)、Recycle(リサイクル:再資源化)のこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 廃棄物等の適正な処理 (廃棄物の収集及び処理、新最終処分場の建設、不法投棄対策など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 環境への負荷の少ない社会の形成 (省エネルギー対策、新エネルギーの導入促進、温室効果ガスの排出削減など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 環境共生社会の実現に向けた活動 (市民の環境意識の高揚や環境学習・環境教育の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
次世代に残す自然環境の保全・創造										
5. 多様な自然環境の保全 (森林の保全と活用、河川・海岸などの魅力ある水辺環境の創造など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 環境保全対策の推進 (大気・水質・騒音などの環境調査、公害防止対策、浄化槽の設置促進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
快適な生活空間の形成										
7. 市街地の整備 (都市計画の見直しなどによる良好な市街地の形成、土地区画整理、市街地再開発など既成市街地の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	I. 重要度について					II. 満足度について				
	あなたの生活にとって どのくらい重要ですか					どのくらい現状に 満足していますか				
	1 重要である	2 やや重要である	3 どちらともいえない	4 あまり重要でない	5 重要でない	1 満足している	2 やや満足している	3 どちらともいえない	4 やや不満である	5 不満である
8. 住環境の整備 (地区計画制度*の導入支援など良好な住環境の形成、公営住宅の改善・改修など) *地区計画制度:都市計画法に定められている制度で、住民合意に基づいて良好な住環境を形成するための計画	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 良好な景観の形成 (歴史的景観、都心・農村・森林景観等地域特性に応じた景観の形成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 公園緑地の整備及び緑化の推進 (緑化の推進や公園緑地の整備・維持管理など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生活基盤の整備										
11. 上水道・簡易水道の整備 (安全で安定した給水の確保、水道経営の健全化、水道水源の保全など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 生活排水対策の推進 (下水道の整備や普及促進、下水処理場や農業集落排水施設などの下水機能の維持管理など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 生活道路の整備 (交差点改良や歩道の整備、災害時の避難路等安全で安心な道路等の確保など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 墓地・斎場 (斎場の整備推進、墓地の維持管理など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

- ◆ a. 上記までの環境や生活基盤などの項目のうちで、今後最も力を入れるべきとお考えのものがありましたら、1～14のうちから番号を3つまでご記入ください。

--	--	--

- ◆ b. 上記の項目に関して、お住まいの地域（他の市町村のことでもかまいません）で良い（便利・役に立っているなど）と思っていることや、良くない（不便、改善してほしいなど）と思っていることなど、自由にご意見をご記入ください。（記入スペースが足りない場合は、14ページの記入欄もご利用ください。）

まちづくりの目標2. 安全で安心して暮らせるまちづくり

	I. 重要度について					II. 満足度について				
	あなたの生活にとってどのくらい重要ですか					どのくらい現状に満足していますか				
	1 重要である	2 やや重要である	3 どちらともいえない	4 あまり重要でない	5 重要でない	1 満足している	2 やや満足している	3 どちらともいえない	4 やや不満である	5 不満である
☆「津市総合計画」の施策分野について掲載しています。										
安全なまちづくりの推進										
1. 災害に強いまちの推進 (防災対策の総合的な推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 治水・治山対策の推進 (河川等の改修や維持管理、土砂災害の防止など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 消防体制の充実 (消火・救急・救助の充実、予防体制と地域の消防力の向上など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 交通安全対策の推進 (交通安全施設の整備や放置自転車対策、交通安全意識の高揚など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 防犯対策の推進 (防犯対策の強化、暴力追放の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 消費者の保護 (消費に関する生活相談など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 健康づくりの推進 (健診事業、健康相談、保健指導の充実、健康づくり活動の支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 地域医療体制の充実 (救急医療体制の整備、在宅医療体制の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域福祉社会の形成										
9. 地域福祉の充実 (ボランティアの育成、社会福祉協議会、民生委員・児童委員活動の推進等地域における福祉活動の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 高齢者福祉の充実 (在宅福祉・生活支援、介護予防、要介護高齢者の自立支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	I. 重要度について					II. 満足度について				
	あなたの生活にとってどのくらい重要ですか					どのくらい現状に満足していますか				
	1 重要である	2 やや重要である	3 どちらともいえない	4 あまり重要でない	5 重要でない	1 満足している	2 やや満足している	3 どちらともいえない	4 やや不満である	5 不満である
11. 障がい者（児）福祉の充実 (生活支援、社会参加の支援、安心した暮らしに必要な地域の基盤づくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 児童福祉の充実 (保育所における保育内容・保育環境の充実、子育て家庭支援、子どもを育む環境の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 母子・父子福祉の充実 (一人親家庭への支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 国民健康保険 (国民健康保険の健全な運営、特定健診・特定保健指導の実施など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15. 低所得者福祉の充実 (生活保護制度の適正な運用、自立支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

◆ a. 上記までの防災や健康、福祉など項目のうちで、今後最も力を入れるべきとお考えのものがありましたら、1～15のうちから番号を3つまでご記入ください。

--	--	--

◆ b. 上記の項目に関して、お住まいの地域（他の市町村のことでもかまいません）で良い（便利・役に立っているなど）と思っていることや、良くない（不便、改善してほしいなど）と思っていることなど、自由にご意見をご記入ください。（記入スペースが足りない場合は、14ページの記入欄もご利用ください。）

まちづくりの目標3. 豊かな文化と心を育むまちづくり

	I. 重要度について					II. 満足度について				
	あなたの生活にとってどのくらい重要ですか					どのくらい現状に満足していますか				
	1 重要である	2 やや重要である	3 どちらともいえない	4 あまり重要でない	5 重要でない	1 満足している	2 やや満足している	3 どちらともいえない	4 やや不満である	5 不満である
☆「津市総合計画」の施策分野について掲載しています。										
生きる力を育む教育の推進										
1. 幼児教育 (幼児教育(幼稚園での教育)の充実、教育環境、家庭教育支援の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 学校教育 (信頼される学校づくり(小・中学校)、教育内容や学校給食の充実、学校施設の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
高等教育機関との連携・充実										
3. 高等教育機関 (三重大学などの高等教育機関との連携、三重短期大学の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生涯学習スポーツ社会の実現										
4. 生涯学習 (学習環境の充実、地域の人材育成、公民館など学習施設の充実、図書館・情報拠点機能の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. スポーツ振興 (スポーツ施設の整備、スポーツ・レクリエーション環境の充実、地域の人材教育など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 青少年の健全育成 (青少年の健全育成活動、放課後児童対策、非行防止活動など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
文化の振興										
7. 文化、芸術活動の充実 (市民文化の振興や文化施設の有効活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 歴史的資源の保存と活用 (歴史文化資源の保存・継承や歴史資源を活かしたまちづくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
人権尊重社会の形成										
9. 人権・平和施策の推進 (性別や出身地、障害の有無などによる差別がなく、一人ひとりの人権が尊重される地域社会づくり)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

- ◆ a. 上記までの教育・生涯学習、文化などの項目のうちで、今後最も力を入れるべきとお考えのものがありましたら、1～9のうちから番号を2つまでご記入ください。

--	--

- ◆ b. 上記の項目に関して、お住まいの地域（他の市町村のことでもかまいません）が良い（便利・役に立っているなど）と思っていることや、良くない（不便、改善してほしいなど）と思っていることなど、自由にご意見をご記入ください。（記入スペースが足りない場合は、14ページの記入欄もご利用ください。）

まちづくりの目標4. 活力のあるまちづくり

	I. 重要度について					II. 満足度について				
	あなたの生活にとってどのくらい重要ですか					どのくらい現状に満足していますか				
	1 重要である	2 やや重要である	3 どちらともいえない	4 あまり重要でない	5 重要でない	1 満足している	2 やや満足している	3 どちらともいえない	4 やや不満である	5 不満である
☆「津市総合計画」の施策分野について掲載しています。										
自立的な地域経済の振興										
1. 産業拠点の形成 (中勢北部サイエンスシティ、ニューファクトリーひさいへの企業立地の促進、新産業拠点の形成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 農業の振興 (担い手の育成やブランド化の推進など農業経営の強化、農地の保全と活用、農業基盤整備、畜産の振興など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 林業の振興 (林業経営基盤の強化、森林保全と生産基盤の整備、森林の活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 水産業の振興 (漁港等の基盤整備、後継者の育成等経営基盤の強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 工業の振興 (企業誘致活動の展開、既存工業の振興・中小企業の育成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	I. 重要度について					II. 満足度について				
	あなたの生活にとってどのくらい重要ですか					どのくらい現状に満足していますか				
	1 重要である	2 やや重要である	3 どちらともいえない	4 あまり重要でない	5 重要でない	1 満足している	2 やや満足している	3 どちらともいえない	4 やや不満である	5 不満である
6. 商業の振興 (商業振興の総合的な推進、商業経営の安定化支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 勤労者福祉と雇用の推進 (労働環境の改善、雇用機会の創出など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
交流機能の向上										
8. 交流拠点の整備 (賑わいのある中心市街地の整備、都心居住の促進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 道路ネットワークの整備 (国・県道などの広域的な幹線道路や地域間の連携を図る道路網の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 港湾の整備 (津なぎさまちの整備、海岸堤防の整備、港湾施設の整備・改修など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 公共交通の充実 (コミュニティ交通システムの整備、鉄道や海上交通の利便性向上、ヘリポートの活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 情報ネットワーク化の推進 (情報サービスの充実、行政事務の効率化、情報リテラシー*の向上など) *情報リテラシー: 情報を十分に使いこなせる能力のこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
観光の振興										
13. 観光の振興 (観光資源の活用、観光施設等の充実、広域観光の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 競艇事業の活性化 (競艇事業の経営強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

- ◆ a. 上記までの産業、交流機能などの項目のうちで、今後最も力を入れるべきとお考えのものがありましたら、1～14のうちから番号を3つまでご記入ください。

--	--	--

- ◆ b. 上記の項目に関して、お住まいの地域（他の市町村のことでもかまいません）で良い（便利・役に立っているなど）と思っていることや、良くない（不便、改善してほしいなど）と思っていることなど、自由にご意見をご記入ください。（記入スペースが足りない場合は、14ページの記入欄もご利用ください。）

まちづくりの目標5. 参加と協働のまちづくり

	I. 重要度について					II. 満足度について				
	あなたの生活にとってどのくらい重要ですか					どのくらい現状に満足していますか				
	1 重要である	2 やや重要である	3 どちらともいえない	4 あまり重要でない	5 重要でない	1 満足している	2 やや満足している	3 どちらともいえない	4 やや不満である	5 不満である
☆「津市総合計画」の施策分野について掲載しています。										
市民活動の促進										
1. 市民活動の促進 (市民活動や地域コミュニティ活動の支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 都市間交流、国際交流の推進 (国内の地域間交流や国際交流の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 男女共同参画の推進 (男女共同参画意識の高揚に向けた啓発など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 (ユニバーサルデザイン*の浸透、市民が暮らしやすいまちづくりの推進など) *ユニバーサルデザイン：年齢や障がいの有無などにかかわらず、多くの人が利用できること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民との協働の推進										
5. 広聴・広報 (広聴活動、広報活動など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 情報公開の推進 (情報公開の推進、行政文書の適正な管理など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 協働のまちづくりの推進 (地域が主体となったまちづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

- ◆ a. 上記までの市民活動促進、協働の推進などの項目のうちで、今後最も力を入れるべきとお考えのものがありましたら、1～7のうちから番号を2つまでご記入ください。

--	--

- ◆ b. 上記の項目に関して、お住まいの地域（他の市町村のことでもかまいません）で良い（便利・役に立っているなど）とされていることや、良くない（不便、改善してほしいなど）とされていることなど、自由にご意見をご記入ください。（記入スペースが足りない場合は、14ページの記入欄もご利用ください。）

--

問6 あなたは、総合的に見て、津市は住みやすいまちだと思いますか。（1つだけ○印をつけてください）

1. 住みやすい	2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい	4. 住みにくい
5. どちらともいえない	

津市の行政サービスについて

問7 あなたは、市からのお知らせや市政に関する情報を十分に受け取っていると感じていますか。(1つだけ○印をつけてください)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 十分に受け取っている | 2. まあまあ受け取っている |
| 3. あまり受け取っていない | 4. 全く受け取っていない |
| 5. その他 () | |

問8 あなたは、市からのお知らせや市政に関する情報をどのように手に入れていますか。(あてはまるもの全てに○印をつけてください)

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 広報津 | 2. 自治会の回覧 |
| 3. 市ホームページ | 4. 行政放送番組 |
| 5. 市窓口への来訪 | 6. 電話によるお問い合わせ |
| 7. 知人や家族 | |
| 8. その他 () | |

問9 あなたは、市政に対する意見や要望を伝えるために以下の方法を利用したことがありますか。(あてはまるもの全てに○印をつけてください)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 市ホームページ(「市民の声」) | 2. 本庁の窓口 |
| 3. 総合支所の窓口 | 4. パブリックコメント |
| 5. 利用したことがない | |
| 6. その他 () | |

問10 あなたは、市民の声や要望が市に伝わっていると感じていますか。(1つだけ○印をつけてください)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 十分に感じている | 2. まあまあ感じている |
| 3. あまり感じていない | 4. 全く感じていない |
| 5. 市に声を伝える方法が分からない | |
| 6. その他 () | |

問11 あなたは、市役所の窓口を利用したことはありますか（あてはまるもの全てに○印をつけてください）

- | | |
|--------|----------------------|
| 1. 本庁舎 | 2. 総合支所 |
| 3. 出張所 | 4. 利用したことがない →問 15 へ |

問12 問 11 で「1. 本庁舎、2. 総合支所、3. 出張所」を選んだ場合のみお答えください。

主にどの窓口を利用しますか（1つだけ○印をつけてください）

- | | |
|--------|---------|
| 1. 本庁舎 | 2. 総合支所 |
| 3. 出張所 | |

問13 問 12 で答えた窓口を利用するのはなぜですか。（あてはまるもの全てに○印をつけてください）

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 家から近い | 2. 職場、学校から近い |
| 3. 交通の便が良い | 4. 駐車場が広い |
| 5. 必要な用事を全て済ませることができる | 6. 待ち時間が少ない |
| 7. 職員の対応が良い | |
| 8. その他（ | ） |

問14 問 12 で「2. 総合支所」を選んだ場合のみお答えください。

総合支所を利用した目的はどのようなことですか。（あてはまるもの全てに○印をつけてください）

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 戸籍、住民票、印鑑証明、国保、年金等について | |
| 2. 税金について | |
| 3. 福祉関係（障がい・子ども・高齢関係等）について | |
| 4. 地域活動や地域振興について | |
| 5. 商工業や農林業の振興について | |
| 6. 各種の要望・相談 | |
| 7. その他（ | ） |

問15 全ての方にお尋ねします。

あなたは、行政サービスのあり方について、どのように考えますか。（1つだけ○印をつけてください）

- | | |
|--|---|
| 1. 市民の自主的な活動を促進することで、市民の負担を減らすようにしてほしい | |
| 2. サービスを受ける人が費用を負担する「受益者負担」の考え方を強くしてほしい | |
| 3. ある程度の負担増はやむをえないので、現状の行政サービスを出来るだけ維持してほしい | |
| 4. 今より負担が高くなってもかまわないので、もっと質の高い行政サービスを提供してほしい | |
| 5. その他（ | ） |

問16 現在の、あなたの地域活動への参加状況についてお尋ねします。A～Fの活動について、それぞれあてはまる番号に1つずつ○印をつけてください。

	1 企画・運営者として中心的に参加している	2 スタッフやサポーターとして参加している	3 一般的な立場で参加している	4 参加したいができない	5 あまり参加していない
A 自治会や町内会での活動	1	2	3	4	5
B 婦人会や老人会、青年団などでの活動	1	2	3	4	5
C 子ども会、スポーツ少年団、PTAなどでの活動	1	2	3	4	5
D ボランティア、消防団などでの活動	1	2	3	4	5
E NPOでの活動（ジャンルは問いません）	1	2	3	4	5
F 個人の趣味や余暇などを活かしたグループでの活動	1	2	3	4	5

問17 あなたの日常生活や地域活動等への参加状況についてお答えください。A～Kそれぞれの項目について、あなたのお考えや行動に最も近いものについて1つずつ○印をつけてください。

	1 積極的に取り組んでいる	2 取り組んでいる	3 あまり取り組んでいない	4 全く取り組んでいない
A 日ごろから健康増進に取り組んでいる	1	2	3	4
B 近所やまちで高齢者や障がい者など困っている人を見たら助けている	1	2	3	4
C 再生品やエコマーク商品を購入している	1	2	3	4
D ゴミの減量化・リサイクルに取り組んでいる	1	2	3	4
E 生涯学習活動や文化継承のための活動に取り組んでいる	1	2	3	4
F 災害に対する家庭内の備えができている	1	2	3	4
G 地域の防災・防犯活動に参加している	1	2	3	4
H 地域の外国人とふれあったり交流に参加したことがある	1	2	3	4
I 男女が平等になるように生活や仕事で気配りしている	1	2	3	4
J 地元の商店でできるだけ買い物をしている	1	2	3	4
K 地元生産物をできるだけ買うようにしている	1	2	3	4

津市のまちづくりについて、ご提案などがございましたら自由にご意見をご記入
ください。

津市に望むことや、これからのまちづくりについてのご要望やご提案など、なんでも結構です。

あなたご自身のことについて

A 性別	1. 男性	2. 女性		
B 年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代
	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上	
C 職業	1. 会社経営・自営（農林水産業含む）		2. 会社員・団体職員	
	3. 公務員	4. パート・アルバイト		5. 学生
	6. 無職		7. その他（ ）	
D 居住地	1. 津地域北部（高野尾、大里、白塚、栗真、一身田） 2. 津地域中央部（橋北、橋内、橋南、藤水） 3. 津地域西部（安東、楡形、神戸、片田） 4. 津地域南部（高茶屋、雲出） 5. 久居地域東部（久居、桃園、戸木） 6. 久居地域西部（七栗、稲葉、榊原） 7. 河芸地域 8. 芸濃地域 9. 美里地域 10. 安濃地域 11. 香良洲地域 12. 一志地域 13. 白山地域 14. 美杉地域			
E 居住歴	1. 生まれてから、ずっと現在の居住地に住んでいる 2. 今の津市の出身だが、現在の居住地以外での居住経験がある 3. 県内のほかの市町村から転入してきた 4. 県外から転入してきた			現在の居住地での 居住年数 （ ）年
F 就学地・勤務地	1. 津地域	2. 久居地域	3. 河芸地域	4. 芸濃地域
	5. 美里地域	6. 安濃地域	7. 香良洲地域	8. 一志地域
	9. 白山地域	10. 美杉地域		
	11. 県内のほかの市町		12. 県外	
G 世帯構成	1. 単身		2. 夫婦のみ	
	3. 親子		4. 親・子・孫（3世代以上）	
	5. その他（ ）			

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

お手数ですが、**2月22日（水）までに**、同封の封筒にて投函をお願いいたします。